

川俣町の障がい者福祉に関するアンケート

— 調査結果報告書 —

令和6年3月

川 俣 町

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の見方	1
II 調査結果	2
1 回答者のプロフィール.....	2
(1)回答者	2
(2)年齢.....	3
(3)性別	3
(4)住んでいる地区.....	3
(5)同居している人	4
2 生活環境について.....	5
(1)日常生活の介助状況.....	5
(2)主な介助者	6
(3)主な介助者の年齢、性別、健康状態	6
3 障がいの状況について	8
(1)障がい区分	8
(2)身体障害者手帳の所有状況	8
(3)身体障害者手帳における主な障がい.....	9
(4)療育手帳の所有状況	9
(5)精神障害者保健福祉手帳の所有状況	9
(6)難病の認定状況	10
(7)発達障がいの診断の有無	10
(8)強度行動障がいの指摘の有無.....	11
(9)高次脳機能障がいの診断の有無	12
4 住まいや暮らしについて.....	13
(1)現在の居住形態.....	13
(2)将来の地域での生活意向	14
(3)地域で生活するためにあれば良いと思う支援	14
5 日中活動や就労について.....	15
(1)一週間の外出頻度.....	15
(2)外出する際の主な同伴者.....	16
(3)主な外出の目的	17
(4)外出時に困ること	19
(5)平日の日中の主な過ごし方	21
6 就労について.....	22
(1)勤務形態について	22

(2) 今後の就労意向	22
(3) 職業訓練等の受講意向	23
(4) 障がい者の就労支援として必要だと思うこと	23
7 障がい児について	24
(1) 発達の不安や障がいに気づいたきっかけ	24
(2) 気づいた時のお子さんの年齢	24
(3) 気づいた時の主な相談先	24
(4) 現在の医療的ケアの有無	25
(5) 通園・通学で困っていること	25
(6) 充実してほしい障がい児福祉の内容	25
8 障がい福祉サービス等の利用について	26
(1) 障がい程度区分の認定の有無	26
(2) 福祉サービスの利用状況、利用意向	27
9 相談相手と情報入手について	31
(1) 悩みや困ったことの相談相手	31
(2) 障がいや福祉サービス等に関する情報源	33
(3) 使っている通信機器	35
(4) スマートフォンやタブレットの使い道	35
(5) スマートフォンやタブレットの使い方教室の意向	36
10 権利擁護について	37
(1) 障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験	37
(2) 差別や嫌な思いをした場所	38
(3) 成年後見制度の認知	40
(4) ヘルプマークやヘルプカードの認知	41
11 災害時の避難等について	42
(1) 災害時の避難所・避難場所の認知	42
(2) 災害時、家族が不在・一人暮らしの場合に助けてくれる近所の人の有無	42
(3) 災害時に一人で避難できるか	43
(4) 災害時に誰の手助けが必要であると思うか	44
(5) 避難生活で心配なこと	46
(6) 災害に備えて力を入れてほしいと思うこと	48
(7) 個別避難計画の認知	50
(8) 個別避難計画の作成希望	50
12 悩みについて	51
(1) 生活するうえでの困りごとや心配ごと	51
(2) 隣近所の人に手助けしてほしいと思う困りごと	53
13 障がい福祉に望むこと	55
(1) 自分が住みなれたまちでよりよく暮らすために必要だと考えること	55
14 自由意見	57

Ⅲ 使用した調査票..... 61

I 調査概要

1 調査の目的

町内の障がいのある人について、生活の様子や障がい福祉サービスの利用状況、意向などを把握するとともに、本町の現状や課題などを抽出・分析し、「川俣町障がい者基本計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の策定の基礎資料として活用することを目的として実施した。

2 調査期間

令和5年7月10日(月)～令和5年7月28日(金)

※集計処理にあたっては、8月15日(火)着分の調査票まで含めた

3 調査対象

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している 622人

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②/①
622	254	253	40.7%

6 調査結果の見方

- (1) 調査数(n=number of cases)は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 調査数(n)が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合がある。
- (4) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある

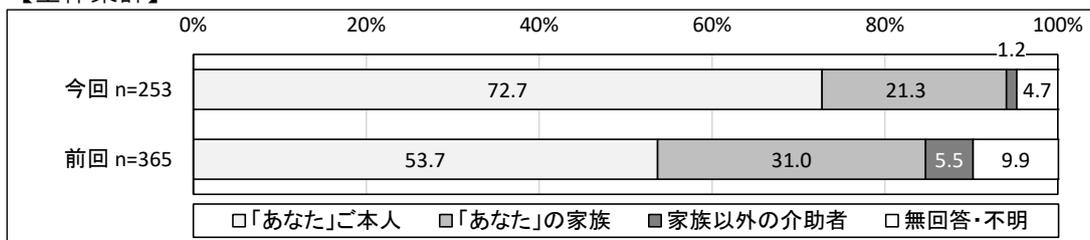
Ⅱ 調査結果

1 回答者のプロフィール

(1) 回答者

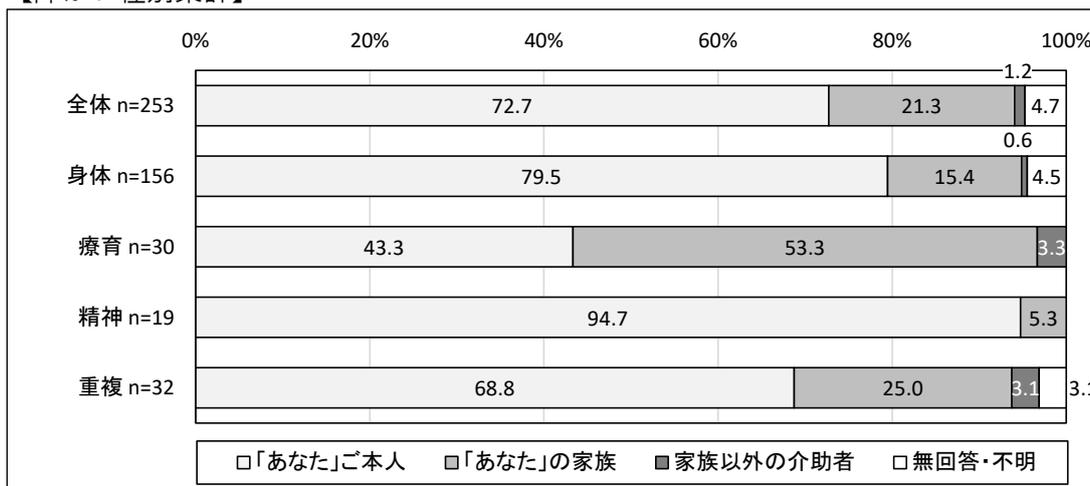
問1 お答えいただくのは、どなたですか。(☑は1つ)

【全体集計】



調査票の回答者については、「『あなた』ご本人」が72.7%を占め、「『あなた』の家族」の21.3%が続く。前回と比較し、「『あなた』ご本人」が大きく増加している。

【障がい種別集計】

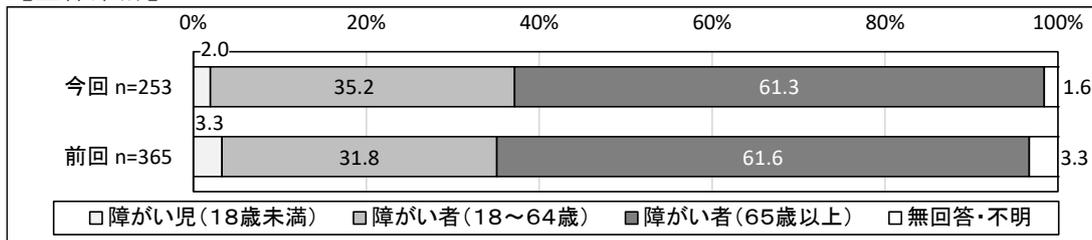


障がい種別にみると、「身体」は「『あなた』ご本人」が79.5%、「療育」は「『あなた』の家族」が53.3%、「精神」は「『あなた』ご本人」が94.7%と最も多くなっている。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在)

【全体集計】

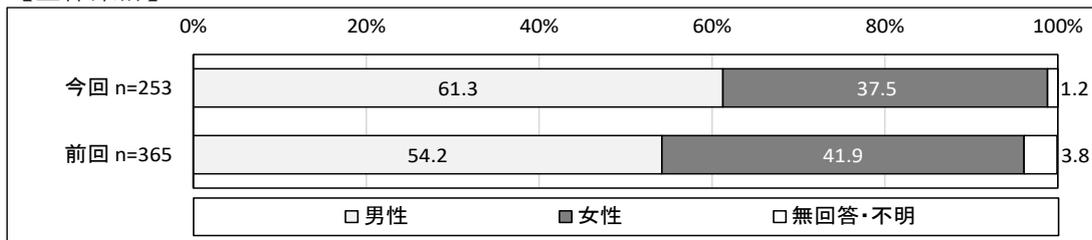


回答者の年齢については、「障がい者(65歳以上)」が61.3%と過半数を占め、「障がい者(18~64歳)」の35.2%が続く。「障がい児(18歳未満)」は2.0%と僅かになっている。前回と比較し、ほぼ同じ年齢構成になっている。

(3) 性別

問3 あなたの性別をお答えください。(☑は1つ)

【全体集計】

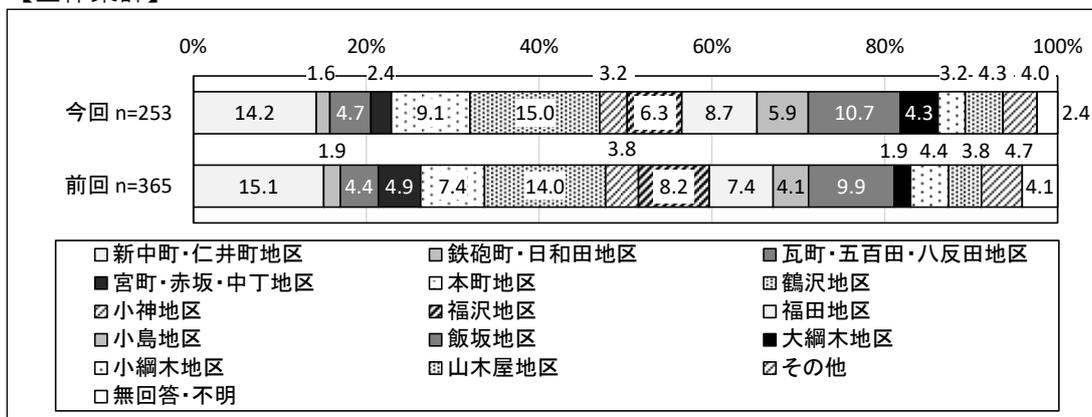


回答者の性別については、「男性」が61.3%、「女性」が37.5%の構成になっている。前回と比較し、若干「男性」が増加している。

(4) 住んでいる地区

問4 あなたの住んでいる地区(入院・入所中の人は施設のある地区)を教えてください。(☑は1つ)

【全体集計】



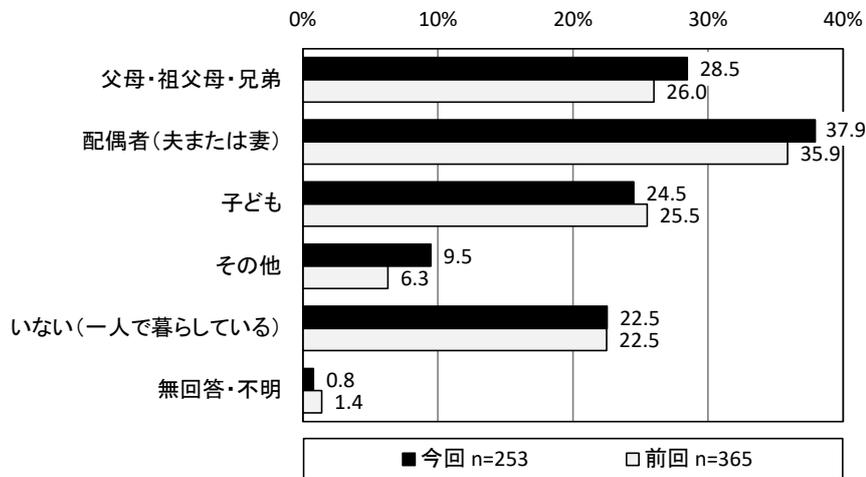
住んでいる地区については、「鶴沢地区」が15.0%と最も多く、「新中町・仁井町地区」の14.2%、「飯坂地区」の10.7%、「本町地区」の9.1%と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

Ⅱ 調査結果

(5) 同居している人

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに☑)
※グループホーム、福祉施設等を利用されている人は「5」としてください。

【全体集計】



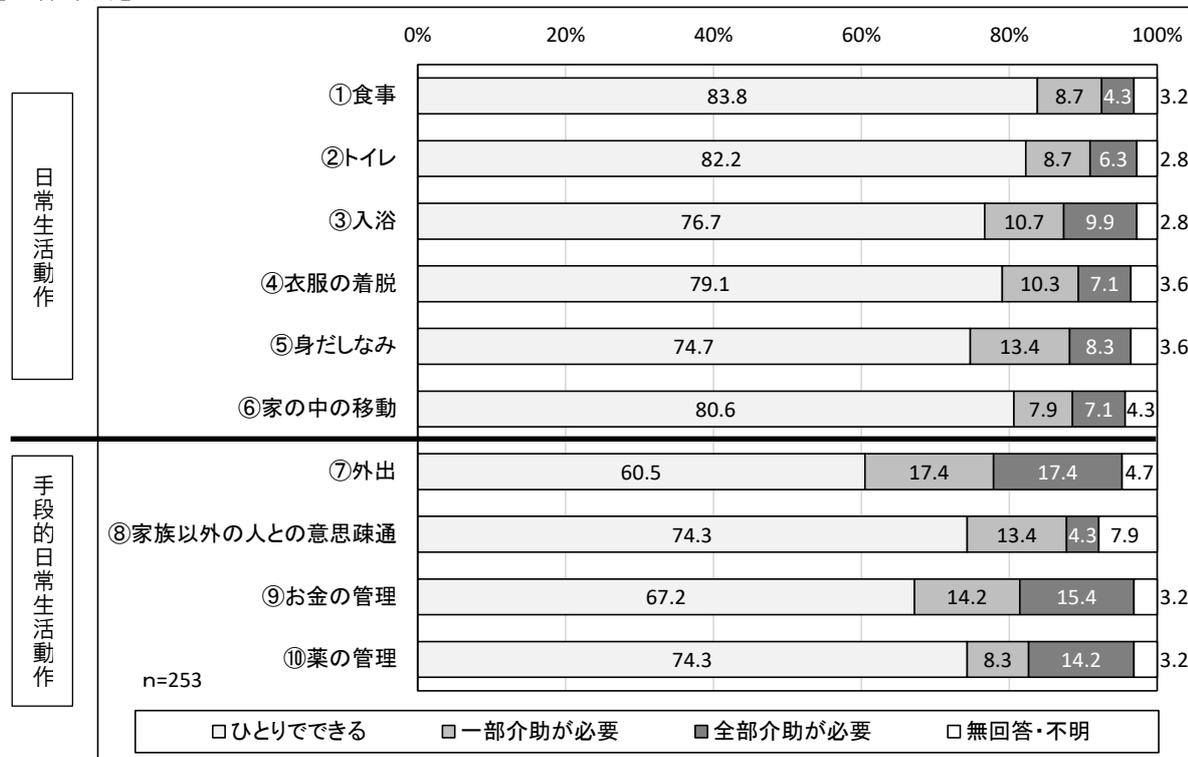
同居している人については、「配偶者(夫または妻)」が 37.9%と最も多く、「父母・祖父母・兄弟」の28.5%、「子ども」の24.5%、「いない(一人で暮らしている)」の22.5%と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

2 生活環境について

(1) 日常生活の介助状況

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに☑を1つ)

【全体集計】



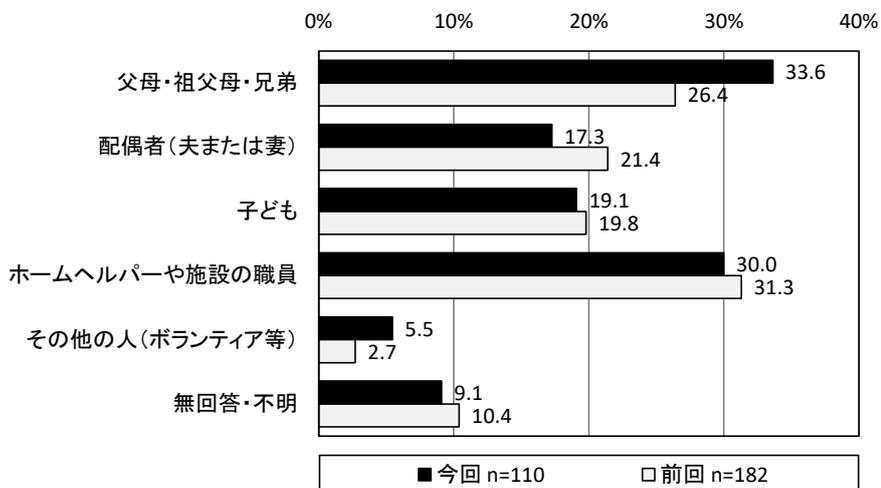
日常生活の介助状況については、生活するうえで必要不可欠な日常生活動作の「ひとりできる」が70～80%を占める。一方、「外出」、「家族以外の人との意思疎通」、「お金の管理」、「薬の管理」の手段的日常生活動作については、「ひとりできる」が60～70%と少なくなっている。

II 調査結果

(2) 主な介助者

【問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」を答えた人にお聞きます。】
 問7 あなたを介助してくれる人は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



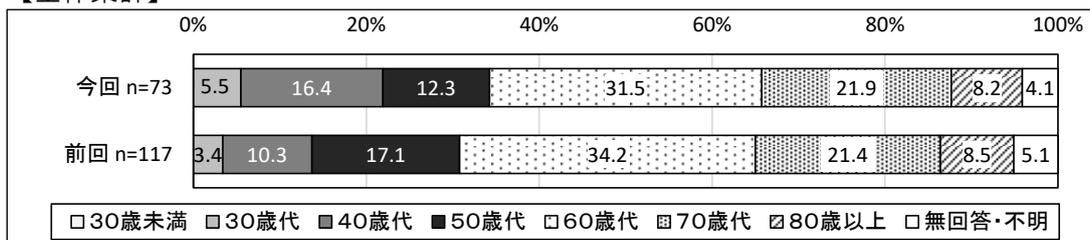
問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した人の主な介助者については、「父母・祖父母・兄弟」が33.6%と最も多く、「ホームヘルパーや施設の職員」の30.0%が続く。前回と比較し「父母・祖父母・兄弟」が増加している。

(3) 主な介助者の年齢、性別、健康状態

【問7で「1～3」のいずれかを答えた人にお聞きます。】
 問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている人の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 年齢 (令和5年7月1日現在)

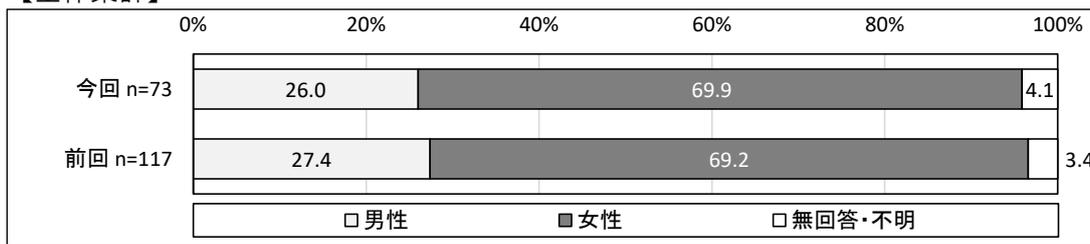
【全体集計】



家族の介助者の中で特に中心となっている人の年齢については、「60歳代」が31.5%と最も多く、「70歳代」の21.9%、「40歳代」の16.4%が続く。前回と比較し「40歳代」が増加している。

② 性別 (☑は1つ)

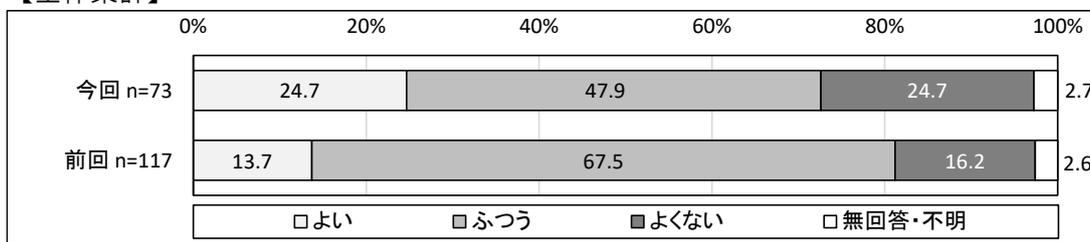
【全体集計】



性別については、「女性」が69.9%、「男性」が26.0%の構成になっている。前回と比較しほとんど変化はない。

③ 健康状態 (☑は1つ)

【全体集計】



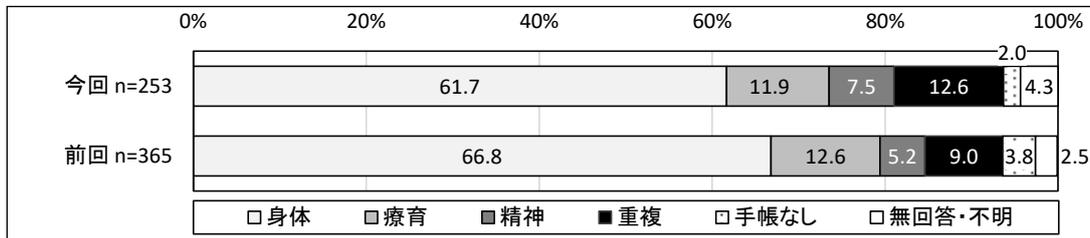
健康状態については、「ふつう」の47.9%が最も多く、「よい」「よくない」がともに24.7%となっている。前回と比較し「よい」「よくない」が増加している。

II 調査結果

3 障がいの状況について

(1) 障がい区分

【全体集計】



障がい区分については、「身体」が61.7%と最も多く、「重複」の12.6%、「療育」の11.9%と続く。前回と比較し「精神」と「重複」がそれぞれ若干増えている。

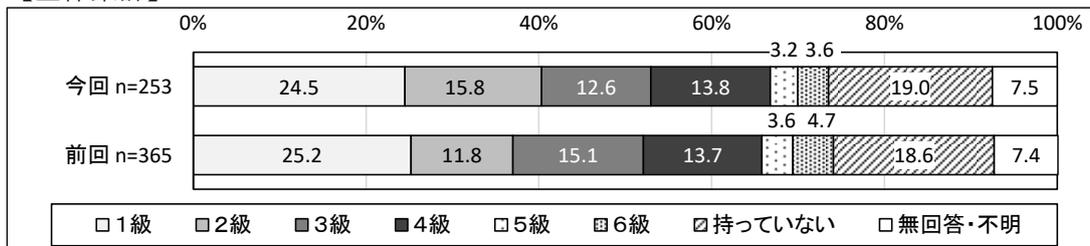
※障がい区分は、それぞれの手帳の所有状況を問う3問（「問9 身体障害者手帳の所有状況」「問11 療育手帳の所有状況」「問12 精神障害者保健福祉手帳の所有状況」）の回答を、以下のように集計したものである。

- ・身体障害者手帳のみ所有 ⇒「身体」で集計
- ・療育手帳のみ所有 ⇒「療育」で集計
- ・精神障害者保健福祉手帳のみ所有 ⇒「精神」で集計
- ・複数の手帳を所有 ⇒「重複」で集計

(2) 身体障害者手帳の所有状況

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（☑は1つ）

【全体集計】

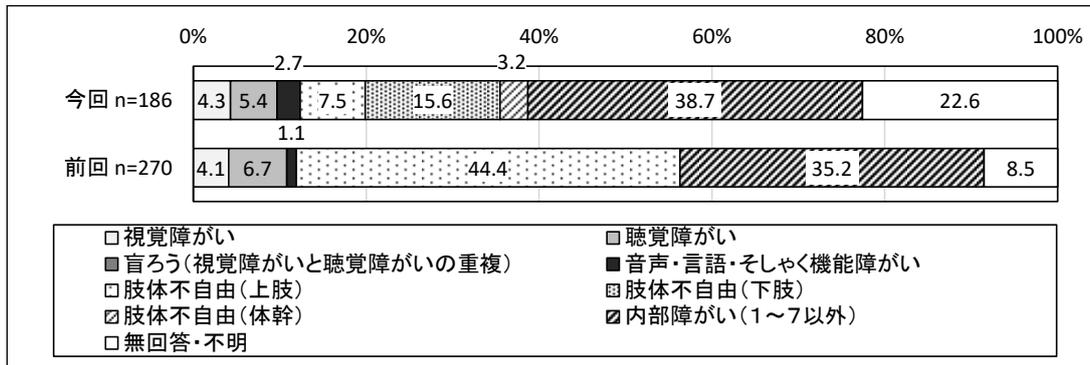


身体障害者手帳の所有状況については、「1級」が24.5%と最も多く、「持っていない」の19.0%、「2級」の15.8%、「4級」の13.8%と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

(3) 身体障害者手帳における主な障がい

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。(☑は1つ)

【全体集計】

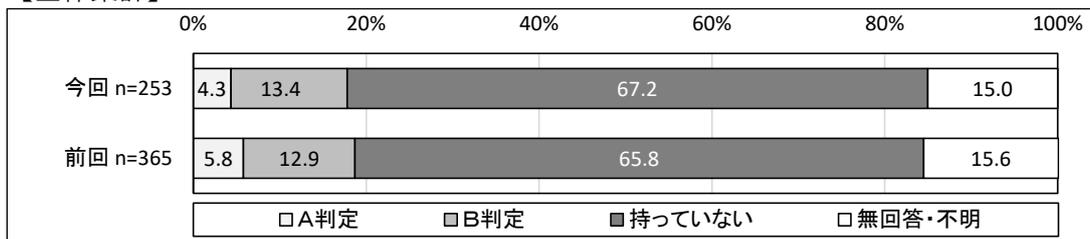


身体障害者手帳における主な障がいについては、「内部障がい」が38.7%と最も多く、「肢体不自由(下肢)」の15.6%が続く。前回の「肢体不自由」は上肢、下肢、体幹を合わせた回答であり、今回の合計は26.3%になる。また、今回は「無回答・不明」が22.6%を占め、前回との比較は難しい。

(4) 療育手帳の所有状況

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(☑は1つ)

【全体集計】

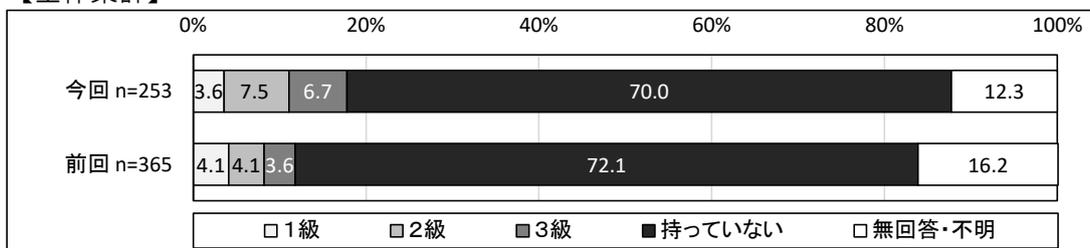


療育手帳の所有状況については、「持っていない」が67.2%と過半数を占め、持っている人は「B判定」が13.4%、「A判定」が4.3%となっている。前回と比較しほとんど変化はない。

(5) 精神障害者保健福祉手帳の所有状況

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(☑は1つ)

【全体集計】



精神障害者保健福祉手帳の所有状況については、「持っていない」が70.0%を占め、持っている人は「2級」が7.5%、「3級」が6.7%、「1級」が3.6%となっている。前回と比較し「2級」「3級」が増加している。

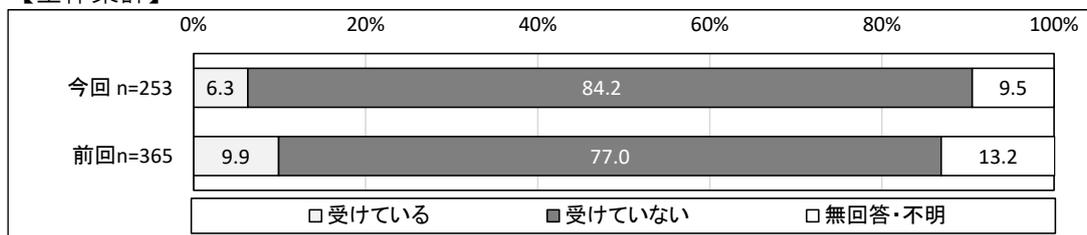
II 調査結果

(6) 難病の認定状況

問13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（☑は1つ）

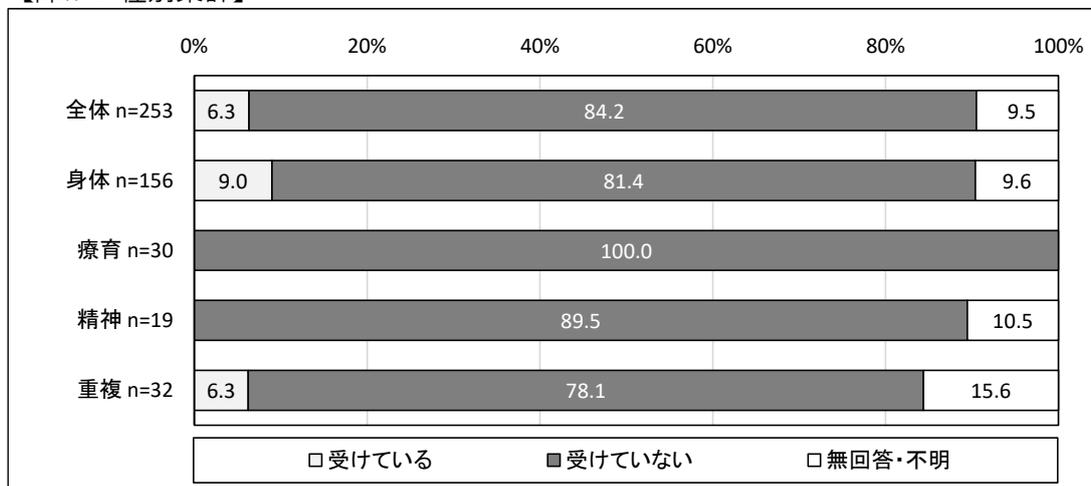
※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやパーキンソン病等の治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

【全体集計】



難病の認定状況については、「受けていない」が84.2%を占め、「受けている」が6.3%となっている。前回と比較し「受けている」が減少している。

【障がい種別集計】



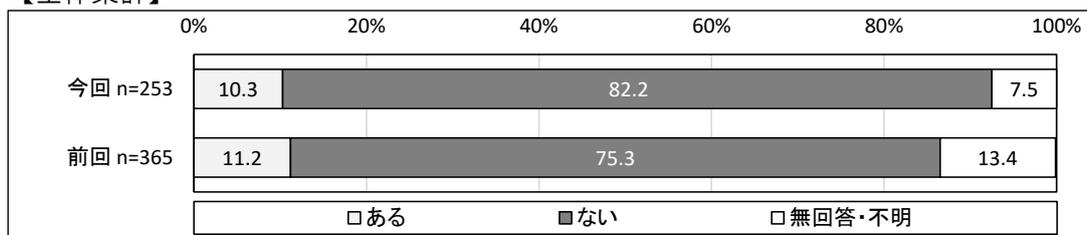
障がい種別にみると、「受けている」は「身体」が9.0%と最も多く、「重複」は6.3%、「療育」「精神」は0.0%となっている。

(7) 発達障がいの診断の有無

問14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。（☑は1つ）

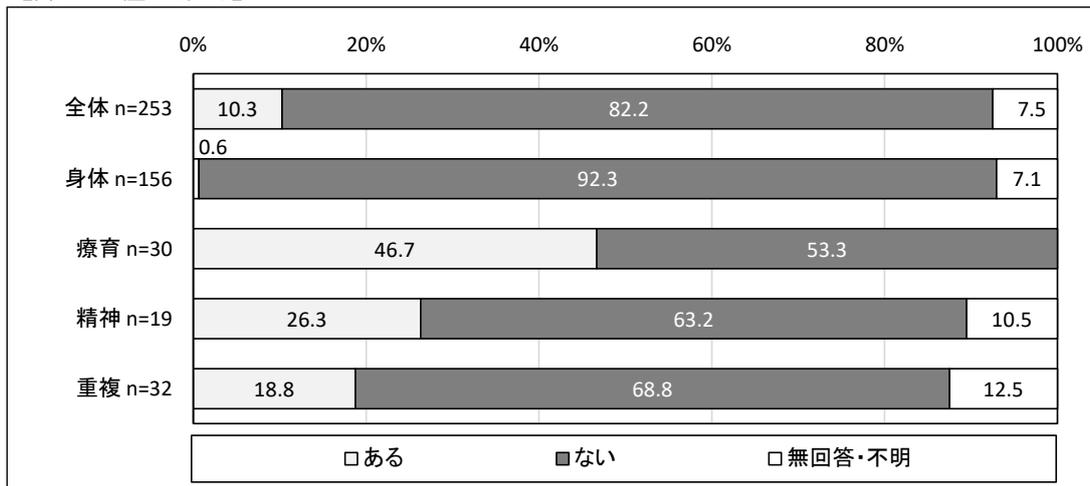
※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等をいいます。

【全体集計】



発達障がいの診断の有無については、「ない」が82.2%を占め、「ある」が10.3%となっている。前回と比較しほとんど変化はない。

【障がい種別集計】



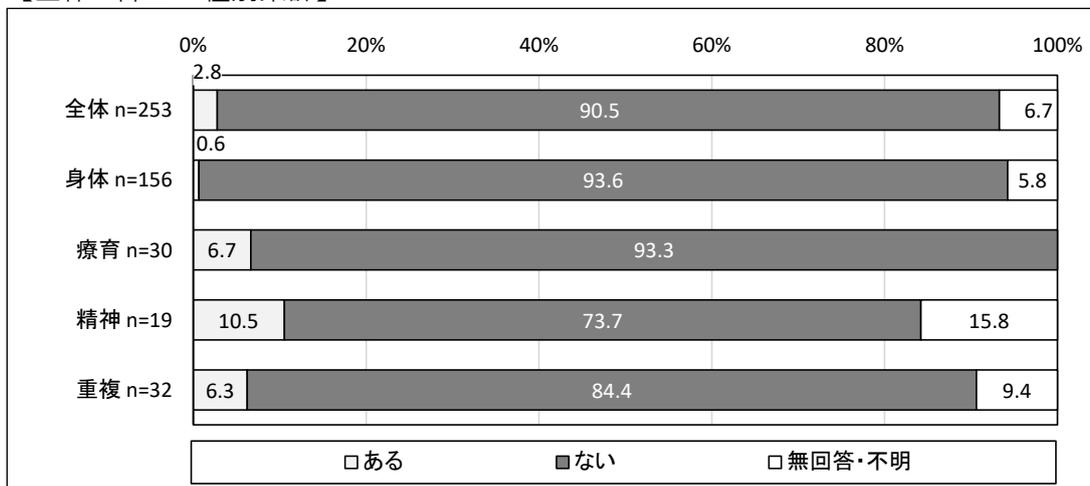
障がい種別にみると、「ある」は「療育」が46.7%と最も多く、「精神」は26.3%、「重複」は18.8%、「身体」は0.6%となっている。

(8) 強度行動障がいの指摘の有無

問15 あなたは強度行動障がいがあると言われたことはありますか。(☑は1つ)

※強度行動障がいとは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことを言います。障がい福祉サービス等を利用している人で重度障がい者支援加算の対象となっている場合や、外出支援で行動援護を利用している場合、医師や療育機関等から指摘されたことがある場合等は「1」としてください。

【全体・障がい種別集計】



強度行動障がいの指摘の有無について、全体では「ある」が2.8%となっている。障がい種別にみると、「ある」は「精神」の10.5%が最も多く、「療育」は6.7%、「重複」は6.3%、「身体」は0.6%となっている。

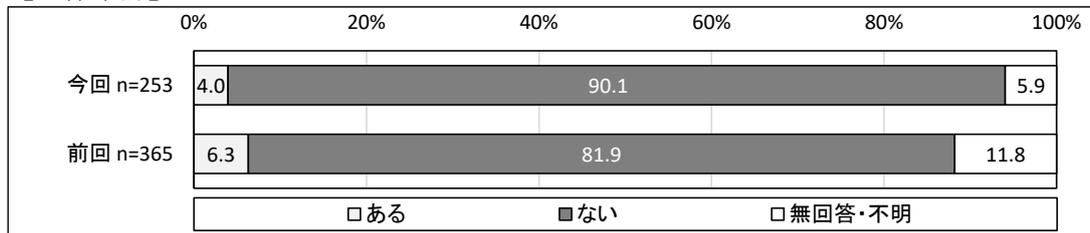
II 調査結果

(9) 高次脳機能障がい診断の有無

問16 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。(☑は1つ)

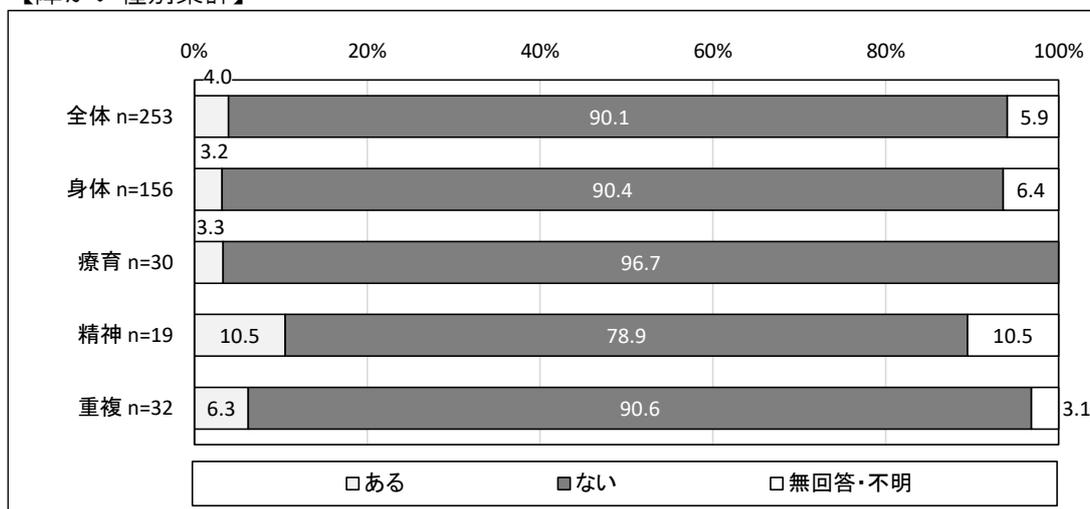
※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障がい等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた、注意障がい、社会的行動障がい、失語等の認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

【全体集計】



高次脳機能障がい診断の有無については、「ある」が4.0%となっている。前回と比較し若干「ある」が減少している。

【障がい種別集計】



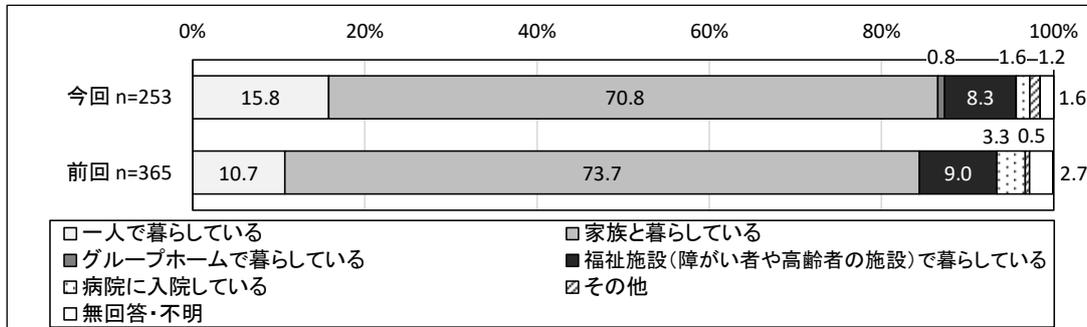
障がい種別にみると、「ある」は「精神」の10.5%が最も多く、「重複」は6.3%、「療育」は3.3%、「身体」は3.2%となっている。

4 住まいや暮らしについて

(1) 現在の居住形態

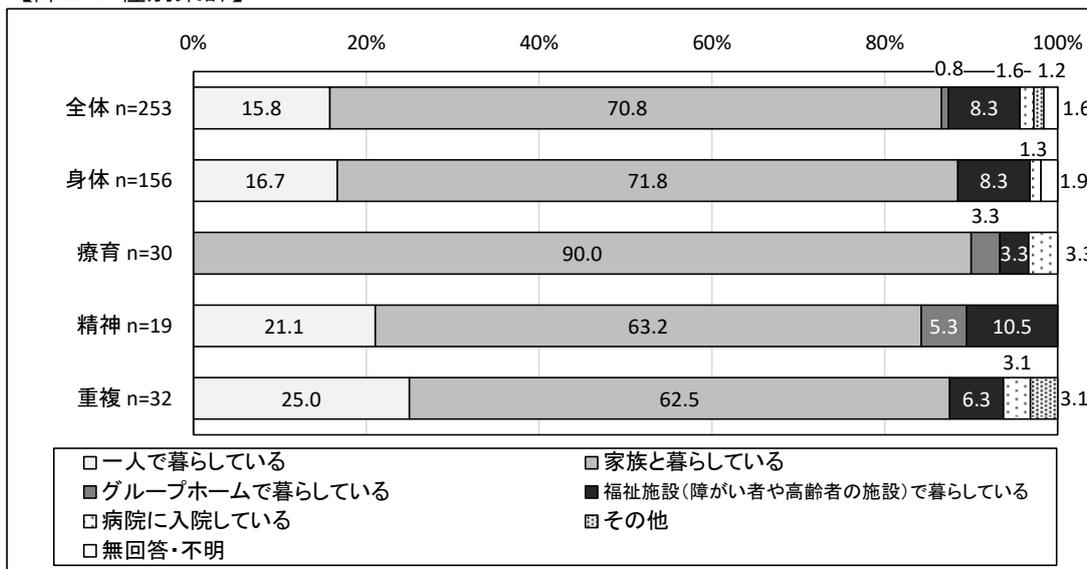
問17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(☑は1つ)

【全体集計】



現在の居住形態については、「家族と暮らしている」が70.8%と最も多く、「一人で暮らしている」が15.8%、「福祉施設で暮らしている」が8.3%となっている。前回と比較し「一人で暮らしている」が増加している。

【障がい種別集計】



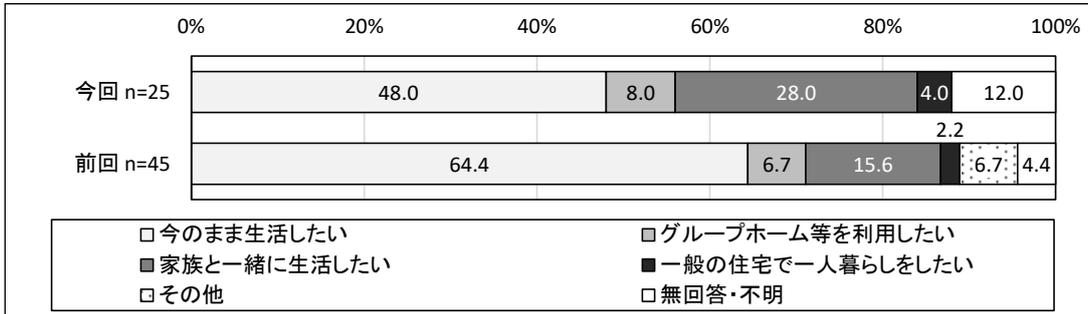
障がい種別にみると、「家族と暮らしている」は「療育」の90.0%が、「一人で暮らしている」は「重複」の25.0%が、「福祉施設で暮らしている」は「精神」の10.5%がそれぞれ最も多い。

II 調査結果

(2) 将来の地域での生活意向

【問18から問19は、問17で「4」か「5」のいずれかを答えた人にお聞きします。】
 問18 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(☑は1つ)

【全体集計】

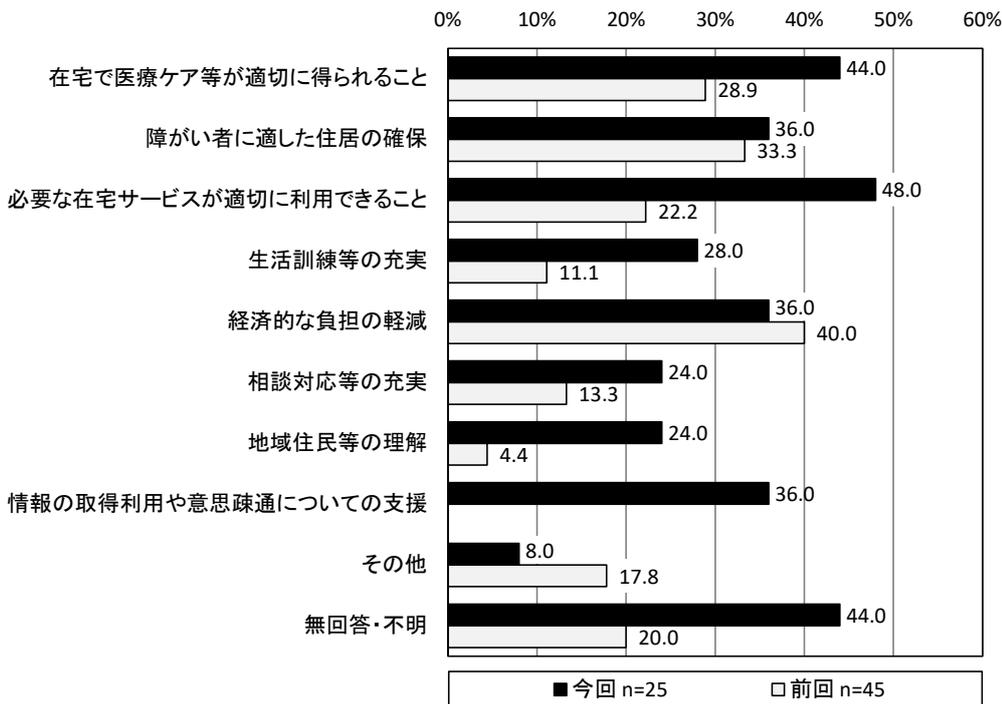


将来の地域での生活意向については、「今のまま生活したい」が48.0%と最も多く、「家族と一緒に生活したい」の28.0%が続く。前回と比較し「家族と一緒に生活したい」が大きく増加し、「今のまま生活したい」が大きく減少している。

(3) 地域で生活するためにあれば良いと思う支援

問19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



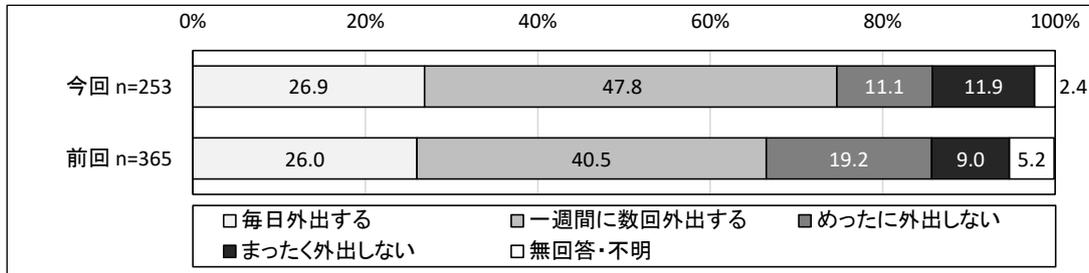
地域で生活するためにあれば良いと思う支援については、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が48.0%と最も多く、「在宅で医療ケア等が適切に得られること」の44.0%が続く。前回の最も多い回答は「経済的な負担の軽減」、次いで「障がい者に適した住居の確保」であり、今回は大きく変化している。

5 日中活動や就労について

(1) 一週間の外出頻度

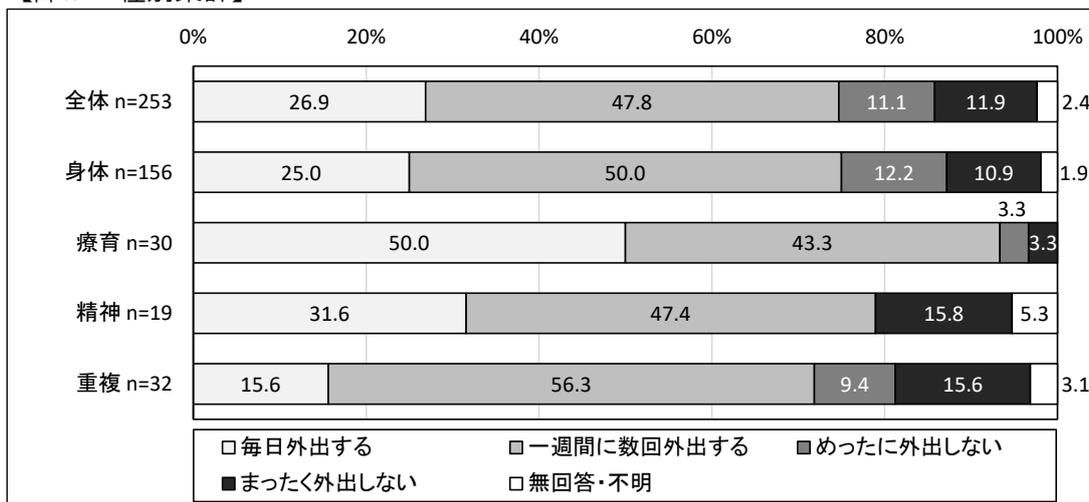
問20 あなたは、一週間にどの程度外出しますか。(☑は1つ)

【全体集計】



一週間の外出頻度については、「一週間に数回外出する」が47.8%と最も多く、「毎日外出する」の26.9%が続く。前回と比較し「一週間に数回外出する」が増加し、「めったに外出しない」が減少している。

【障がい種別集計】



障がい種別にみると、「毎日外出する」は「療育」が50.0%、「精神」が31.6%と多くなっている。

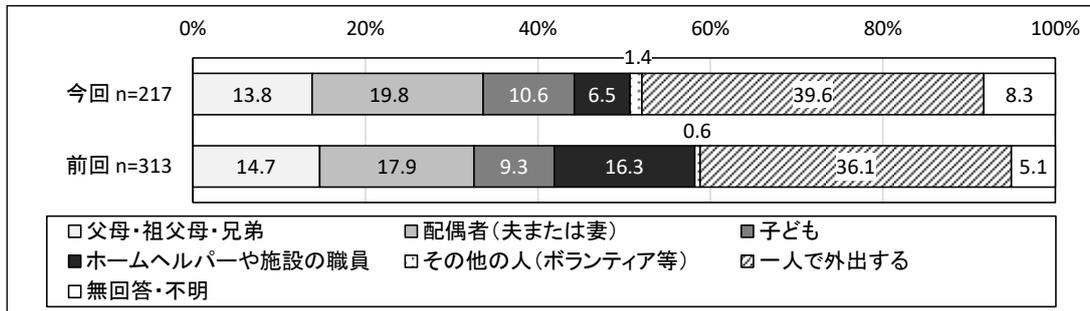
II 調査結果

(2) 外出する際の主な同伴者

【問21～問23は、問20で「1～3」のいずれかを答えた人にお聞きします。】

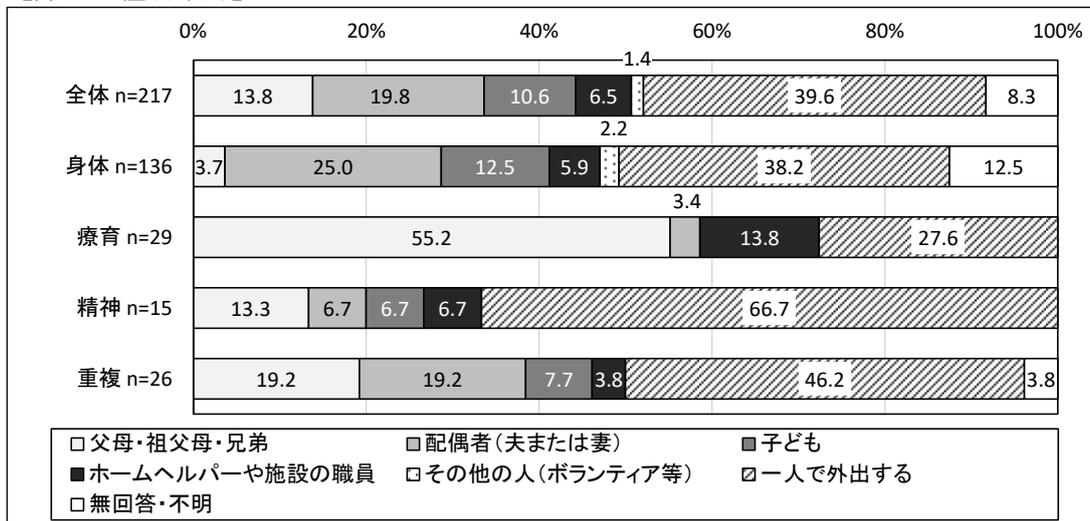
問21 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(☑は1つ)

【全体集計】



外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」が39.6%と最も多く、「配偶者」の19.8%が続く。前回と比較し「一人で外出する」が増加し、「ホームヘルパーや施設の職員」が減少している。

【障がい種別集計】

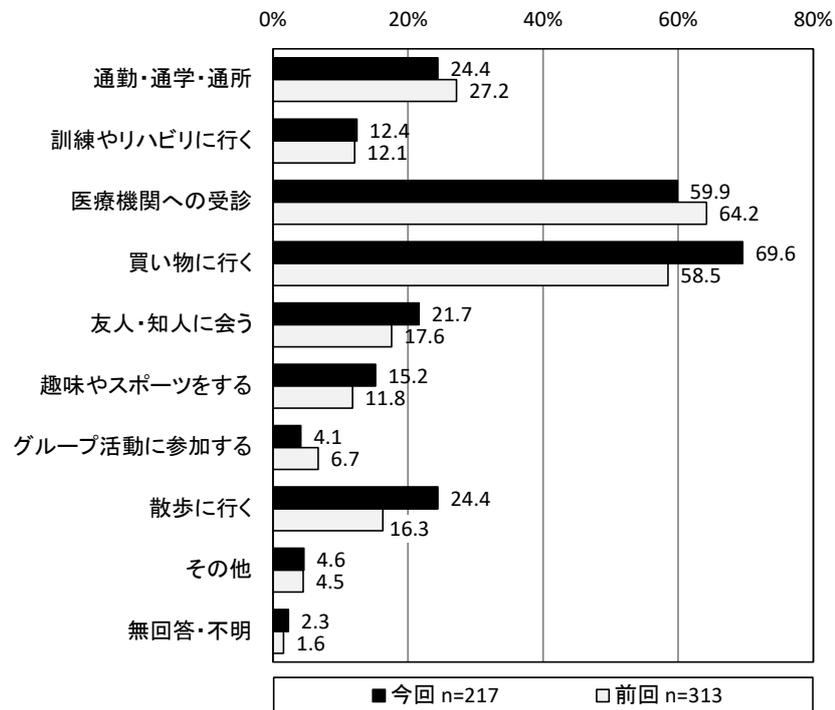


障がい種別にみると、「一人で外出する」は「精神」の66.7%が最も多く、「配偶者(夫または妻)」は「身体」の25.0%が最も多い。また、「療育」は「父母・祖父母・兄弟」が55.2%と過半数を占める。

(3) 主な外出の目的

問22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに☑)

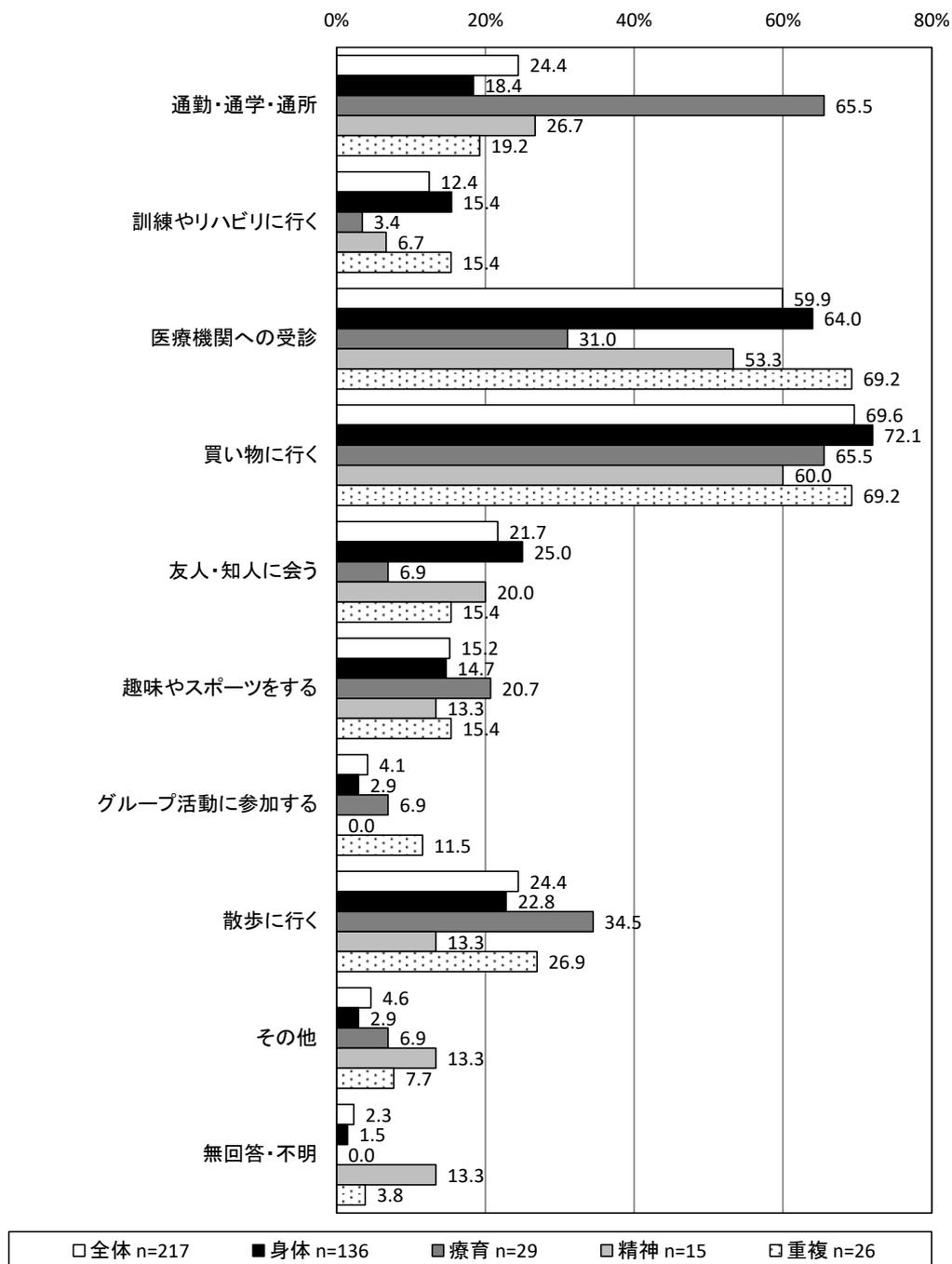
【全体集計】



主な外出の目的については、「買い物に行く」が69.6%と最も多く、「医療機関への受診」の59.9%が続く。前回と比較し「買い物に行く」「散歩に行く」が増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】

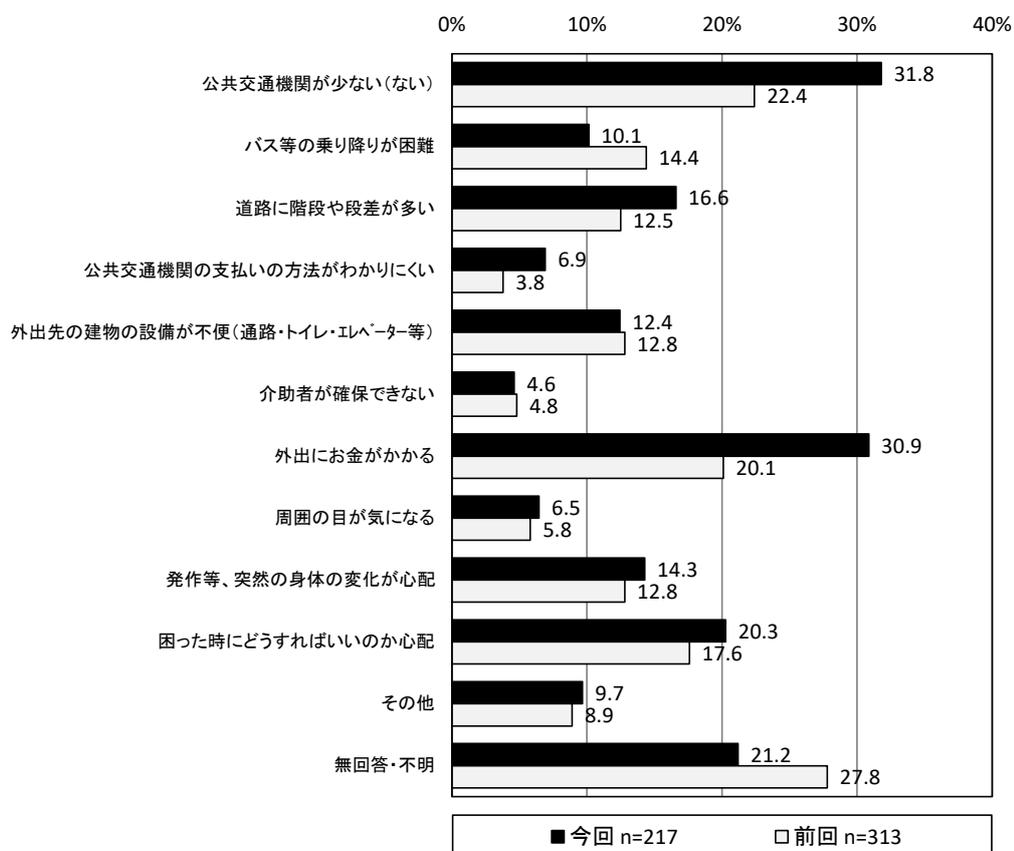


障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「医療機関への受診」「買い物に行く」「友人・知人に会う」が多い。「療育」は「通勤・通学・通所」が際立って多く、「散歩に行く」についても多くなっている。

(4) 外出時に困ること

問23 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

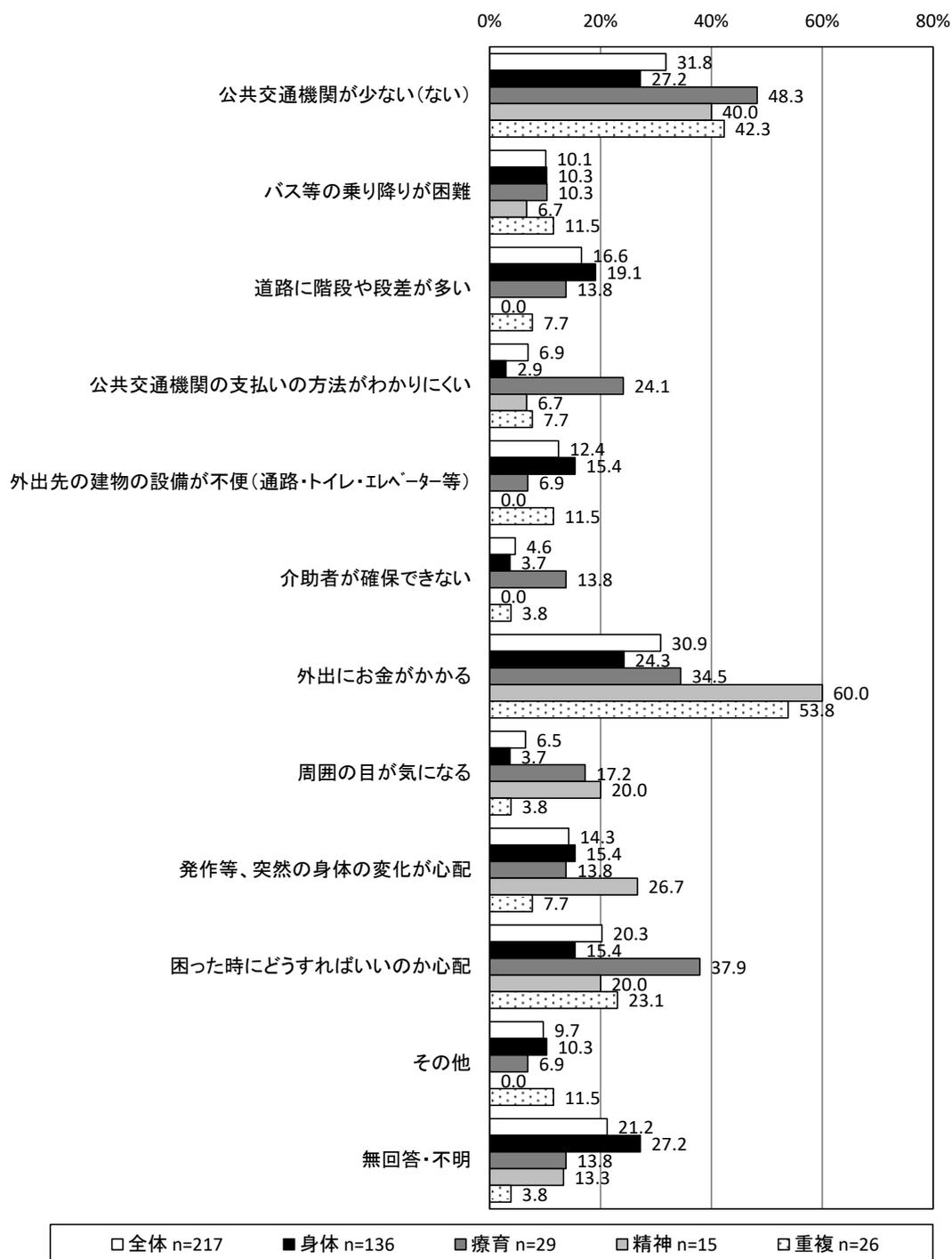
【全体集計】



外出時に困ることについては、「公共交通機関が少ない(ない)」が31.8%と最も多く、「外出にお金がかかる」の30.9%が続く。前回と比較し「公共交通機関が少ない(ない)」「外出にお金がかかる」がともに、大きく増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】

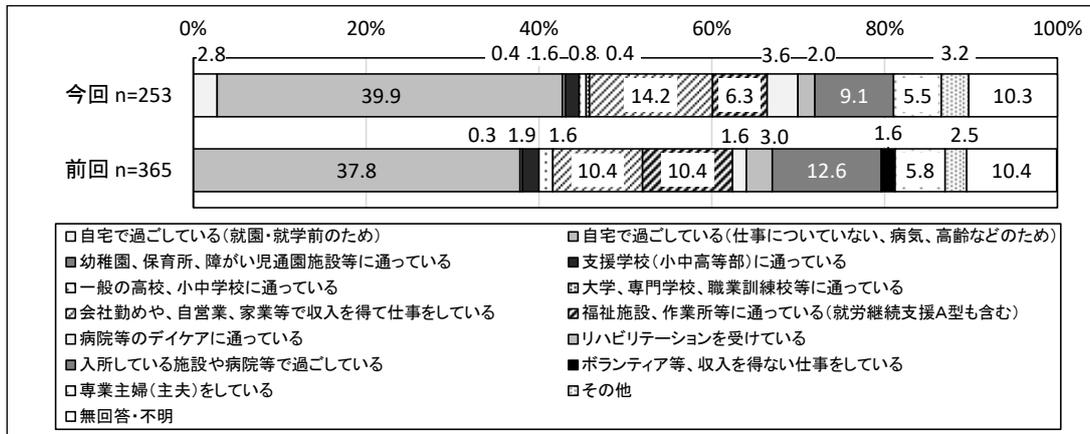


障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「療育」は「公共交通機関が少ない(ない)」「公共交通機関の支払いの方法がわかりにくい」「困った時にどうすればいいのか心配」が多く、「精神」は「外出にお金がかかる」が際立って多く、「発作等、突然の身体の変化が心配」も多くなっている。

(5) 平日の日中の主な過ごし方

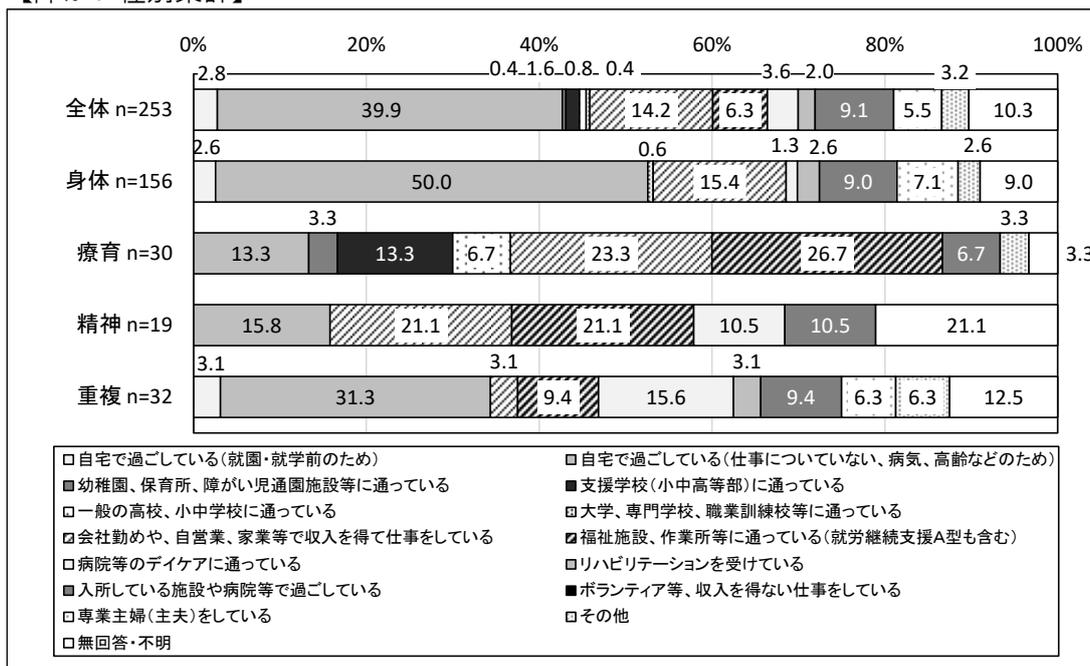
問24 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(☑は1つ)

【全体集計】



平日の日中の主な過ごし方については、「自宅で過ごしている(仕事についていない、病気、高齢などのため)」が39.9%と最も多く、「会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」の14.2%、「入所している施設や病院等で過ごしている」の9.1%と続く。

【障がい種別集計】



障がい種別にみると、「自宅で過ごしている(仕事についていない、病気、高齢などのため)」は「身体」の50.0%が最も多く、「会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」は「療育」の23.3%、「精神」の21.1%が多くなっている。また、「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)」は「療育」の26.7%、「精神」の21.1%が多くなっている。

II 調査結果

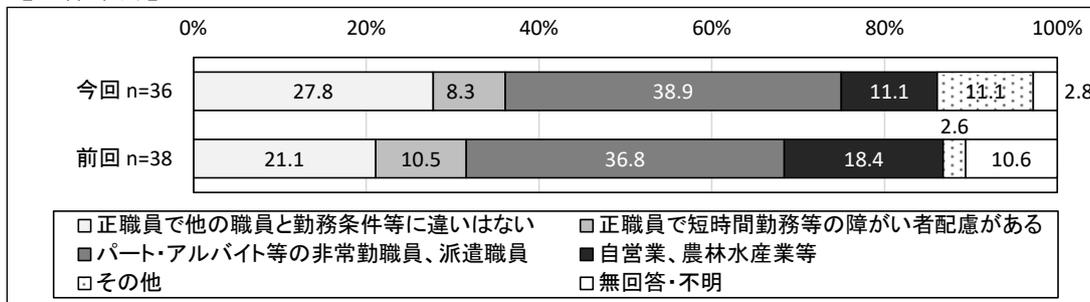
6 就労について

(1) 勤務形態について

【問25は、問24で「7」を答えた人にお聞きします。】

問25 どのような勤務形態で働いていますか。(☑は1つ)

【全体集計】



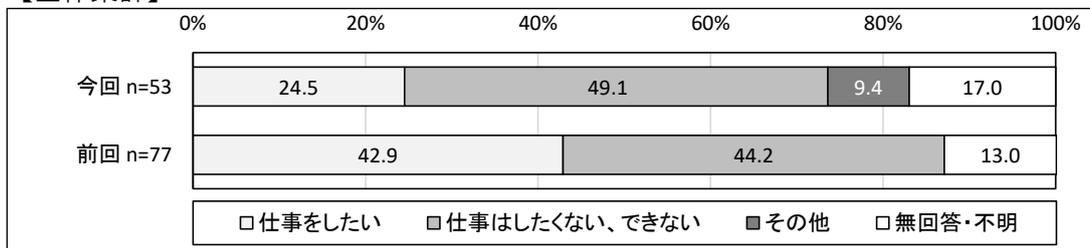
「会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」人の勤務形態については、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が38.9%と最も多く、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の27.8%が続く。前回と比較し「正職員で他の職員と勤務条件に違いはない」が増加し、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」も若干増加している。

(2) 今後の就労意向

【問26は、問24で「2」または「8～14」のいずれかを答えた18～64歳の人にお聞きします】

問26 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(☑は1つ)

【全体集計】



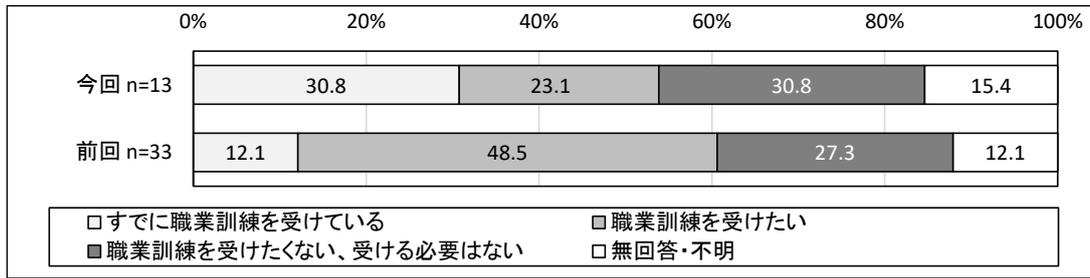
仕事に就いていない人の今後の就労意向については、「仕事はしたくない、できない」が49.1%と最も多く、「仕事をしたい」の24.5%が続く。前回は「その他」の選択肢がないため単純に比較できないが、「仕事をしたい」が大幅に減少し、「仕事はしたくない、できない」が増加している。

(3) 職業訓練等の受講意向

【問27及び問28は、問26で「1」を答えた人にお聞きします。】

問27 収入を得る仕事を得るために、職業訓練等を受けたいと思いますか。(☑は1つ)

【全体集計】

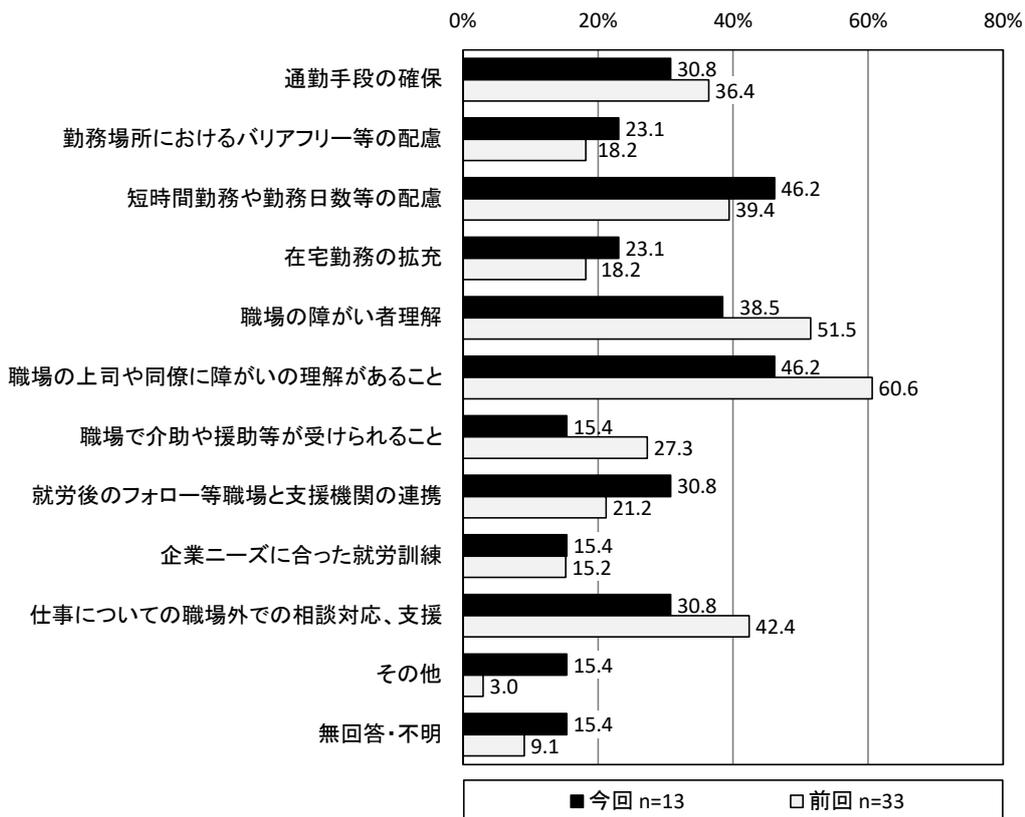


「仕事をしたい」と回答した人の職業訓練等の受講意向については、「すでに職業訓練をうけている」「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が30.8%で、「職業訓練を受けたい」は23.1%となっている。

(4) 障がい者の就労支援として必要だと思うこと

問28 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



「仕事をしたい」と回答した人が、障がい者の就労支援として必要だと思うことについては、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」がともに46.2%と最も多く、「職場の障がい者理解」の38.5%が続く。

II 調査結果

7 障がい児について

障がい児の回答者数は5人であり、回答結果は以下の通りである。

(1) 発達の不安や障がいに気づいたきっかけ

問29 お子さんの発達の不安や障がいに気づいたきっかけは何ですか。(☑は1つ)

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4	5	6	7			
	家族が気づいた	た康定期健康診査)で指摘された	医病師から指摘された	に就学時健康診断の際	指校保摘された	指校保摘された	知人から指摘された	その他	無回答・不明	合計
今回	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0

(2) 気づいた時のお子さんの年齢

問30 お子さんの発達の不安や障がいに気づいた時のお子さんの年齢はいくつですか。

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4		
	5歳未満	5歳 ～ 9歳	10歳 ～ 14歳	15歳 ～ 17歳	無回答・不明	合計
今回	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0

(3) 気づいた時の主な相談先

問31 お子さんの発達の不安や障がいに気づいた時、誰に(どこに)相談しましたか。主な相談先を教えてください。(☑は1つ)

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4	5	6	7	8		
	家族・親族	リカかりつけの病院・クリニック	町役場・保健センター	保健所	員)相談支援事業所(相談)	学校の先生	児童相談所	その他	無回答・不明	合計
今回	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0

(4) 現在の医療的ケアの有無

問32 お子さんは現在、医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに☑)

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
	気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養(I V H)	透析	カテーテル留置	ストマ(人工膀胱)	服薬管理	その他	無回答・不明	回答数合計	回答者数合計
今回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0

(5) 通園・通学で困っていること

問33 通園・通学をしているお子さんがいる人にお聞きします。通園・通学で特に困っていることは何ですか。本人、家族として困っていることを含めてお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
	通園・通学が大変である	園での活動や学校の授業についていけない	トイレなどの設備が足りない	学校内・園内での介助が十分でない	友だちができない	先生の配慮や生徒たの理解が得られない	帰宅後、下校後に仕事などが忙しく、子供の面倒が十分取れない	夏休みなど長期の休み中に仕事などが忙しく、子どもの面倒が十分取れない	医療的なケア(吸引・導尿等)が受けられない	その他	特になし	無回答・不明	回答数合計	回答者数合計
今回	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	7 140.0	5 100.0

(6) 充実してほしい障がい児福祉の内容

問34 障がい児福祉全般において、充実させるべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

単位：上段・回答数(件),下段・構成比(%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	会話やコミュニケーションに関する支援	トイレや食事など日常生活に関する支援	言葉や読み書きに関する支援	宿題、自習への取り組み支援(学習支援)	友達など人との関わり方に関する支援	保護者への支援	保育園・認定こども園・学校での受け入れ体制の充実	費用に関する補助	送迎など通所・通園・通学に関するサービス	施設や保育園職員・幼保連携施設での受け入れ体制の充実	通園・通学先や進路指導などの相談体制の充実	医療的ケアが必要な児童への支援
今回	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0

13	14			
その他	特になし	無回答・不明	回答数合計	回答者数合計
0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 400.0	5 100.0

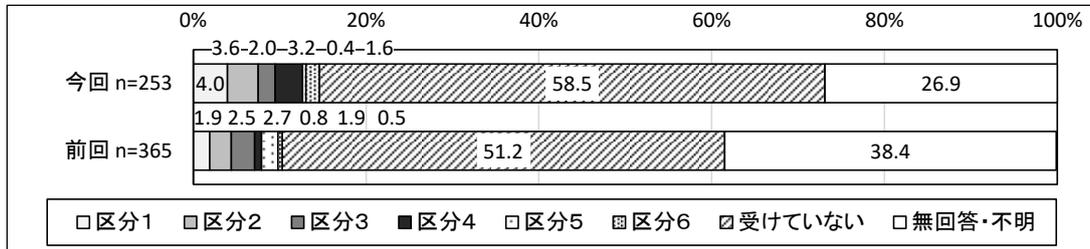
Ⅱ 調査結果

8 障がい福祉サービス等の利用について

(1) 障がい程度区分の認定の有無

問35 あなたは障がい程度区分（支援区分）の認定を受けていますか。（☑は1つ）

【全体集計】



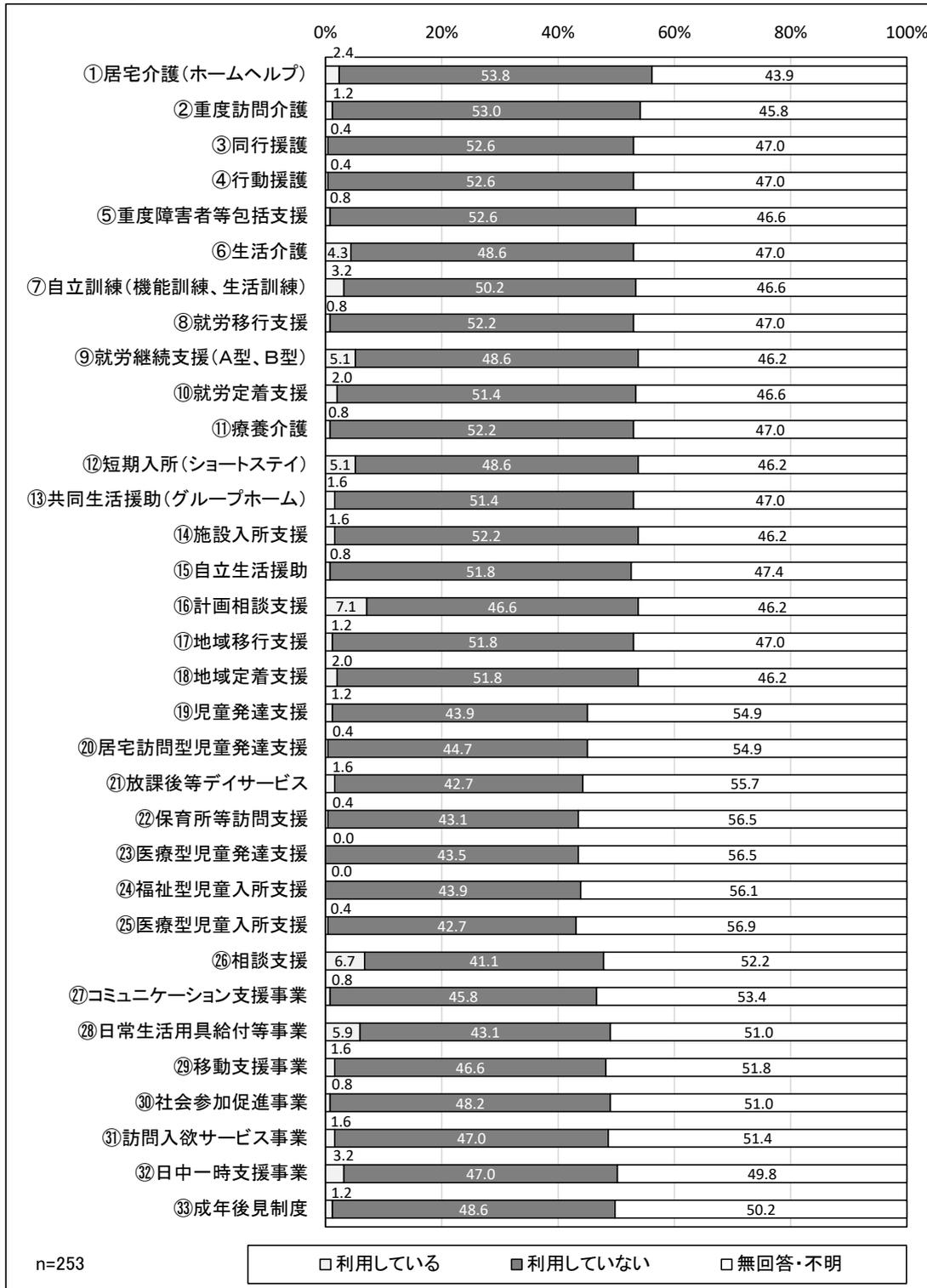
障がい程度区分の認定の有無については、「受けていない」が58.5%と過半数を占める。「認定を受けている」は合わせて14.8%であり、「区分1」が4.0%と最も多く、「区分2」の3.6%、「区分4」の3.2%と続く。前回と比較し「認定を受けている」が4ポイント以上増えている。

(2) 福祉サービスの利用状況、利用意向

問36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から③③のそれぞれについて、「現在利用している」と「今後利用したい」の両方を回答(それぞれ☐は1つ)してください)

① 利用状況

【全体集計】

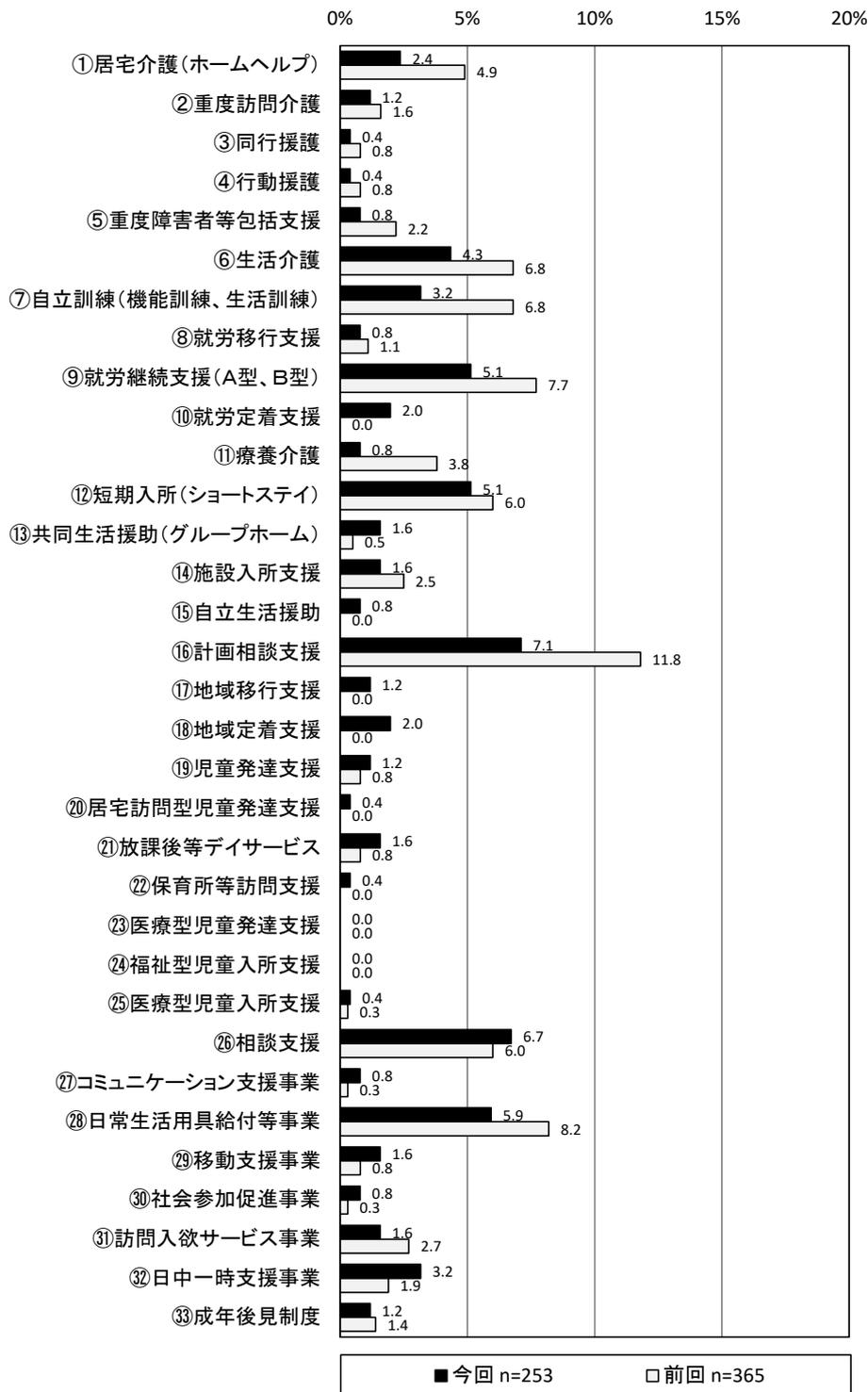


福祉サービスの利用状況については、「利用している」との回答は、全て10%未満になっている。「利用している」との回答の上位5サービスは、「⑯計画相談支援」の7.1%、「㉖相談支援」の6.7%、「㉘日常生活用具給付等事業」の5.9%、「⑨就労継続支援(A型、B型)」の5.1%、「⑫短期入所(ショートステイ)」の5.1%である。

II 調査結果

【「利用している」の今回・前回の比較】

【全体集計】



「利用している」との回答の上位5位サービスについて前回と比較すると、「㉖相談支援」は若干増加し、その他の「⑯計画相談支援」「㉘日常生活用具給付等事業」「⑨就労継続支援(A型、B型)」「⑫短期入所(ショートステイ)」はいずれも減少している。特に「⑯計画相談支援」は大幅に減少している。その他の「①居宅介護(ホームヘルプ)」「⑥生活介護」「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」等も減少している。

② 利用意向

【全体集計】

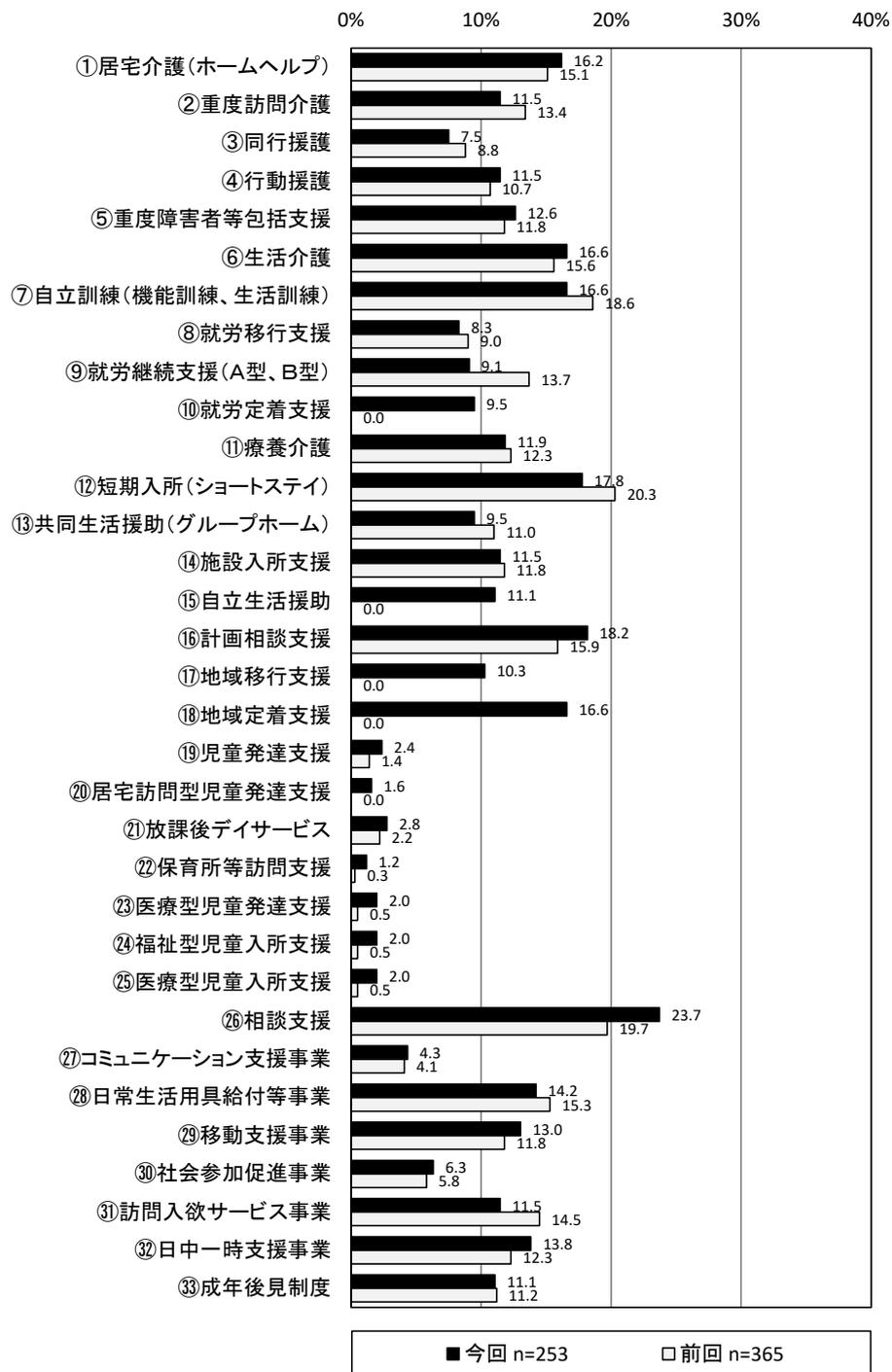


利用意向については、「利用したい」との回答が最も多いのは「㉖相談支援」の23.7%であり、「⑯計画相談支援」の18.2%、「⑫短期入所(ショートステイ)」の17.8%、「⑥生活介護」「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」「⑱地域定着支援」の16.6%と続く。以上が上位6サービスになっている。利用状況と比較すると、「⑥生活介護」「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」「⑱地域定着支援」が新たに上位に入っている。

II 調査結果

【「利用したい」の今回・前回の比較】

【全体集計】



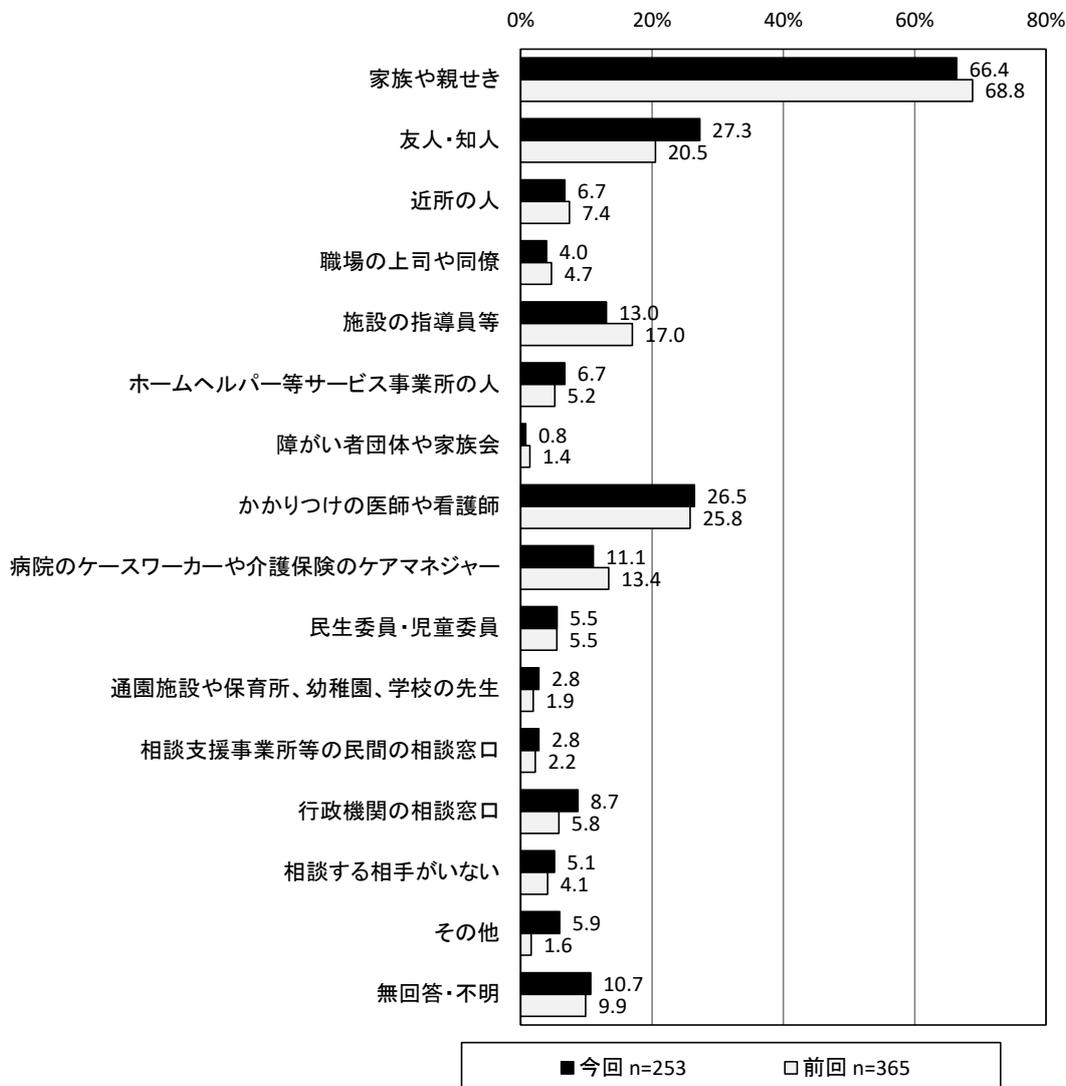
「利用したい」を前回と比較し、「⑩就労定着支援」「⑮自立生活援助」「⑰地域移行支援」「⑱地域定着支援」が新たな「利用したい」サービスとして上がってきており、「⑯計画相談支援」「㉖相談支援」等も増加している。

9 相談相手と情報入手について

(1) 悩みや困ったことの相談相手

問37 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに☑)

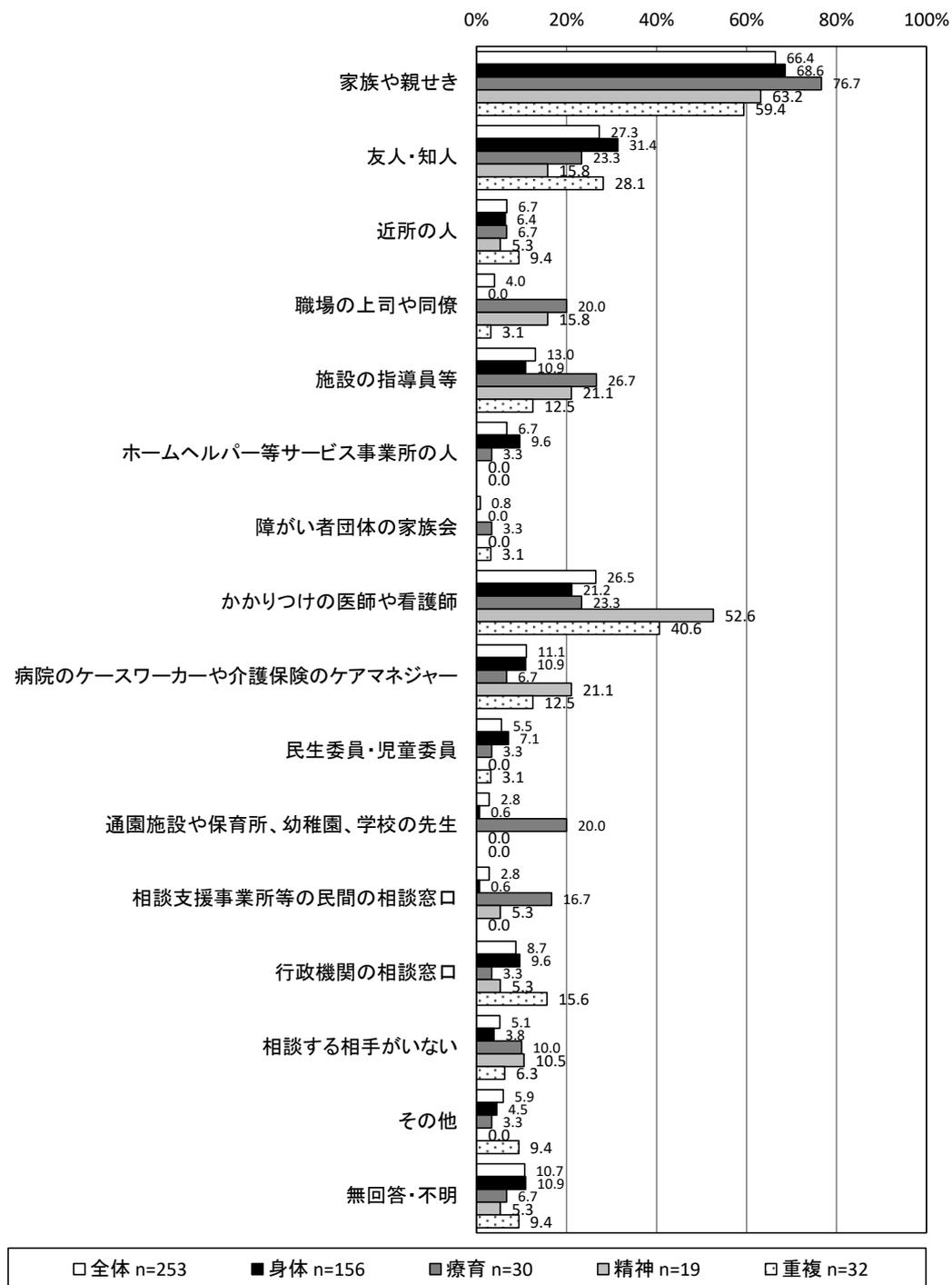
【全体集計】



悩みや困ったことの相談相手については、「家族や親せき」が66.4%と最も多く、「友人・知人」の27.3%、「かかりつけの医師や看護師」の26.5%と続く。前回と比較し「友人・知人」が増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】

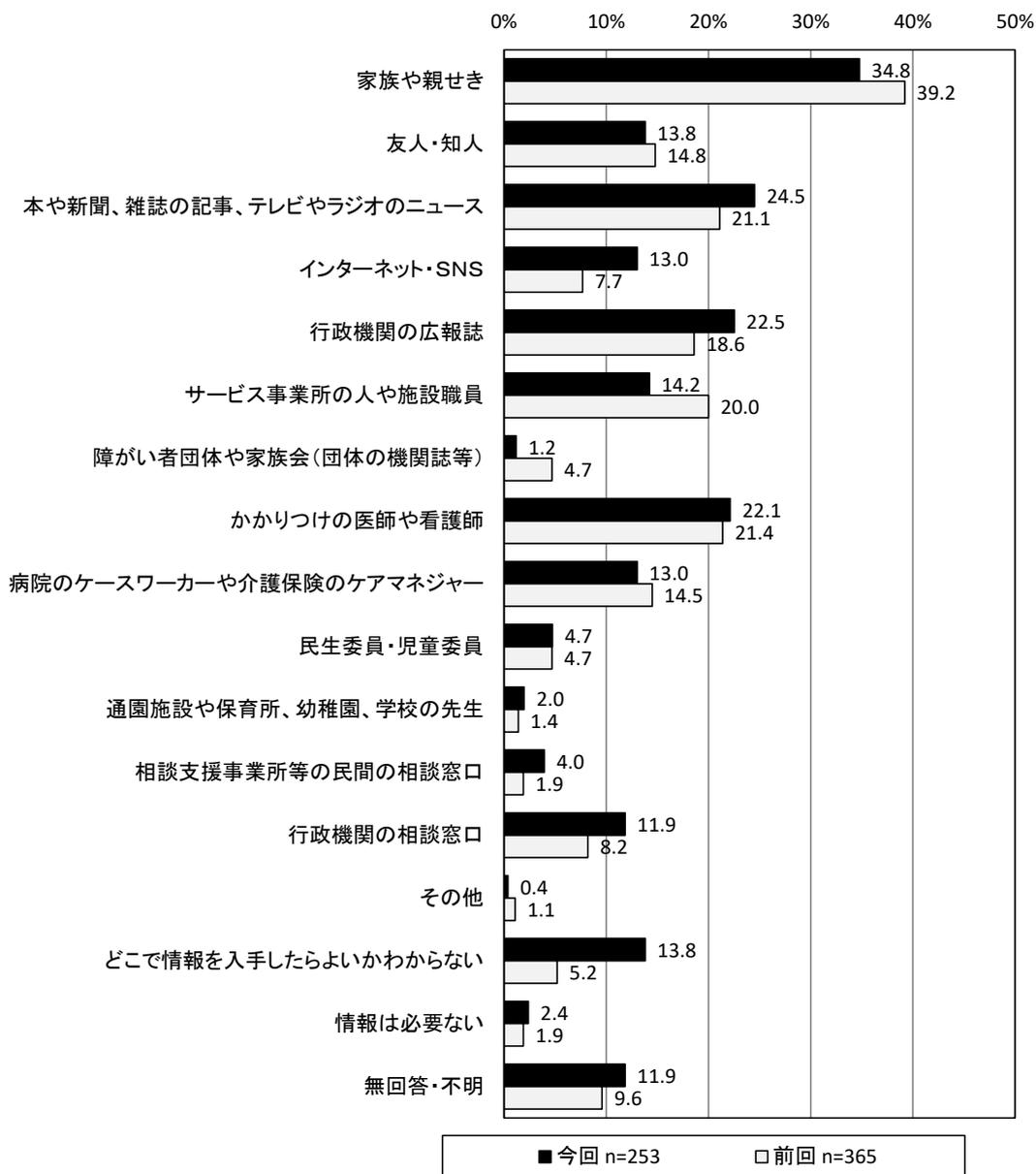


障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「友人・知人」、「療育」は「職場の上司や同僚」「施設の指導員等」「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」「相談支援事業所等の民間の相談窓口」、「精神」は「かかりつけの医師や看護師」「病院のケースワーカーや介護保健のケアマネジャー」の回答が多い。

(2) 障がいや福祉サービス等に関する情報源

問38 あなたは障がいのことや福祉サービス等に関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに☑)

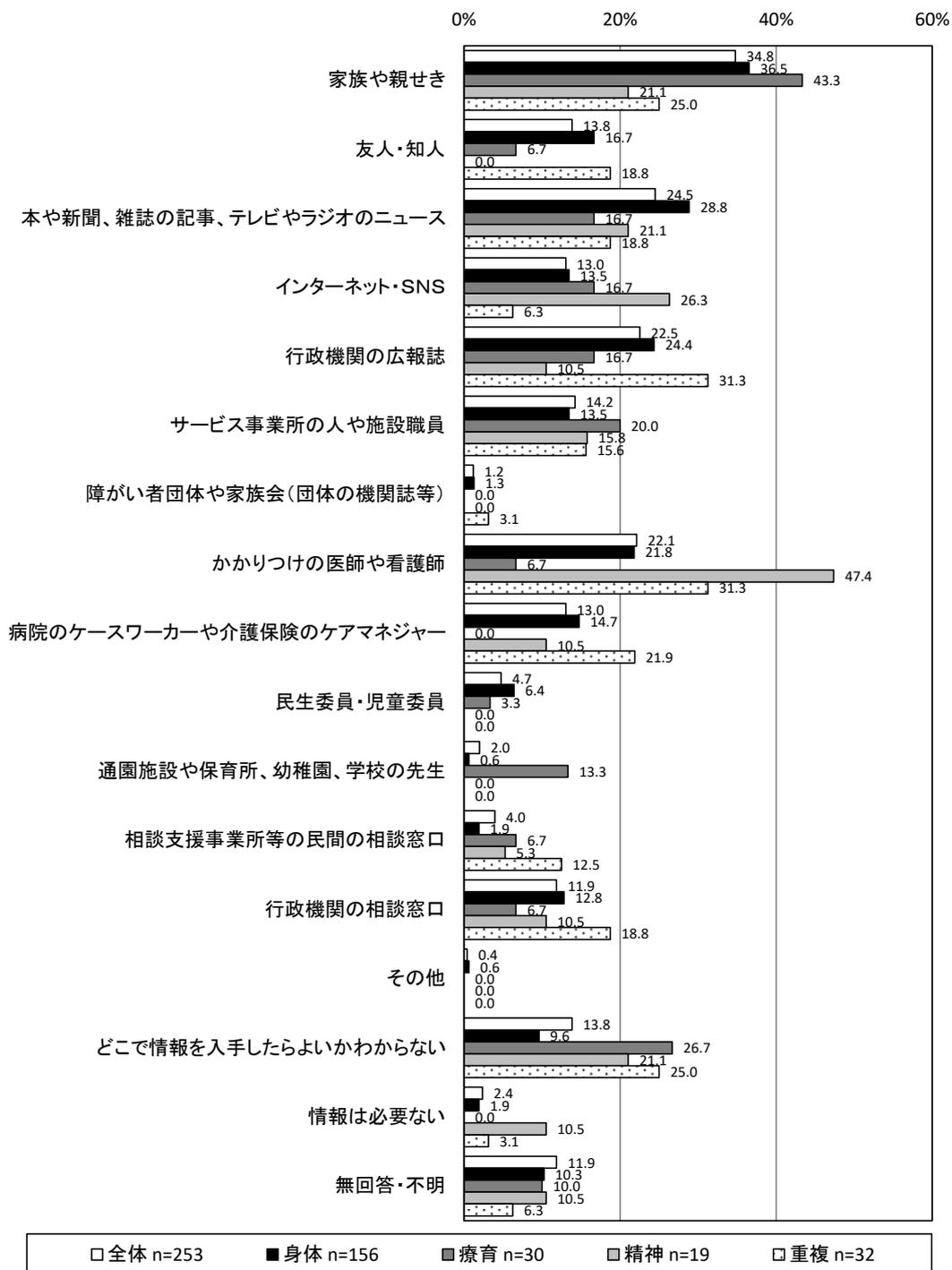
【全体集計】



障がいや福祉サービス等に関する情報源については、「家族や親せき」が34.8%と最も多く、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の24.5%、「行政機関の広報誌」の22.5%、「かかりつけの医師や看護師」の22.1%と続く。前回と比較し「家族や親せき」は減少し、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」「インターネット・SNS」「行政機関の広報誌」「行政機関の相談窓口」が増加している。また、「どこで情報を入手したらよいかわからない」が大きく増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】

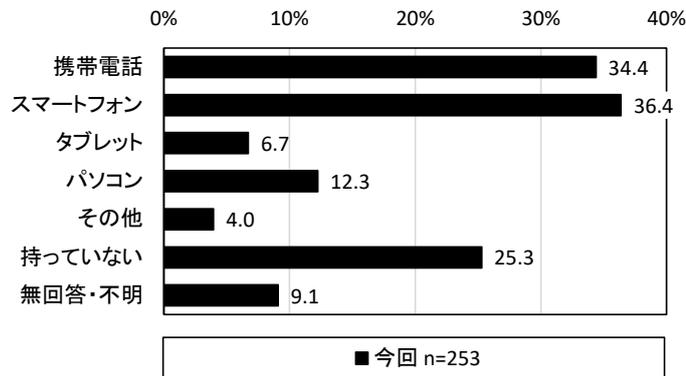


障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「友人・知人」「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」「行政機関の広報誌」「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」、「療育」は「家族や親せき」「サービス事業所の人や施設職員」「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」「どこで情報を入手したらよいかわからない」、「精神」は「インターネット・SNS」「かかりつけの医師や看護師」が多い。

(3) 使っている通信機器

問39 あなたが使っている通信機器はどれですか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



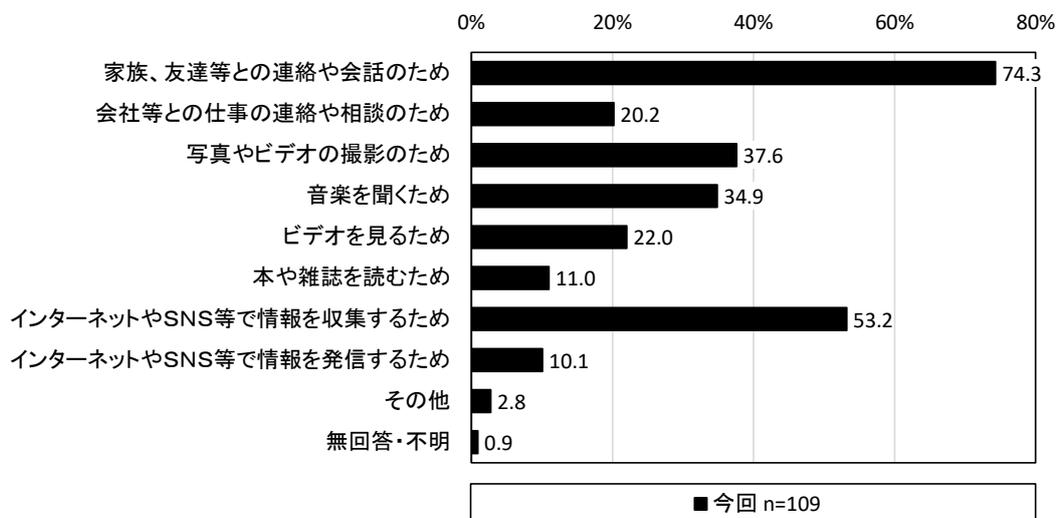
使っている通信機器については、「スマートフォン」が36.4%、「携帯電話」が34.4%と群を抜き、「パソコン」は12.3%、「タブレット」は6.7%に留まっている。また「持っていない」との回答も25.3%を占める。

(4) スマートフォンやタブレットの使い道

【問40は、問39で「2」「3」を答えた人にお聞きします。】

問40 あなたは、スマートフォンやタブレットをどんなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



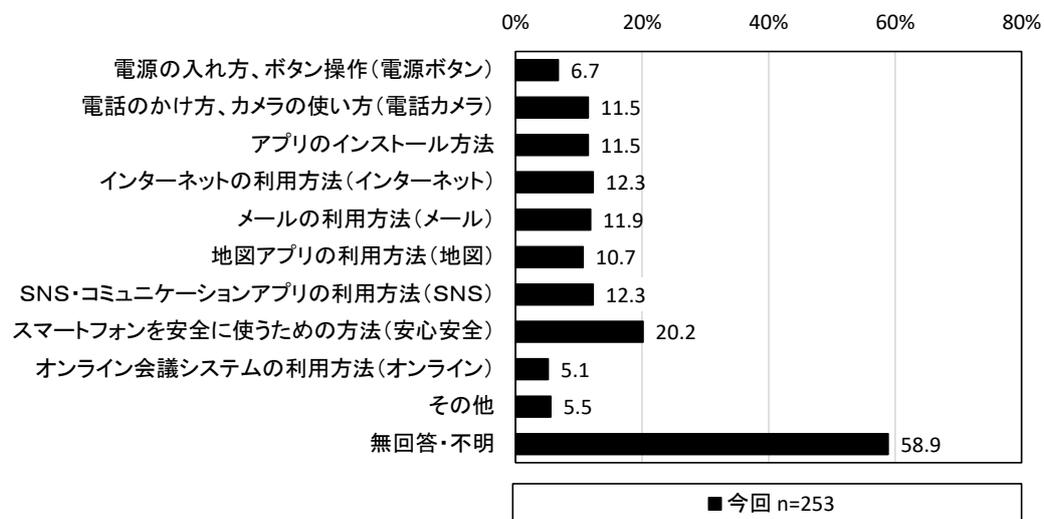
スマートフォンやタブレットの使い道については、「家族、友達等との連絡や会話のため」が74.3%を占め、「インターネットやSNS等で情報を収集するため」の53.2%、「写真やビデオの撮影のため」の37.6%、「音楽を聞くため」の34.9%と続く。

II 調査結果

(5) スマートフォンやタブレットの使い方教室の意向

問41 スマートフォンやタブレットを利用するために、障がいのある人に対してどのような内容の教室があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに☑）

【全体集計】



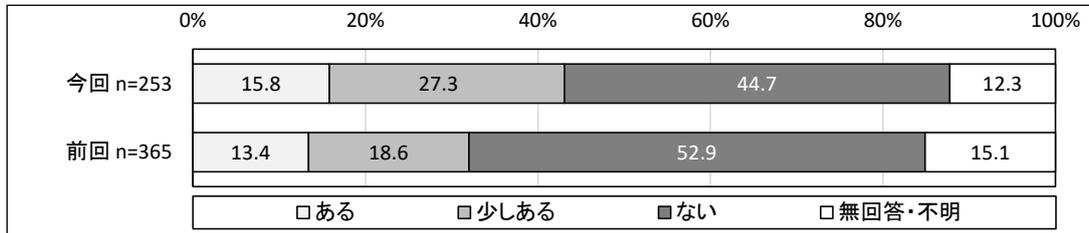
スマートフォンやタブレットの使い方教室の意向については、「スマートフォンを安全に使うための方法(安心安全)」が20.2%と最も多く、その他の回答は10%程度で続く。

10 権利擁護について

(1) 障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験

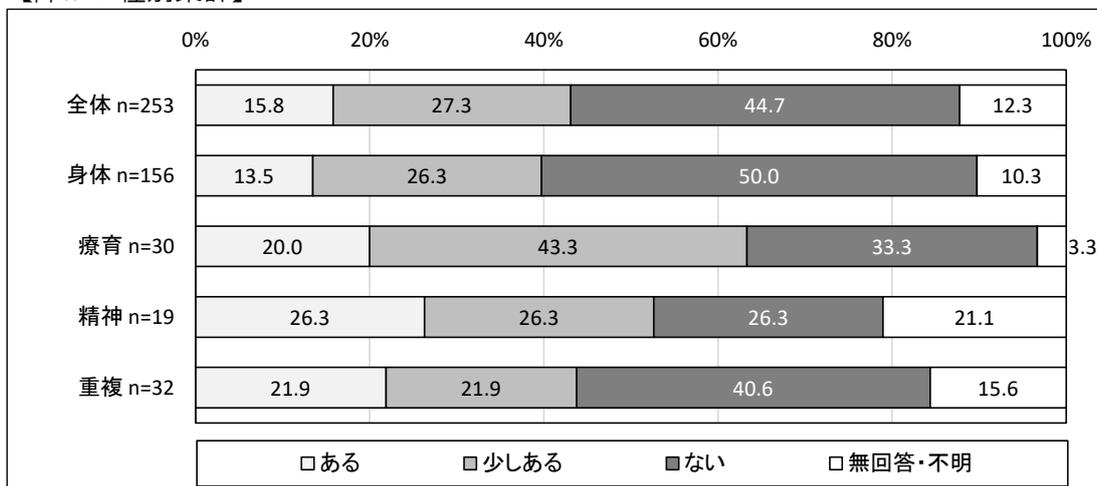
問42 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（☑は1つ）

【全体集計】



障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験については、「ない」が44.7%と最も多く、「少しある」の27.3%、「ある」の15.8%と続く。前回と比較し「ある」が若干増加、「少しある」が大きく増加している。

【障がい種別集計】



障がい種別にみると、「ある」は「精神」の26.3%が最も多い。また、「少しある」は「療育」の43.3%が最も多い。

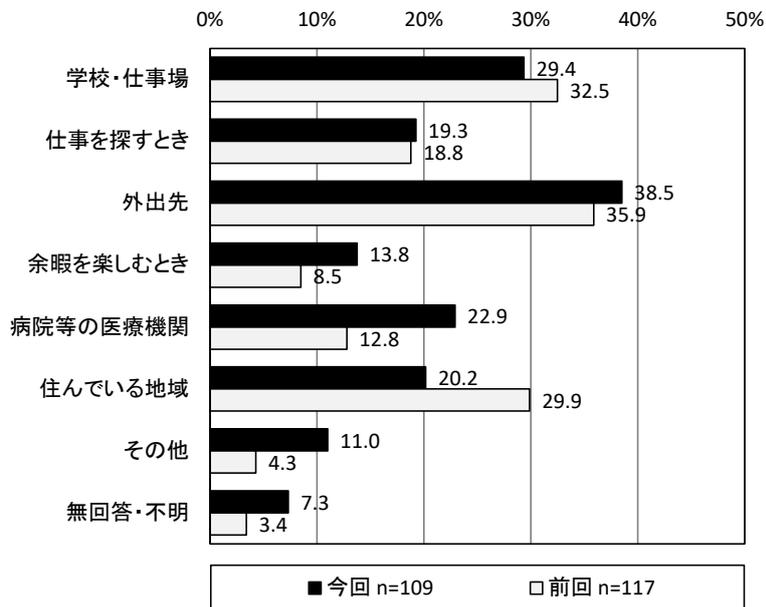
Ⅱ 調査結果

(2) 差別や嫌な思いをした場所

【問42で、「1～2」のいずれかを答えた人にお聞きします。】

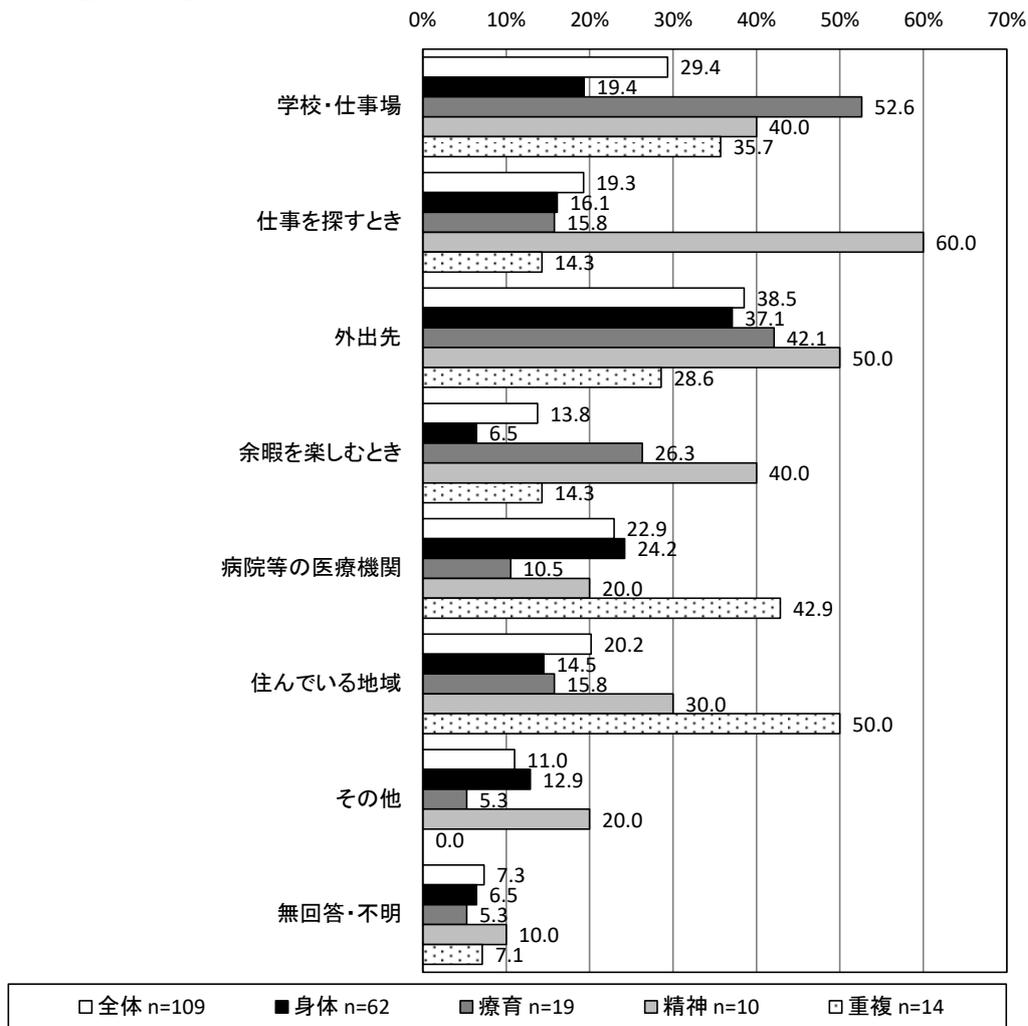
問43 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



差別や嫌な思いをした場所については、「外出先」が38.5%と最も多く、「学校・仕事場」の29.4%、「病院等の医療機関」の22.9%と続く。前回と比較し「病院等の医療機関」が大幅に増加している。

【障がい種別集計】



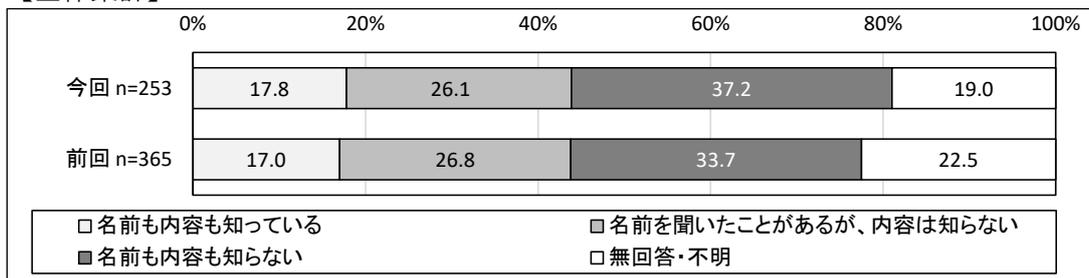
障がい種別にみると、「身体」は「病院等の医療機関」、「療育」は「学校・仕事場」「外出先」「余暇を楽しむとき」、「精神」は「学校・仕事場」「仕事を探すとき」「外出先」「余暇を楽しむとき」「住んでいる地域」が多い。

II 調査結果

(3) 成年後見制度の認知

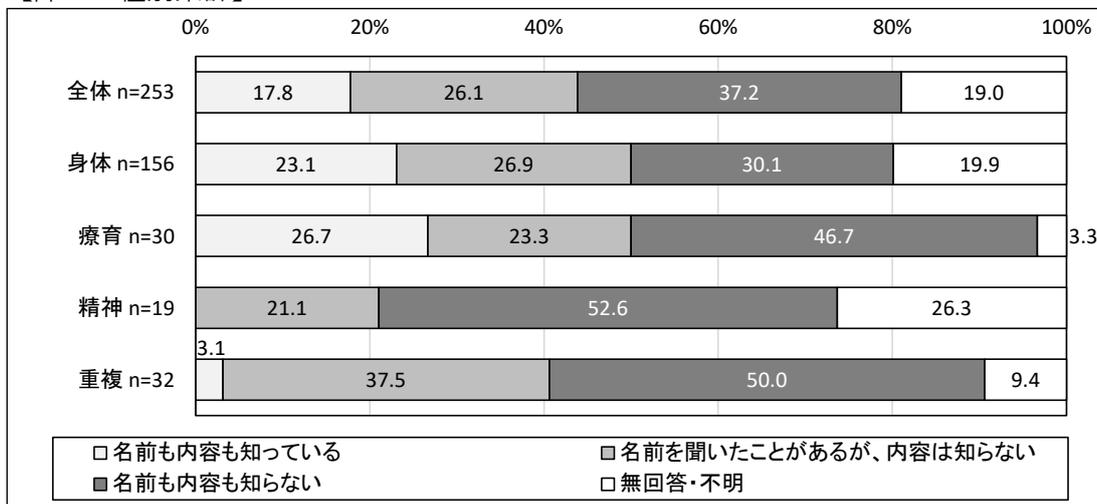
問44 成年後見制度についてご存じですか。(☑は1つ)

【全体集計】



成年後見制度の認知については、「名前も内容も知らない」が37.2%と最も多く、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」の26.1%が続く。前回と比較し「名前も内容も知らない」が若干増加している。

【障がい種別集計】



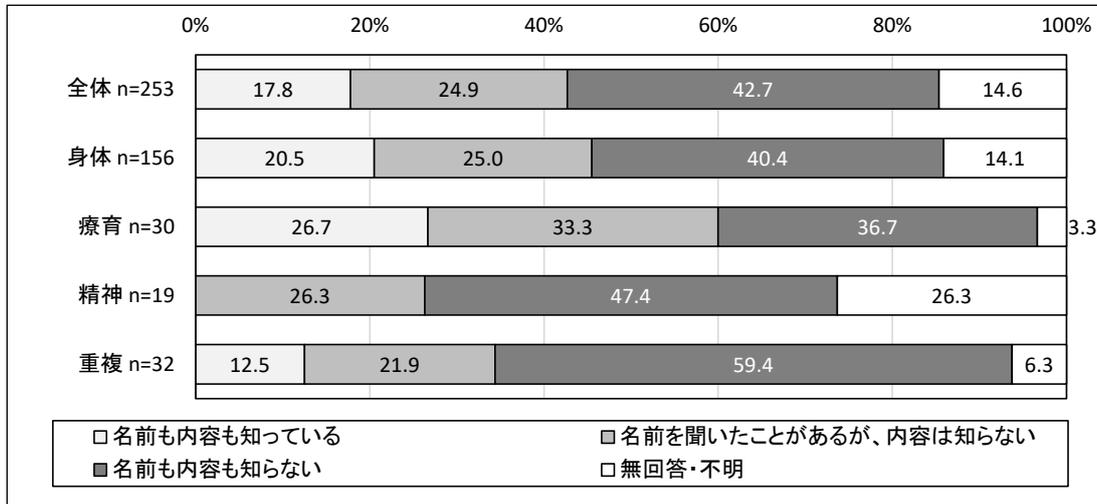
障がい種別にみると、「名前も内容も知らない」が最も多いのは「精神」の52.6%で、「療育」の46.7%が続く。また、「名前も内容も知っている」が最も多いのは「療育」の26.7%になっている。

(4) ヘルプマークやヘルプカードの認知

問45 ヘルプマークやヘルプカードについてご存知ですか。(☑は1つ)

※ヘルプマークとは、外見からはわからなくても、配慮や支援を必要としている人々が、周囲の人に知らせるためにつくられたマークで、ヘルプカードは必要な支援を事前に書き込んでおく用紙です。常時携帯することで支援につなげる手段です。

【全体、障がい種別集計】



ヘルプマークやヘルプカードの認知については、全体で「名前も内容も知らない」が42.7%と最も多く、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」の24.9%が続く。

障がい種別にみると、「名前も内容も知らない」が最も多いのは「精神」の47.4%で、「名前も内容も知っている」が最も多いは「療育」の26.7%になっている。また、「精神」の「名前も内容も知っている」は0.0%になっている。

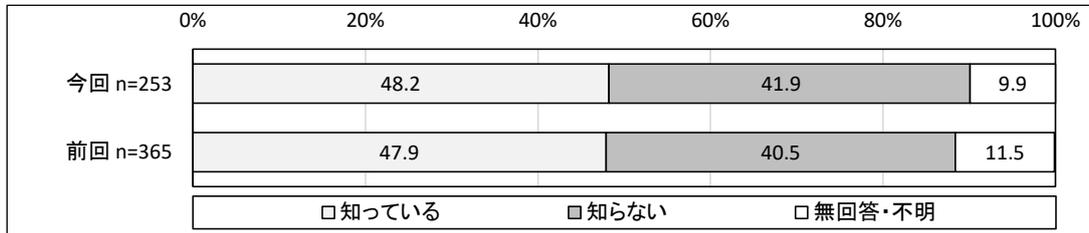
II 調査結果

1.1 災害時の避難等について

(1) 災害時の避難所・避難場所の認知

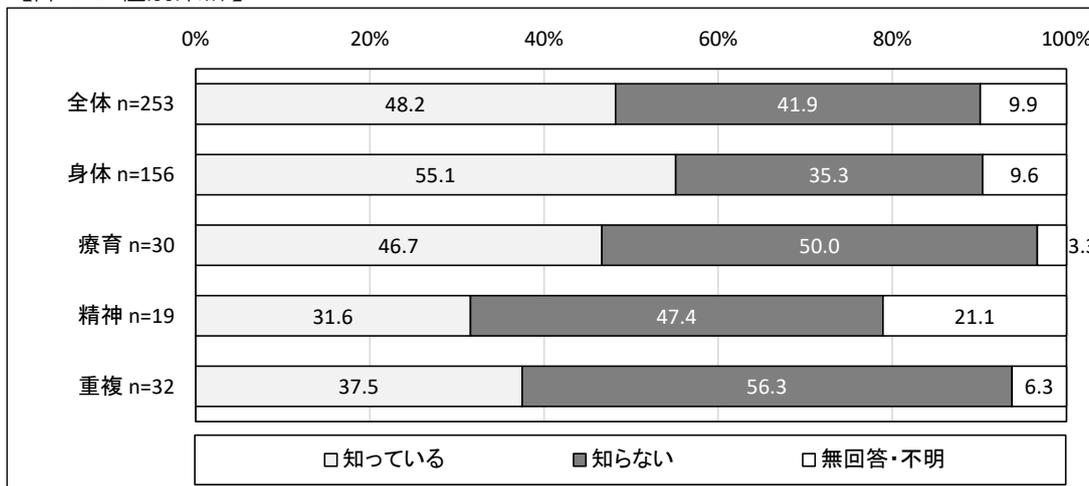
問46 あなたは、災害時の避難所・避難場所を知っていますか。(☑は1つ)

【全体集計】



災害時の避難所・避難場所の認知については、「知っている」が48.2%、「知らない」が41.9%で、「知っている」が若干多い。前回と比較しほとんど変化はない。

【障がい種別集計】

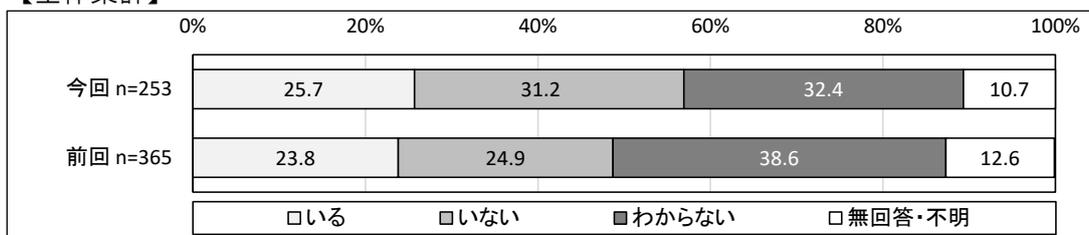


障がい種別にみると、「知っている」が最も多いは「身体」の55.1%で、「療育」は46.7%、「精神」は31.6%となっている。

(2) 災害時、家族が不在・一人暮らしの場合に助けてくれる近所の人の有無

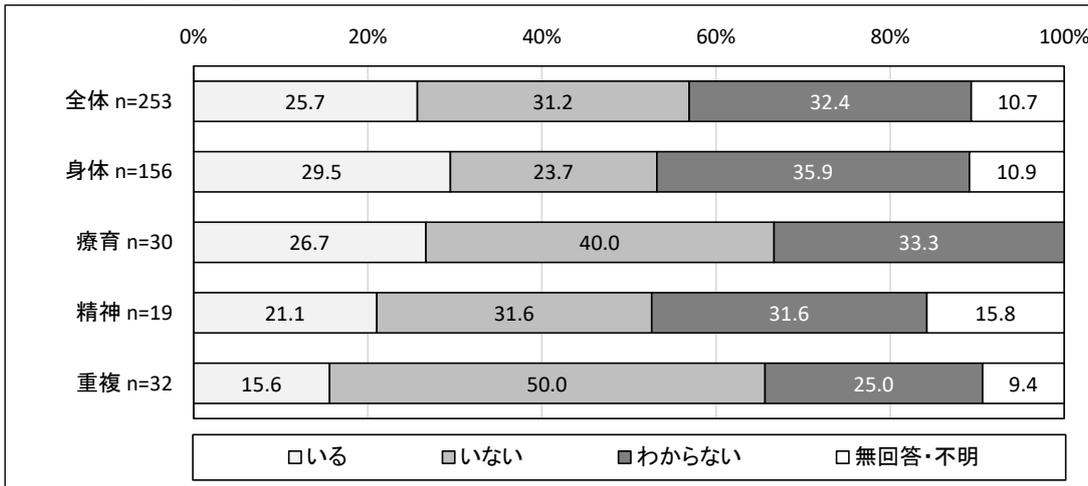
問47 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(☑は1つ)

【全体集計】



災害時、家族が不在・一人暮らしの場合に助けてくれる近所の人については、「わからない」が32.4%と最も多く、「いない」の31.2%、「いる」の25.7%と続く。前回と比較し「いない」が増加している。

【障がい種別集計】

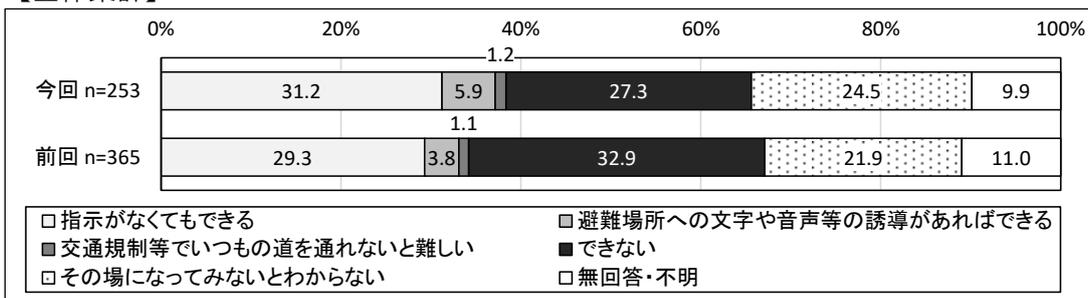


障がい種別にみると、「いる」が最も多いのは「身体」の29.5%で、「いない」が最も多いのは「療育」の40.0%である。

(3) 災害時に一人で避難できるか

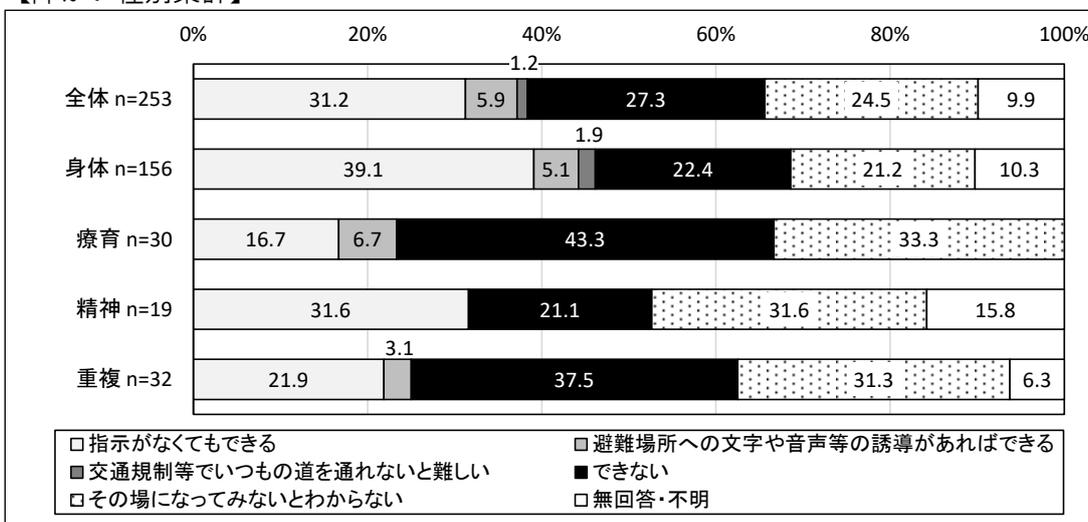
問48 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(☑は1つ)

【全体集計】



災害時に一人で避難できるかについては、「指示がなくてもできる」が31.2%と最も多く、「できない」の27.3%、「その場になってみないとわからない」の24.5%と続く。前回と比較し「指示がなくてもできる」「避難場所への文字や音声等の誘導があればできる」「その場になってみないとわからない」が若干増加している。

【障がい種別集計】



障がい種別にみると、「指示がなくてもできる」が最も多いのは「身体」の39.1%で、「できない」が最も多いは「療育」の43.3%である。

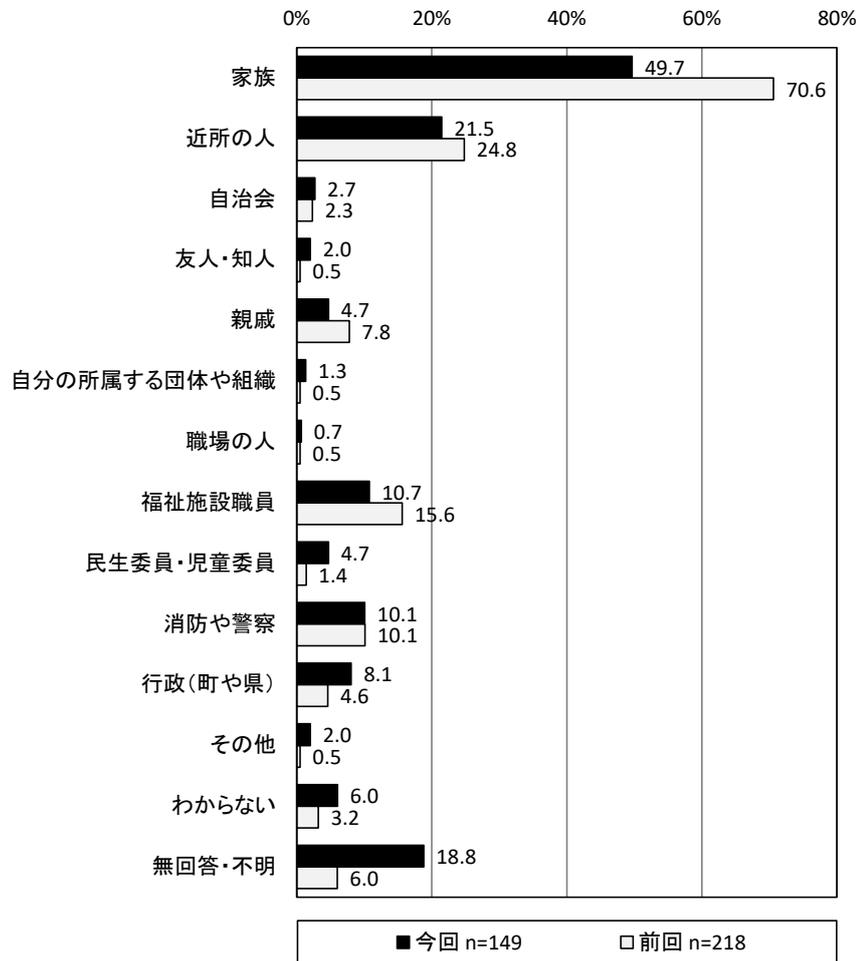
II 調査結果

(4) 災害時に誰の手助けが必要であると思うか

【問48で「2～5」のいずれかを答えた人にお聞きします。】

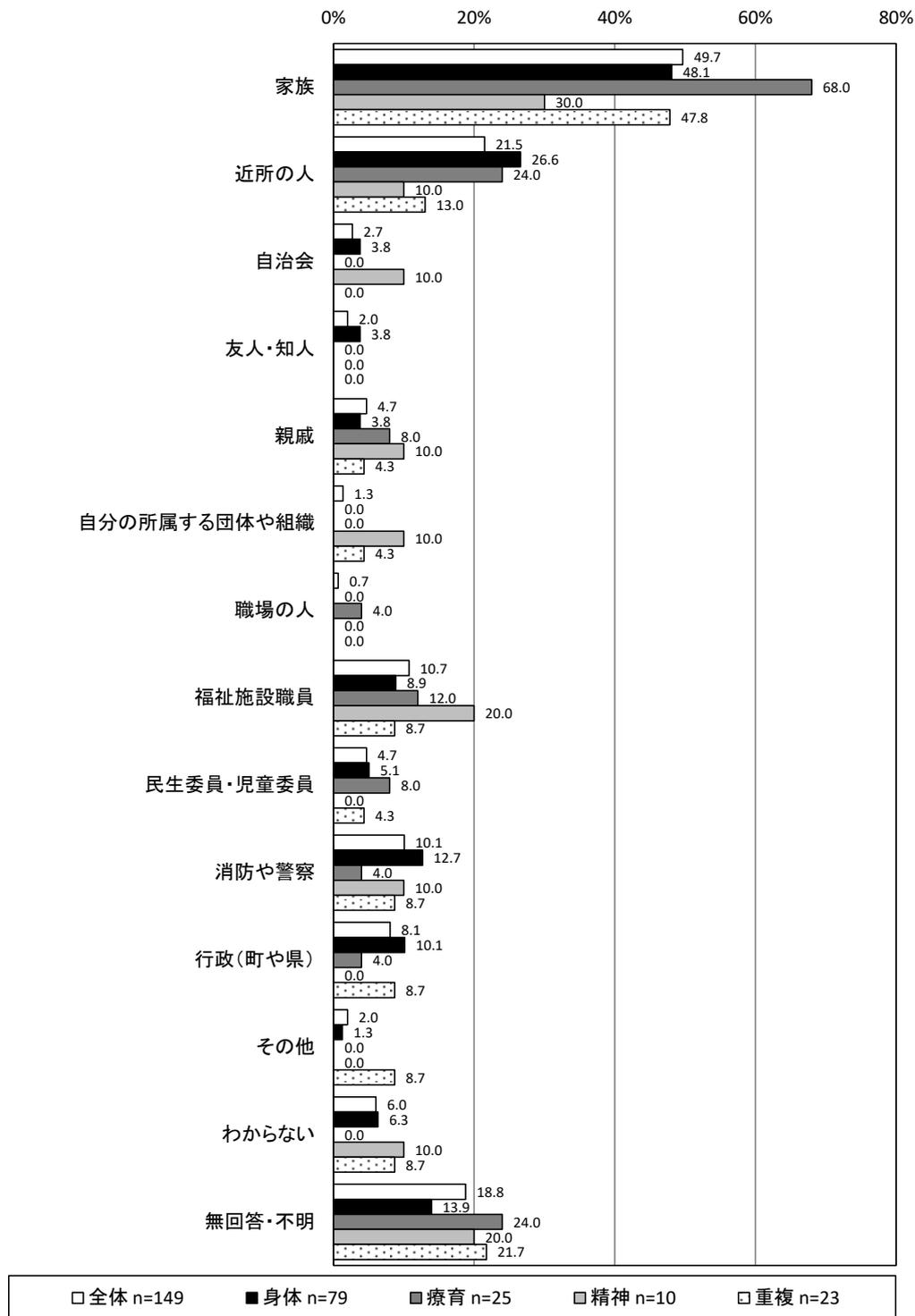
問49 あなたは、災害時に誰の手助けが必要であると思いますか。(☑は2つまで)

【全体集計】



災害時に誰の手助けが必要であると思うかについては、「家族」が49.7%と最も多く、「近所の人」の21.5%、「福祉施設職員」の10.7%、「消防や警察」の10.1%と続く。前回と比較し「家族」が大幅に減少している。

【障がい種別集計】



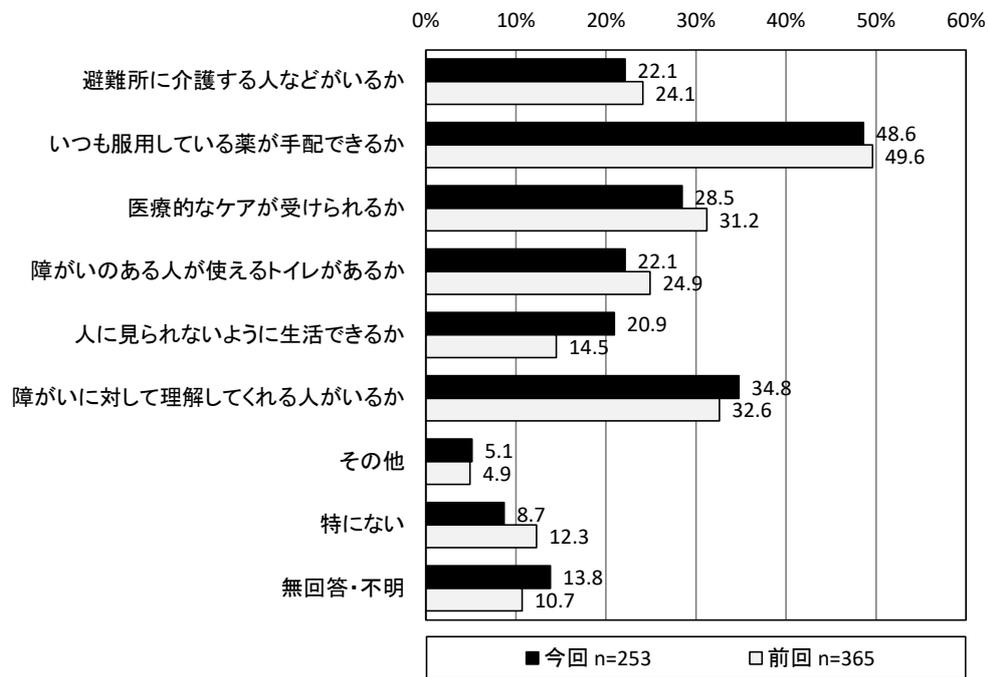
障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「近所の人」、「療育」は「家族」、「精神」は「自治会」「自分の所属する団体や組織」「福祉施設職員」が多い。

II 調査結果

(5) 避難生活で心配なこと

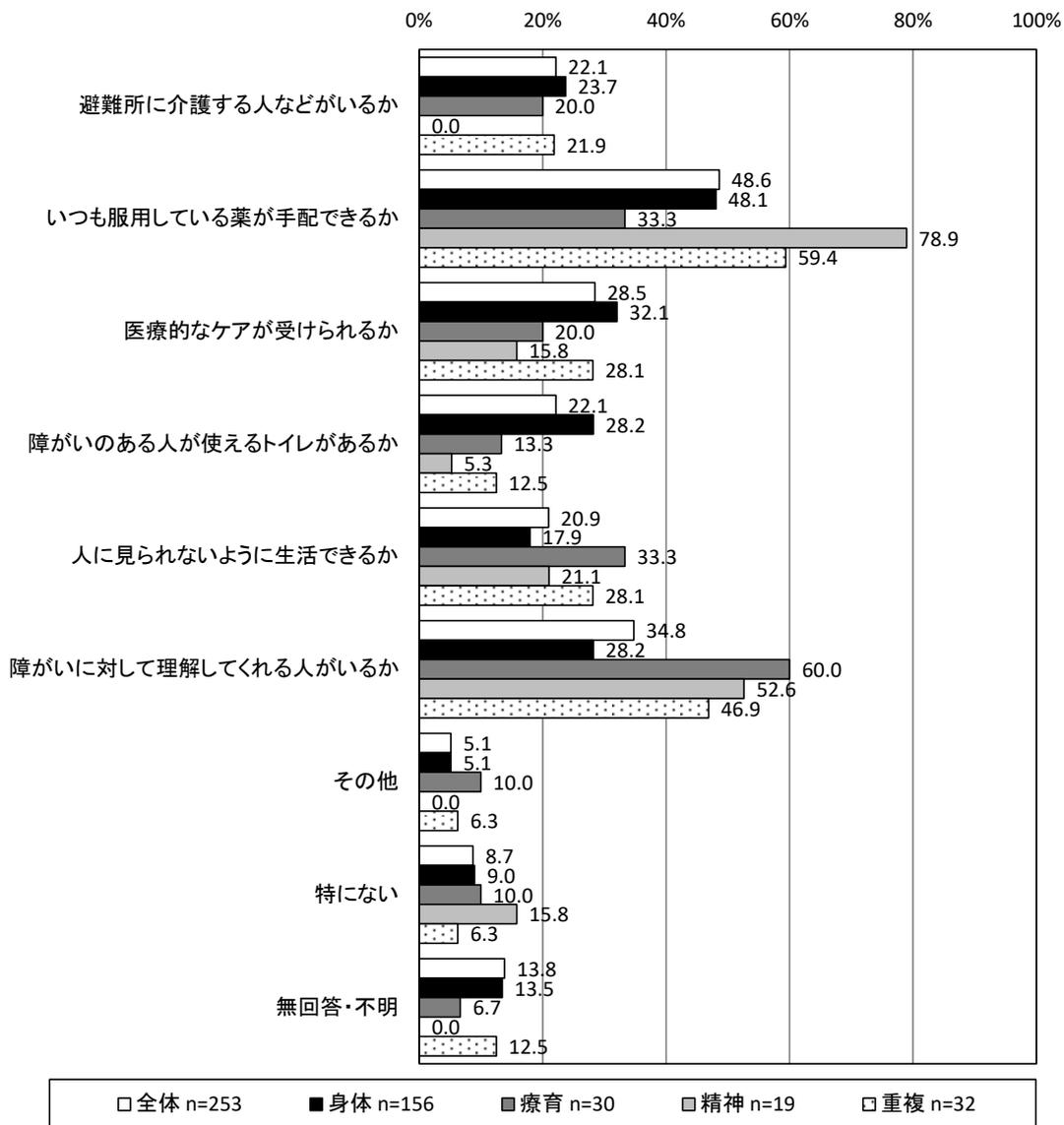
問50 避難所で生活する必要が起きた場合に、あなたにとって心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

【全体集計】



避難生活で心配なことについては、「いつも服用している薬が手配できるか」が48.6%と最も多く、「障がいに対して理解してくれる人がいるか」の34.8%、「医療的なケアが受けられるか」の28.5%と続く。前回と比較し「人に見られないように生活できるか」が増加している。

【障がい種別集計】



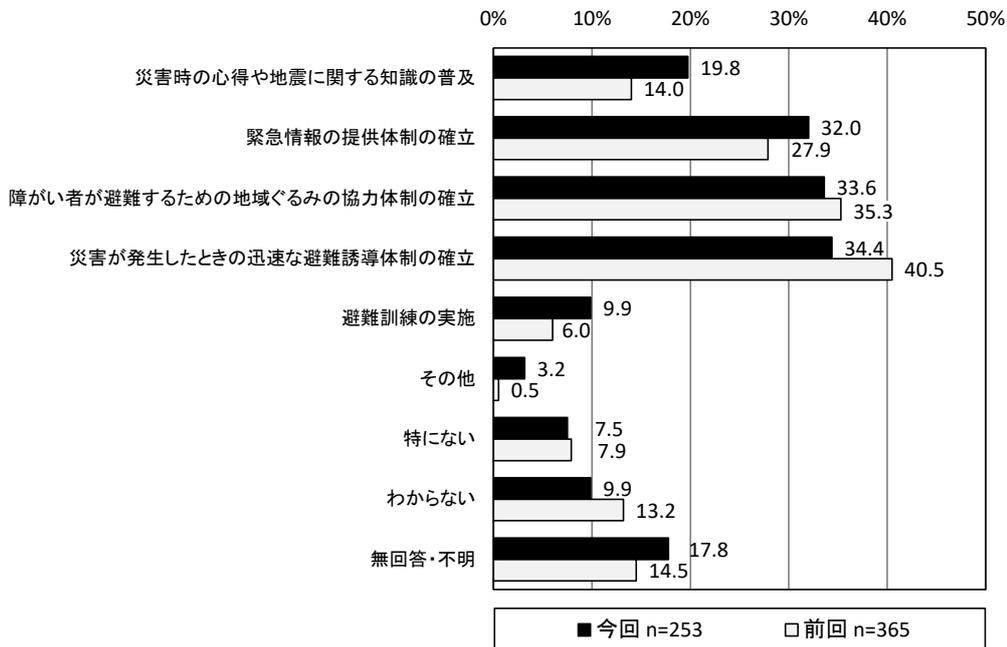
障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「医療的なケアが受けられるか」「障がいのある人が使えるトイレがあるか」、「療育」は「人に見られないように生活できるか」「障がいに対して理解してくれる人がいるか」、「精神」は「いつも服用している薬が手配できるか」が多い。

II 調査結果

(6) 災害に備えて力を入れてほしいと思うこと

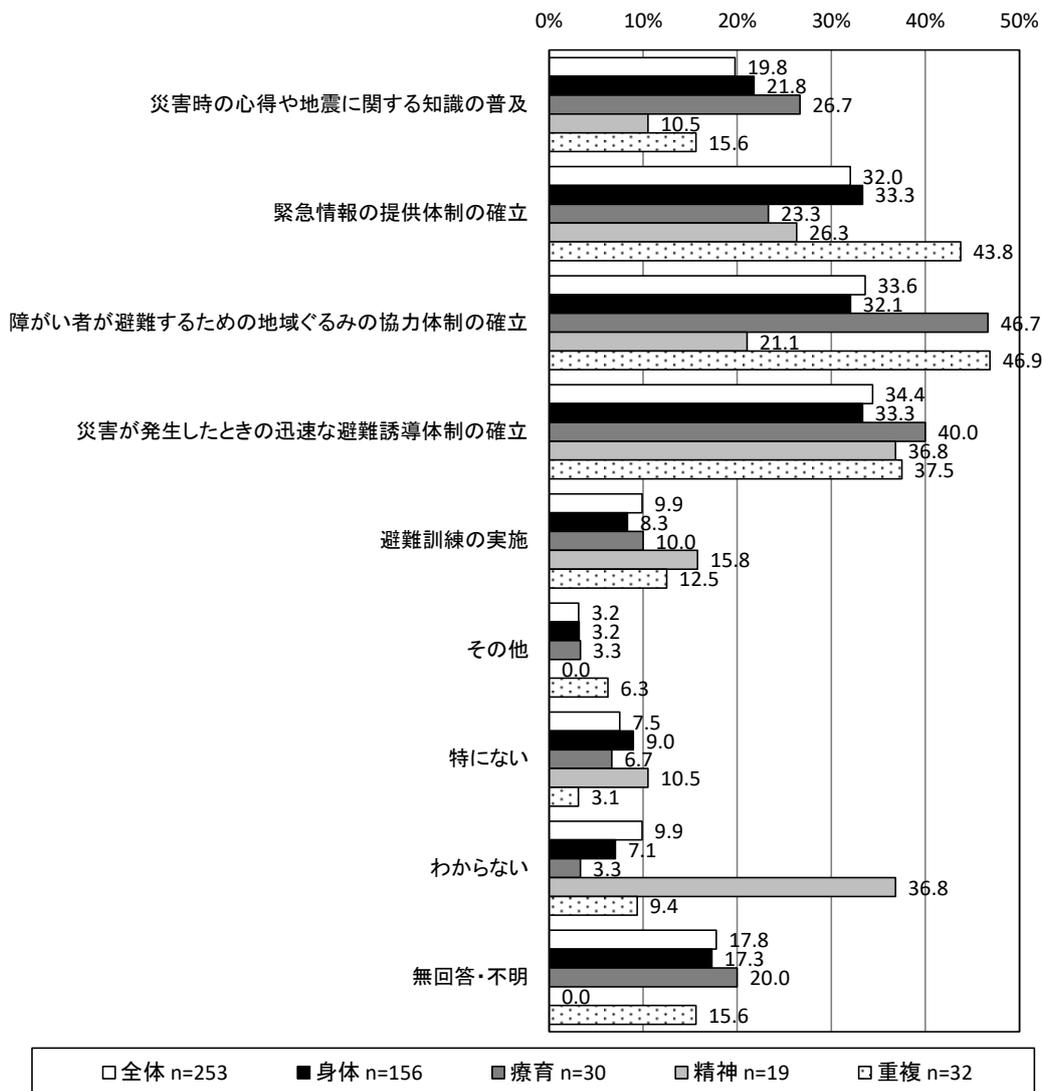
問51 あなたは、災害に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(☑は3つまで)

【全体集計】



災害に備えて力を入れてほしいと思うことについては、「災害が発生したときの迅速な避難誘導體制の確立」が34.4%と最も多く、「障がい者が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立」の33.6%、「緊急情報の提供体制の確立」の32.0%と続く。前回と比較し「災害時の心得や地震に関する知識の普及」「緊急情報の提供体制の確立」「避難訓練の実施」が多くなっている。

【障がい種別集計】



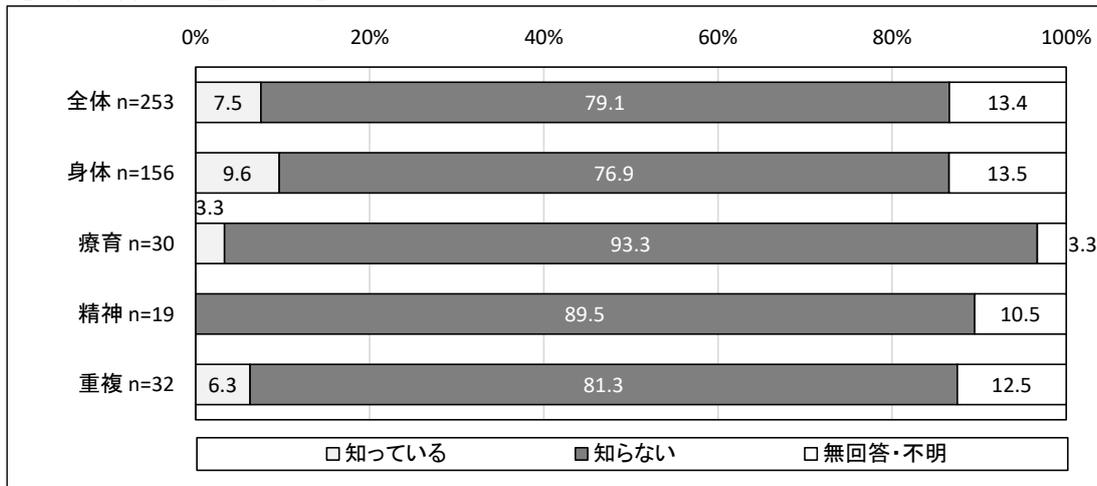
障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「緊急情報の提供体制の確立」、「療育」は「障がい者が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立」「災害が発生したときの迅速な避難誘導體制の確立」が多い。また「精神」は「わからない」が際立って多い。

II 調査結果

(7) 個別避難計画の認知

問52 あなたは災害時に自力で避難することが困難な人（避難行動要支援者）ごとに作成する個別避難計画（災害時の地域での助け合いや安否確認避難誘導等に活用）を知っていますか。（☑は1つ）

【全体、障がい種別集計】

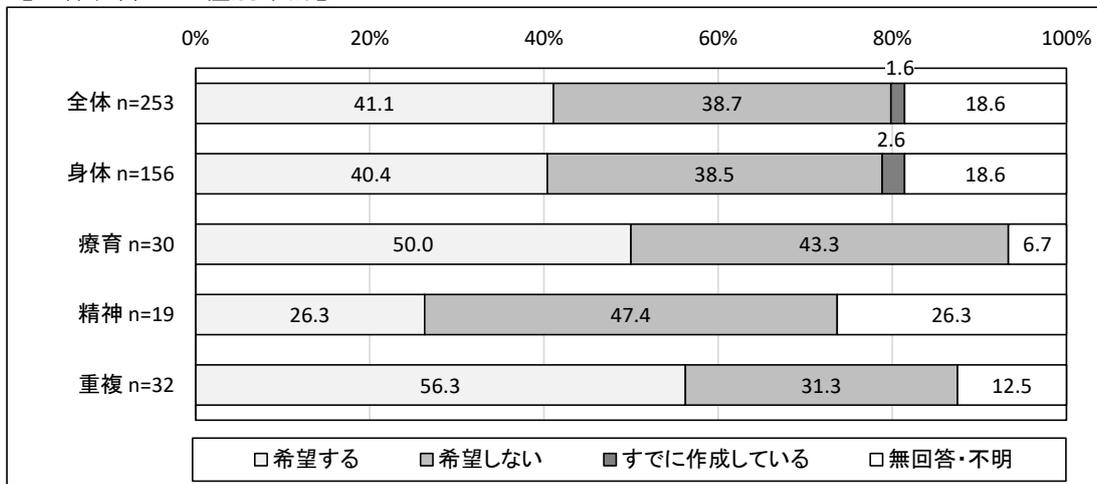


個別避難計画の認知については、全体で「知らない」が79.1%を占め、「知っている」は7.5%と僅かである。障がい種別にみると、「知っている」は「身体」が9.6%と多く、「精神」は0.0%となっている。

(8) 個別避難計画の作成希望

問53 個別避難計画の作成を希望しますか。（☑は1つ）

【全体、障がい種別集計】



個別避難計画の作成希望については、全体で「希望する」が41.1%、「希望しない」が38.7%となっている。障がい種別にみると、「希望する」は「療育」の50.0%が最も多く、「精神」は26.3%と最も少なくなっている。

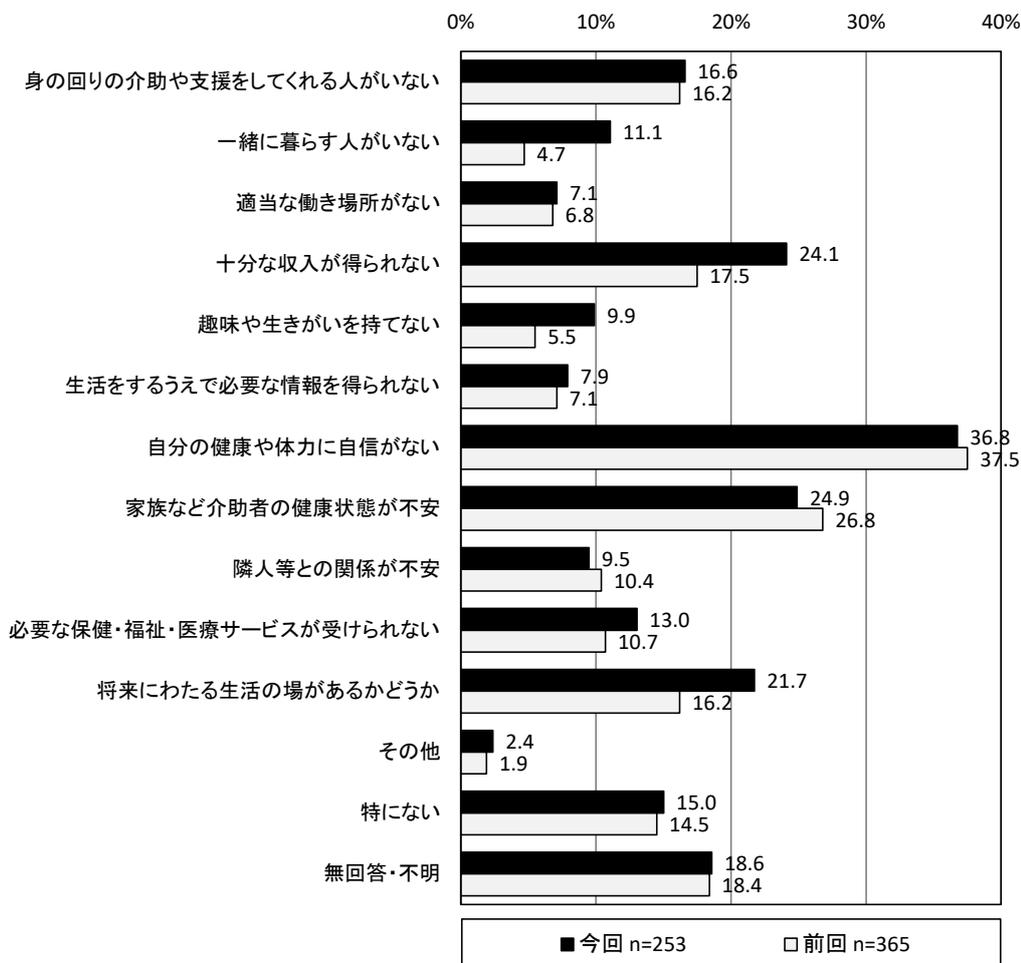
1.2 悩みについて

(1) 生活するうえでの困りごとや心配ごと

※現在、あなた（宛名のご本人）が入院中・入所中の場合は、将来、地域で生活する際を想定しお答えください。

問54 生活するうえで、次のような困りごとや心配ごとはありますか。（あてはまるものすべてに☑）

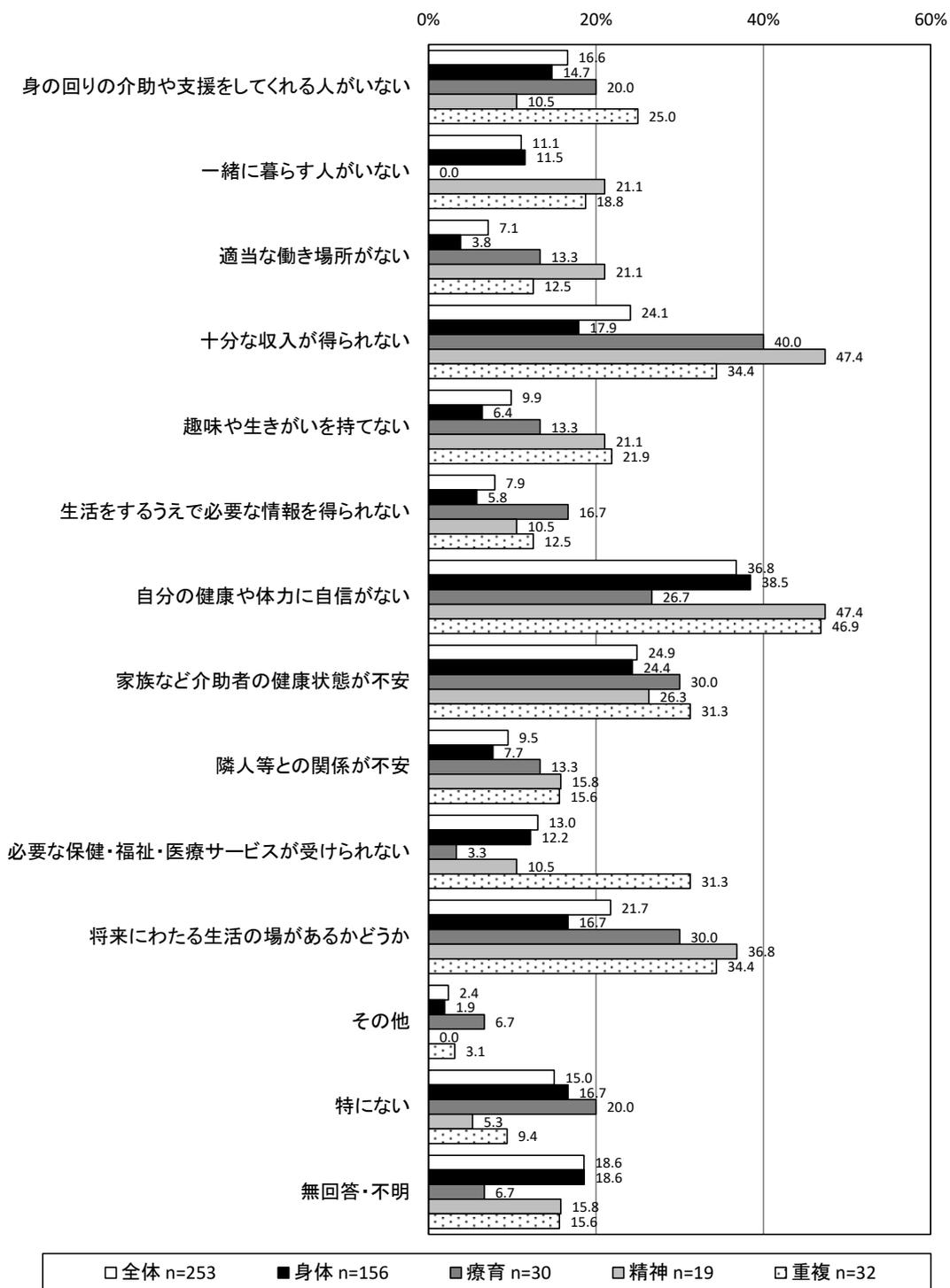
【全体集計】



生活するうえでの困りごとや心配ごとについては、「自分の健康や体力に自信がない」が36.8%と最も多く、「家族など介助者の健康状態が不安」の24.9%、「十分な収入が得られない」の24.1%、「将来にわたる生活の場があるかどうか」の21.7%と続く。前回と比較し「十分な収入が得られない」「趣味や生きがいを持ってない」「将来にわたる生活の場があるかどうか」が増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】

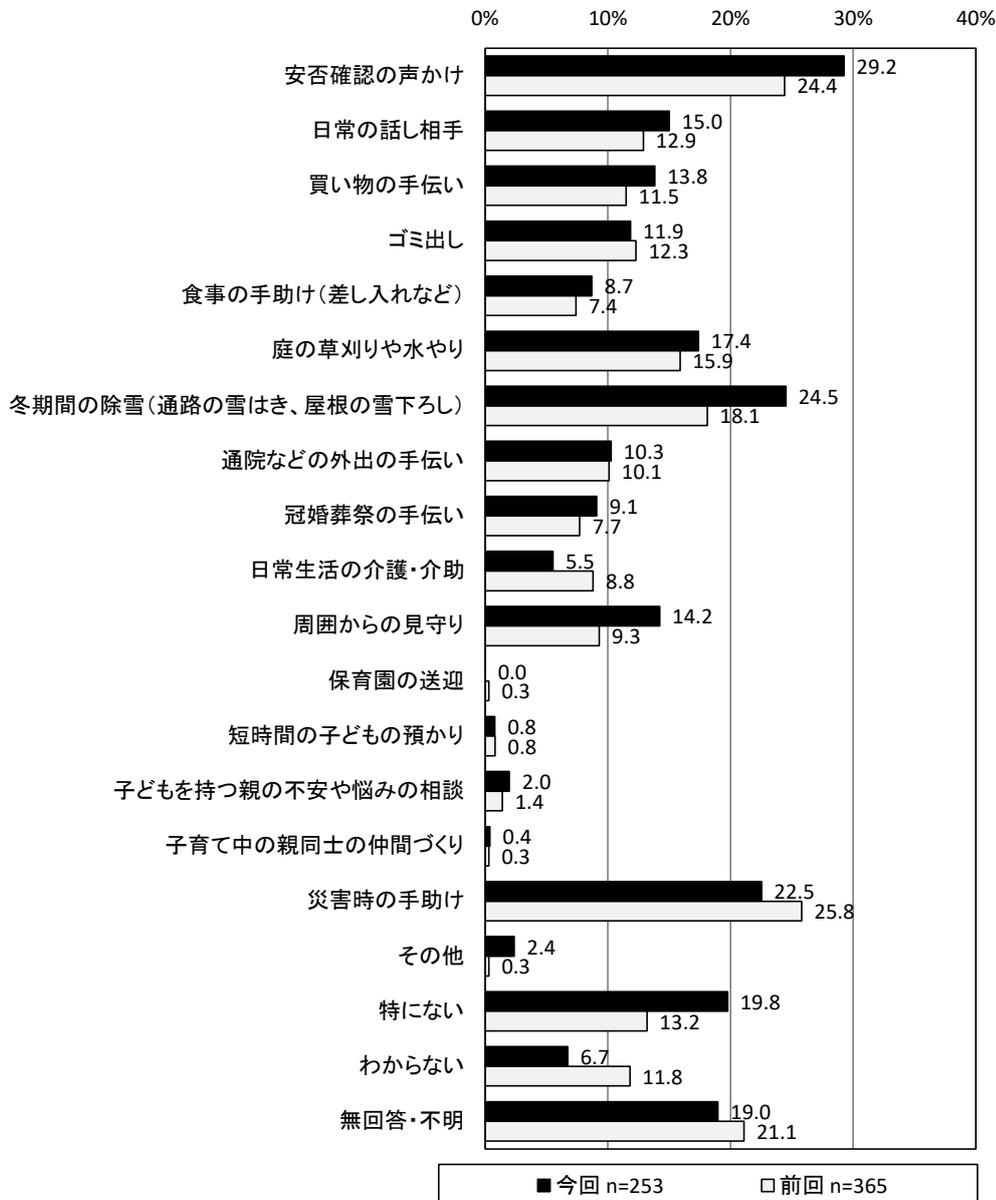


障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「自分の健康や体力に自信がない」、「療育」は「十分な収入が得られない」「家族など介助者の健康状態が不安」「将来にわたる生活の場があるかどうか」、「精神」は「十分な収入が得られない」「自分の健康や体力に自信がない」「将来にわたる生活の場があるかどうか」が多い。

(2) 隣近所の人に手助けしてほしいと思う困りごと

問55 あなたやご家族が困っていることで、隣近所の人に「手助けしてほしい」と思うことは、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに☑)

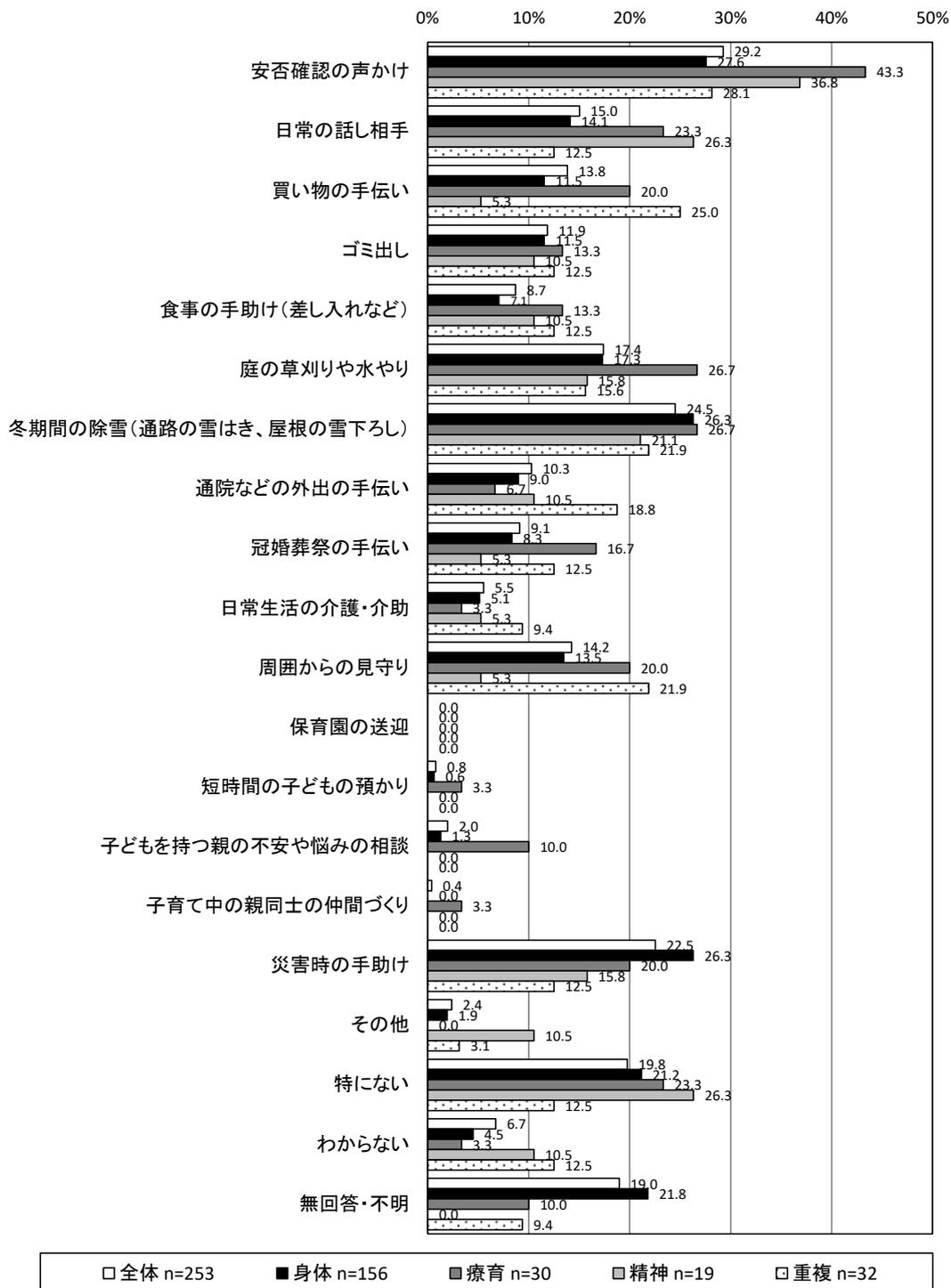
【全体集計】



隣近所の人に手助けしてほしいと思う困りごとについては、「安否確認の声かけ」が29.2%と最も多く、「冬期間の除雪(通路の雪はき、屋根の雪下ろし)」の24.5%、「災害時の手助け」の22.5%と続く。前回と比較し「安否確認の声かけ」「冬期間の除雪(通路の雪はき、屋根の雪下ろし)」「周囲からの見守り」が増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】



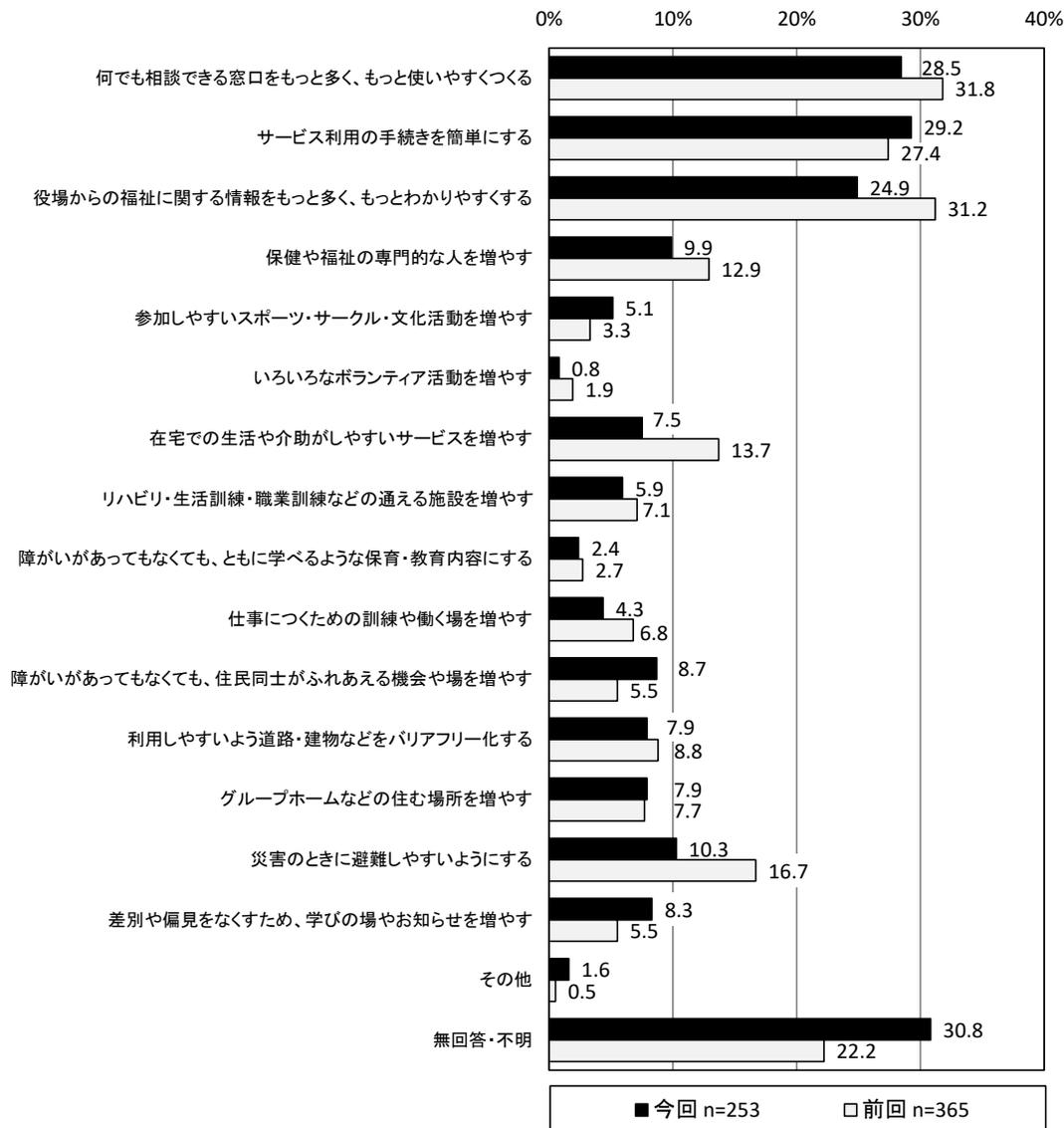
障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「災害時の手助け」、「療育」は「安否確認の声かけ」「日常の話し相手」「買い物の手伝い」「庭の草刈りや水やり」、「精神」は「安否確認の声かけ」「日常の話し相手」が多い。

1.3 障がい福祉に望むこと

(1) 自分が住みなれたまちでよりよく暮らすために必要だと考えること

問56 「あなた」が住みなれたまちで、よりよく暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。
(図は3つまで)

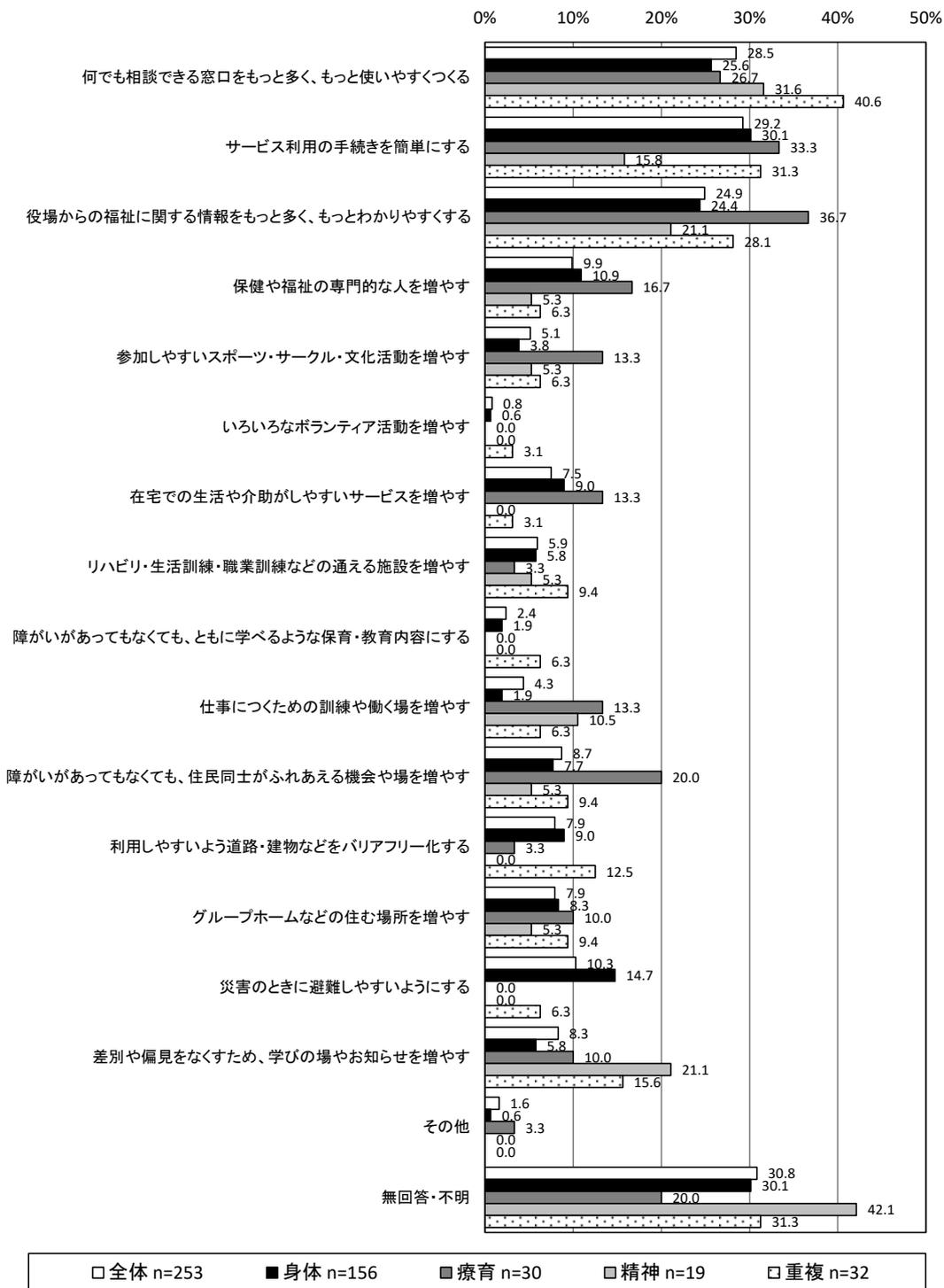
【全体集計】



自分が住みなれたまちでよりよく暮らすために必要だと考えることについては、「サービス利用の手続きを簡単にする」が29.2%と最も多く、「何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくつくる」の28.5%、「役場からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする」の24.9%と続く。前回と比較し「障害があってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす」「差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす」が増加している。

II 調査結果

【障がい種別集計】



障がい種別ごとに他の種別と比較すると、「身体」は「災害のときに避難しやすいようにする」、「療育」は「役場からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする」「保健や福祉の専門的な人を増やす」「参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす」「在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす」「仕事につくための訓練や働く場を増やす」「障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす」、「精神」は「何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくつくる」「差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす」が多い。また、「精神」は「無回答・不明」も多い。

1.4 自由意見

障がい福祉サービスや行政の取組について、具体的な意見を求めたところ、以下のような回答があった。「①障がい福祉サービス全般について」「②交通サービス、マナー」が8件と最も多く、「③行政制度、手続き、対応」が5件、「④情報提供、通信機器」が4件と続いている。

① 障がい福祉サービス全般について（8件）

- より良い福祉サービスをしていただけるように、利用者に寄り添い、満足出来るような専門医の配置が不可欠と考えます。また、社会資源（一般の人）の積極的な活用も行って欲しい。（男性/70歳代）
- 精神障がい者と身体障がい者、両方同時に利用できる施設がないので、これから必要だと思う。（女性/90歳代）
- 要介護の人達には、サービスの利用が多いと思うが、要支援の人にも、その人に合ったサービス利用ができるようにしてほしい。要介護のケアマネさんは本人とよく面談をしているが、要支援の人はあまり面談もなく訪問も少ないと思う。認定の時もよくその人の体のことを知ってほしい。私は病気の後遺症で、左足のつま先が曲がっているため、歩きにくくなっています（痙縮）。でも見た目は正常に歩行するために見過ごされていると思います。足が歩きにくいために杖をついているのですから、それを杖で歩行ができていますからと軽く見ないでほしいと思います。要介護認定の判断は少し疑っています。（女性/60歳代）
- 身体障がい者（肢体不自由）、医療的ケアの人をあずけられる施設をつくってほしい。（男性/20歳代）
- 家庭のごみ出しの件。福島市では行政が安否確認と平行して、家の前に出してあるごみ袋を集めています。川俣でも高齢者、障がい者の声を聞いて必要とあらば、集めてもらいたい。（男性/70歳代）
- 一人なので、草刈りも大変なのでなんとかしてほしい。（男性/60歳代）
- 買い物に行くのが大変なので買い物のサービスなど。（女性/50歳代）
- 聴覚障がいのための補聴器の補助金、上げて頂きたい。（男性/70歳代）

② 交通サービス、マナー（8件）

- 最近ではだいぶ少なくなっているが、障がい者用の駐車スペースに一般の車がいる事があるので注意して見てほしい（特に車が多く集まる所）。（男性/80歳代）
- 介護タクシーを使うのでタクシー券を増やしてほしい。（女性/50歳代）
- 二人で生活しているが、運転免許証がなくなったら困ることが多くなると思います。現在妻と生活しているので、あまり深く考えた事がないが。（男性/80歳代）
- タクシー代のサービス、バス代のサービス。（男性/70歳代）
- 医療リハビリに週1回通院しています。タクシー代が大変です。補助があるととても助かります。（男性/50歳代）
- 精神障がい者を日本中、または福島県の交通機関を無料にしてください。マイナンバーカードをかざただけで乗り降りできればありがたいです。医者がOKした者のみで良いのでお願いします。引きこもりを外出させたいのです。（男性/50歳代）
- 高校生への支援（障害があってもなくても）が不十分に感じます。福島、伊達までのバスや、その交通費等、通学の便を良くしてほしいです。（女性/10歳代）
- 川俣町内でタクシーを使う場合、障がい者の人と一緒に同行する介護人の運賃を割引いてほしい。（男性/70歳代）

③ 行政制度、手続き、対応（5件）

- 福島県で療育申請した時、随分と金と手間がかかりましたが、3.11の時に千葉県に避難した際に、市役所ではIQ50未満なら無条件で手間も金も必要ないとの事でした。県によって違いがあるのでは。（男性/30歳代）

II 調査結果

- ・ サービス利用を簡単にする事。(男性/70歳代)
- ・ 税金の免除、賃貸の援助 働いていても一般の人に比べると給料は少ないので大変です。地方税などいろいろな税金を健常者と同じように引かれると、生活費だけで終わってしまう。もう少し税金を低くしてほしい。(女性/50歳代)
- ・ 役場に用事で行くとわからない事や知らない事を、どの職員さんに聞いてもていねいに分かりやすく教えて頂けて、助かっています。これからもよろしくお願い致します。(男性/70歳代)
- ・ まず、役場の障がい担当自体が一人一人の障がいを理解していない。また、障がい者として使えるサービスなども理解していない。電話をしても数日前に話したことを覚えておらず、もう一度説明しなくてはならない。異動時など申し送りはないのかと思う。(男性/10歳代)

④ 情報提供、通信機器 (4件)

- ・ 広報のみでなく個別に情報提供頂けると良いと思います。(男性/60歳代)
- ・ 通信機器(スマホ・タブレット等)のいろいろな使い方を教えてほしい。(男性/80歳代)
- ・ 障がい者福祉計画と今後の川俣町障がい者福祉施策の今年改定後の決定資料の内容を知りたい。(男性/70歳代)
- ・ 本人はもちろん、それを支える家族の負担も多く、情報を自ら探している状態です。専門家のアドバイスや情報提供があれば、不安がなくなり助かります。自ら探す情報には限界があります。別な角度から助言や情報を頂けたらありがたいです。(男性/20歳代)

⑤ まちづくり (3件)

- ・ 障がい者や高齢者が住みやすい町は誰もが住みやすい町になるはずですが。型にはまらず川俣オリジナルの支援を考えてください。「まずやってみる」の精神がほしい。(女性/10歳代)
- ・ 医者を増やし、町を活性化するように。婚活の場を増やして取り組む。(男性/70歳代)
- ・ 町に1つくらい声の出る信号機を設置してみてもどうか。カフェなどがあると、お年寄りも子どもづれも立ち寄れて、話合いの場ができ、防犯にも役立つのではないかと。(男性/20歳代)

⑥ 施設、事業所の対応 (3件)

- ・ 施設の受け入れ条件規制にしばられすぎる。介護者の状況により柔軟な対応をしてほしいです(日数、介護の内容、接し方等々)。(女性/60歳代)
- ・ 相談しても職員は障がいの話を聞く耳なし。職員はバカなのでお詫びなし。(男性/50歳代)
- ・ 川俣の障がい者の事業所に魅力がない。通わせたいという気持ちにならない。うわさでしか聞かないが、ある事業所では大声で叱責したり、先生同士のいじめなど、良い話を聞かない。それでは他市に頼るしかなく、どんどん町のサービスも望めなくなる。他と合併しないなら、川俣独自の障がい福祉サービスを打ち出し、「高齢者にも障がい者にも優しい町づくり」を試してみてもと思う。(男性/10歳代)

⑦ 日常生活、近所づきあい (2件)

- ・ 河川そうじ、雪かき等が出来なくて困っている(特にとり組の人達に迷惑をかけている)。また組の区長がまわってきたら難しいと思っている。(男性/70歳代)
- ・ 障がい者にいろいろと考えてもらえてありがたいです。出来るかぎり地域の人と交流したいと思います。(女性/70歳代)

⑧ 差別・偏見 (1件)

- ・ 私は統合失調症で薬を飲んでます。医師にかかる場合、お薬手帳をみせてほしいといわれ見せると精神病の薬を飲んでいることがすぐわかります。そうすると今まで接してくれた態度がガラリと変わり、こばかにしたような目つきでみられ、とてもいやな思いをしたことが何度もあります。とにかく一般の人と同じように親身になって私を(内科でも外科でもその他の科の先生は私のかかった科の先生方は)分け隔てなくみて

ほしいです。(男性/70歳代)

⑨ 障がい者、高齢社会への理解について (1件)

- 11月16日で76才。皆さんから見て若いという人がほとんどですが、肉体的な事もあり、にぶくなってきているし、右目の白内障も進み片ちんばになってきていると同時に、入歯がどうしても合わない部分があり、不自由さが進んでいる。団塊の人たち(私達)の重病者、死亡者が毎年いるわけで、弱っている高齢者は、案外目立たないのが現実。少しずつ現状に対しての考え方が変化している様に思っている。(男性/70歳代)

⑩ 就労について (1件)

- 70歳を過ぎてから体力が急に落ちてきたが、自分でできる事は自分でするように考えて頑張っているが、なかなか思うように行動がいかないので、農業経営を縮小する事で身体への負担を軽減することも考えているが、障がい者年金の給付は受けられないので、農業で収入を安定する様がんばることを考える。縮小もできないのかなとも思っている。(男性/70歳代)

⑪ 今回の調査について (2件)

- 本人とパーキンソンの視点は異なります。本人も症状の進行によって視点、希望は変化してきます。いっしょくたにして質問するのは疑問です。(女性/80歳代)
- とても複雑なアンケート回答方法。途中で????でした。(不明/60代)

⑫ その他 (2件)

- 私は東京電力のため生活ができなくなりました。(男性/70歳代)
- 特にありません。いままで通り静かにくらしたいと思っています。本人は文字が書けません。お話しもでき出来ません。小さい幼児の時、医師から20才までしか生きられないと言われた。(男性/50歳代)

Ⅲ 使用した調査票

川俣町の障がい者福祉に関するアンケート

<調査ご協力をお願い>

みなさまには、日頃より福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、みなさまの生活や福祉サービスの利用状況およびご意見をお伺いし、今年改訂を予定している「障がい者福祉計画」等の資料とするほか、今後の川俣町の障がい者福祉施策の参考とさせていただきます。

ご回答いただきました内容は、調査としての結果をまとめ、計画策定の参考にするほかには使用いたしません。また、回答者個人を特定することはありませんので、ありのままの気持ちをお答えください。

よりよい川俣町をつくるため、より多くの方のご意見をいただきたいと考えています。

なお、調査用紙は一定期間川俣町で保管し、期間終了後は廃棄します。

お忙しいところ誠に御手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年7月 川俣町長 藤原 一二

ご記入にあたってのお願い

- この調査票に、お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。
- ご本人にお聞きする質問は、宛名のご本人がお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご本人の意見を聞いてご家族の方等の保護者、介助者が代わって書いていただくか、ご本人の意見を尊重して代わってご回答ください。
- 回答は質問に従って、あてはまる回答に「 (し点)」をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- 質問項目で答えたくないものについては、空欄で結構です。
- ご記入いただいた調査票は、7月28日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)投函してください。
- ご記入にあたり、ご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

<問い合わせ先> 川俣町 保健福祉課 地域福祉係 電話：024-566-2111

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(☑は1つ)

- 1. 「あなた」ご本人 (この調査票が郵送された宛名の方)
- 2. 「あなた」の家族
- 3. 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、「あなた」の状況、お考え等についてお答えください。お答えいただく方が、ご家族、その他の介助者の場合は、「あなた」ご本人の意見を聞いて代わって書いていただくか、「あなた」ご本人の意見を尊重して代わってご回答ください。

あなたの年齢・性別・ご家族等についてお聞きします。

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在)

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(☑は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問4 あなたの住んでいる地区(入院・入所中の方は施設のある地区)を教えてください。(☑は1つ)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 新中町・仁井町地区 | <input type="checkbox"/> 8. 福沢地区 |
| <input type="checkbox"/> 2. 鉄砲町・日和田地区 | <input type="checkbox"/> 9. 福田地区 |
| <input type="checkbox"/> 3. 瓦町・五百田・八反田地区 | <input type="checkbox"/> 10. 小島地区 |
| <input type="checkbox"/> 4. 宮町・赤坂・中丁地区 | <input type="checkbox"/> 11. 飯坂地区 |
| <input type="checkbox"/> 5. 本町地区 | <input type="checkbox"/> 12. 大綱木地区 |
| <input type="checkbox"/> 6. 鶴沢地区 | <input type="checkbox"/> 13. 小綱木地区 |
| <input type="checkbox"/> 7. 小神地区 | <input type="checkbox"/> 14. 山木屋地区 |
| | <input type="checkbox"/> 15. その他 () |

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに☑)

<input type="checkbox"/> 1. 父母・祖父母・兄弟	<input type="checkbox"/> 4. その他()
<input type="checkbox"/> 2. 配偶者(夫または妻)	<input type="checkbox"/> 5. いない(一人で暮らしている)
<input type="checkbox"/> 3. 子ども	

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「5」としてください。

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに☑を1つ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
② トイレ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
③ 入浴	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
④ 衣服の着脱	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑤ 身だしなみ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑥ 家の中の移動	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑦ 外出	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑨ お金の管理	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
⑩ 薬の管理	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3

↓
問9へ

↓
問7へ

【問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」を答えた方にお聞きします。】

問7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに☑)

<input type="checkbox"/> 1. 父母・祖父母・兄弟	<input type="checkbox"/> 4. ホームヘルパーや施設の職員
<input type="checkbox"/> 2. 配偶者(夫または妻)	<input type="checkbox"/> 5. その他の人(ボランティア等)
<input type="checkbox"/> 3. 子ども	

↓
問8へ

↓
問9へ

【問7で「1～3」のいずれかを答えた方にお聞きします。】

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 年齢（令和5年7月1日現在） → 満 歳

② 性別（☑は1つ）

1. 男性 2. 女性

③ 健康状態（☑は1つ）

1. よい 2. ぶつう 3. よくない

あなたの障がいの状況についてお聞きします。

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（☑は1つ）

1. 1級 3. 3級 5. 5級 7. 持っていない
 2. 2級 4. 4級 6. 6級

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。（☑は1つ）

1. 視覚障がい 5. 肢体不自由（上肢）
 2. 聴覚障がい 6. 肢体不自由（下肢）
 3. 盲ろう（視覚障がいと聴覚障がいの重複） 7. 肢体不自由（体幹）
 4. 音声・言語・そしゃく機能障がい 8. 内部障がい（1～7以外）

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。（☑は1つ）

1. A判定 2. B判定 3. 持っていない

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（☑は1つ）

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（☑は1つ）

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやパーキンソン病等の治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

1. 受けている 2. 受けていない

問14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。（☑は1つ）

※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等をいいます。

1. ある 2. ない

問15 あなたは強度行動障がいがあると言われたことはありますか。（☑は1つ）

※強度行動障がいとは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことを言います。障がい福祉サービス等を利用している方で重度障がい者支援加算の対象となっている場合や、外出支援で行動援護を利用している場合、医師や療育機関等から指摘されたことがある場合等は「1」としてください。

1. ある 2. ない

問16 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。（☑は1つ）

※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障がい等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた、注意障がい、社会的行動障がい、失語等の認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくみ合わない」等の症状があります。

1. ある 2. ない

住まいや暮らしについてお聞きします。

問17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(☑は1つ)

- 1. 一人で暮らしている
- 2. 家族と暮らしている
- 3. グループホームで暮らしている
- 4. 福祉施設(障がい者や高齢者の施設)で暮らしている
- 5. 病院に入院している
- 6. その他()

【問18から問19は、問17で「4」か「5」のいずれかを答えた方にお聞きします。】

問18 あなたは将来、地域で生活したいと思いませんか。(☑は1つ)

- 1. 今のまま生活したい
- 2. グループホーム等を利用したい
- 3. 家族と一緒に生活したい
- 4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい
- 5. その他()

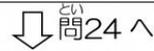
問19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いませんか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 在宅で医療ケア等が適切に得られること
- 2. 障がい者に適した住居の確保
- 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
- 4. 生活訓練等の充実
- 5. 経済的な負担の軽減
- 6. 相談対応等の充実
- 7. 地域住民等の理解
- 8. 情報の取得利用や意思疎通についての支援
- 9. その他()

日中活動や就労についてお聞きします。

問20 あなたは、一週間にどの程度外出しますか。(☑は1つ)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 毎日外出する | <input type="checkbox"/> 4. まったく外出しない |
| <input type="checkbox"/> 2. 一週間に数回外出する | |
| <input type="checkbox"/> 3. めったに外出しない | |



【問21～問23は、問20で「1～3」のいずれかを答えた方にお聞きします。】

問21 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(☑は1つ)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 父母・祖父母・兄弟 | <input type="checkbox"/> 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| <input type="checkbox"/> 2. 配偶者(夫または妻) | <input type="checkbox"/> 5. その他の人(ボランティア等) |
| <input type="checkbox"/> 3. 子ども | <input type="checkbox"/> 6. 一人で外出する |

問22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに☑)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 通勤・通学・通所 | <input type="checkbox"/> 6. 趣味やスポーツをする |
| <input type="checkbox"/> 2. 訓練やリハビリに行く | <input type="checkbox"/> 7. グループ活動に参加する |
| <input type="checkbox"/> 3. 医療機関への受診 | <input type="checkbox"/> 8. 散歩に行く |
| <input type="checkbox"/> 4. 買い物に行く | <input type="checkbox"/> 9. その他() |
| <input type="checkbox"/> 5. 友人・知人に会う | |

問23 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 公共交通機関が少ない(ない) | <input type="checkbox"/> 6. 介助者が確保できない |
| <input type="checkbox"/> 2. バス等の乗り降りが困難 | <input type="checkbox"/> 7. 外出にお金がかかる |
| <input type="checkbox"/> 3. 道路に階段や段差が多い | <input type="checkbox"/> 8. 周囲の目が気になる |
| <input type="checkbox"/> 4. 公共交通機関の支払いの方法がわかりにくい | <input type="checkbox"/> 9. 発作等、突然の身体の変化が心配 |
| <input type="checkbox"/> 5. 外出先の建物の設備が不便 | <input type="checkbox"/> 10. 困った時にどうすればいいのか心配 |
| (通路、トイレ、エレベーター等) | <input type="checkbox"/> 11. その他() |

問24 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(☑は1つ)

- 1. 自宅で過ごしている(就園・就学前のため)
- 2. 自宅で過ごしている(仕事に就いていない、病気、高齢などのため)
- 3. 幼稚園、保育所、障がい児通園施設等に通っている
- 4. 支援学校(小中高等部)に通っている
- 5. 一般の高校、小中学校に通っている
- 6. 大学、専門学校、職業訓練校等に通っている
- 7. 会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている
- 8. 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
- 9. 病院等のデイケアに通っている
- 10. リハビリテーションを受けている
- 11. 入所している施設や病院等で過ごしている
- 12. ボランティア等、収入を得ない仕事をしている
- 13. 専業主婦(主夫)をしている
- 14. その他()

就労についてお聞きします。

※本項目は、18歳以上の方にお聞きします。18歳未満の方は問29に進んでください。

【問25は、問24で「7」を答えた方にお聞きします。】

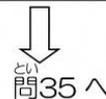
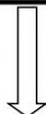
問25 どのような勤務形態で働いていますか。(☑は1つ)

- 1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 2. 正職員で短時間勤務等の障がい者配慮がある
- 3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
- 4. 自営業、農林水産業等
- 5. その他()

【問26は、問24で「2」または「8～14」のいずれかを答えた18～64歳の方にお聞きします】

問26 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(☑は1つ)

<input type="checkbox"/> 1. 仕事をしたい	<input type="checkbox"/> 2. 仕事はしたくない、できない
	<input type="checkbox"/> 3. その他()



【問27及び問28は、問26で「1」を答えた方にお聞きします。】

問27 収入を得る仕事を得るために、職業訓練等を受けたいと思いますか。(☑は1つ)

<input type="checkbox"/> 1. すでに職業訓練を受けている
<input type="checkbox"/> 2. 職業訓練を受けたい
<input type="checkbox"/> 3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問28 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに☑)

<input type="checkbox"/> 1. 通勤手段の確保
<input type="checkbox"/> 2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
<input type="checkbox"/> 3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮
<input type="checkbox"/> 4. 在宅勤務の拡充
<input type="checkbox"/> 5. 職場の障がい者理解
<input type="checkbox"/> 6. 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
<input type="checkbox"/> 7. 職場で介助や援助等が受けられること
<input type="checkbox"/> 8. 就労後のフォロー等職場と支援機関の連携
<input type="checkbox"/> 9. 企業ニーズに合った就労訓練
<input type="checkbox"/> 10. 仕事についての職場外での相談対応、支援
<input type="checkbox"/> 11. その他()

障がいのある児童についてお聞きします。

※本項目は、18歳未満の障がいのある児童の保護者の方へお聞きします。18歳以上の方は問35に進んでください。

問29 お子さんの発達の不安や障がいに気づいたきっかけは何ですか。(☑は1つ)

- 1. 家族が気づいた
- 2. 定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された
- 3. 病院・クリニックで医師から指摘された
- 4. 就学時健康診断の際に指摘された
- 5. 保育園・幼稚園・学校の教師や職員から指摘された
- 6. 知人から指摘された
- 7. その他（ ）

問30 お子さんの発達の不安や障がいに気づいた時のお子さんの年齢はいくつですか。

気づいた時のお子さんの年齢（数字を記入）（ 歳）

問31 お子さんの発達の不安や障がいに気づいた時、誰に（どこに）相談しましたか。主な相談先を教えてください。(☑は1つ)

- 1. 家族・親族
- 2. かかりつけの病院・クリニック
- 3. 町役場・保健センター
- 4. 保健所
- 5. 相談支援事業所（相談員）
- 6. 学校の先生
- 7. 児童相談所
- 8. その他（ ）

問32 お子さんは現在、医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 気管切開
- 2. 人工呼吸器（レスピレーター）
- 3. 吸入
- 4. 吸引
- 5. 胃ろう・腸ろう
- 6. 鼻腔経管栄養
- 7. 中心静脈栄養（IVH）
- 8. 透析
- 9. カテーテル留置
- 10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）
- 11. 服薬管理
- 12. その他（ ）

問33 通園・通学をしているお子さんがいる方にお聞きします。通園・通学で特に困っていることは何ですか。本人、家族として困っていることを含めてお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 通うのが大変である
- 2. 園での活動や学校の授業についていけない
- 3. トイレなどの設備が障がいのある人に配慮されていない
- 4. 学校内・園内での介助が十分でない
- 5. 友だちができない
- 6. 先生の配慮や生徒たちの理解が得られない
- 7. 帰宅後、下校後に仕事などが忙しく、子どもの面倒が十分みられない
- 8. 夏休みなど長期の休み中に仕事などが忙しく、子どもの面倒が十分みられない
- 9. 医療的なケア（吸引・導尿等）が受けられない
- 10. その他（ ）
- 11. 特にない

問34 障がい児福祉全般において、充実させるべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 会話やコミュニケーションに関する支援
- 2. トイレや食事など日常生活に関する支援
- 3. 言葉や読み書きに関する支援
- 4. 宿題、自習への取り組み支援（学習支援）
- 5. 友達など人とのかかわり方に関する支援
- 6. 保護者への支援
- 7. 保育園・認定こども園・学校での受け入れ体制の充実
- 8. 費用に関する補助
- 9. 送り迎えなど通所・通園・通学に関するサービス
- 10. 施設や保育園職員・幼稚園教諭・学校教諭のスキルアップ
- 11. 通園・通学先や進路指導など将来を決めるための相談体制の充実
- 12. 医療的ケアが必要な児童への支援
- 13. その他（ ）
- 14. 特にない

ここからは、ふたたび全員にお聞きします。

障がい福祉サービス等の利用についてお聞きします。

問35 あなたは障がい程度区分（支援区分）の認定を受けていますか。（☑は1つ）

<input type="checkbox"/> 1. 区分1	<input type="checkbox"/> 3. 区分3	<input type="checkbox"/> 5. 区分5	<input type="checkbox"/> 7. 受けていない
<input type="checkbox"/> 2. 区分2	<input type="checkbox"/> 4. 区分4	<input type="checkbox"/> 6. 区分6	

問36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（(1) から (33) のそれぞれについて、「現在利用している」と「今後利用したい」の両方を回答（それぞれ☑は1つ）してください）

	現在利用している (1つのみ)		今後利用したい (1つのみ)	
	1. 利用している	2. 利用していない	1. 利用したい	2. 利用しない
(1) 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事等の介助を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事等の介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護等を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 行動援護 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助等を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	げんざいりよう 現在利用 している (1つのみ)		こんごりよう 今後利用 したい (1つのみ)	
	1. りよう して いる	2. りよう して いない	1. りよう したい	2. りよう しない
<p>(5) じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護等のサービスを包括的に提供するサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(6) せいかつかいご 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供するサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(7) じりつくねれん きのうくねれん せいかつくねれん 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(8) しゅうろういこうしえん 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(9) しゅうろうけいぞくしえん えーがた ひーがた 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(10) しゅうろうていやくしえん 一般就労へ移行した障がい者が働き続けることができるよう、指導・助言、事業所や家族との連絡・調整などを行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(11) りょうようかいご 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護等を提供するサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅲ 使用した調査票

	げんざいりよう 現在利用 している (1つのみ)		こんごりよう 今後利用 したい (1つのみ)	
	1. りよう して いる	2. りよう して いない	1. りよう したい	2. りよう しない
(12) たんきにゆうしょ 短期入所 (ショートステイ) ざいたくしょうしゅかいごかたひょうきばあいなど 在宅の障がい者(児)を介護する方が病気の場 合等に、しょうしゅせつたんきかんにゆうしょにゆうよくはい に、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排 せつ、しょくじかいごとうおこな せつ、食事の介護等を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(13) きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助 (グループホーム) やかんきゆうじつきょうどうせいかつおこなじゅうきょ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談 やにちじょうせいかつじょうえんじょおこな 日常生活上の援助を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(14) しせつにゆうしょしえん 施設入所支援 しゅしゅやかんしせつにゆうしょしょうしゅし 主として夜間、施設に入所する障がい者(児) にたいにゆうよくはいしょうじかいごとうしえん に対し、入浴、排せつ、食事の介護等の支援を おこな 行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(15) じりつせいかつえんじょ 自立生活援助 しせつせいかつせいかつしょうしゅちいき 施設などで生活していた障がい者で、地域で ひとりくきぼうかたたいじりつちいき 一人暮らしを希望する方に対し、自立した地域 せいかついとな 生活を営むことができるよう、相談・助言を行 うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(16) けいかくそうだんしえん 計画相談支援 しょうしゅしゅとうりようけいかくさくせいおよし 障がい者にサービス等利用計画の作成、及び支 きゆうけつていごりようけいかくみなお 給決定後の利用計画の見直し (モニタリング) をおこな を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(17) ちいきいこうしえん 地域移行支援 しせつびょういんにゆうしょにゆういんかたちいき 施設や病院に入所、入院している方などが地域 いこうにゆうよくはいしょうじかいごとうしえん に移行するために重点的に支援を必要としてい るかたたいじゅうきょかくほ る方に対し、住居の確保などの相談や必要な支援 をおこな を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(18) ちいきていちやくしえん 地域定着支援 たんしんとうちいきせいかつかたたいつねれんらく 単身等で地域生活する方に対し、常に連絡がとれ たいせいかくほきんきゅうしえんひつようじたいしょう る体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生 じた際に、きんきゅうほうちん じの際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を をおこな 行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	現在利用 している (1つのみ)		今後利用 したい (1つのみ)	
	1. 利用 して いる	2. 利用 して いない	1. 利用 したい	2. 利用 しない
<p>(19) 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(20) 居宅訪問型児童発達支援 医療的ケアや重い障がいを持ち、外出することが困難な子どもに対し、日常生活における基本的な動作の指導や生活能力の向上のために必要な訓練等を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(21) 放課後デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進等の支援を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(22) 保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援等を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(23) 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援と治療を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>(24) 福祉型児童入所支援 障がい児入所施設に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅲ 使用した調査票

	げんざいりよう 現在利用 している (1つのみ)		こんごりよう 今後利用 したい (1つのみ)	
	1. りよう して いる	2. りよう して いない	1. りよう したい	2. りよう しない
(25) いりょうがたじどうにゆうしよしえん 障がい児入所施設や指定医療機関に入所等を する障がい児に対して、ほご・にちじょうせいかつしどう や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(26) そうだんしえん ふくし かん ちんだい かいごしゃ ぞうだん おう ひつ 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必 要な情報の提供や助言等を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(27) しえんじぎょう コミュニケーション支援事業 ちようかく げんごきのう おんせいきのうとう しよう 聴覚、言語機能、音声機能等の障がいのため、 いしそつう はか ししよう ちようかくししよう 意思疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者 とう ちゆうかい しゅ わつうやくしやとう はげん おこな 等の仲介をする手話通訳者等の派遣を行うサー ビスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(28) にちじょうせいかつようぐきゅうかどうじぎょう 日常生活用具給付等事業 じゅうとしよう しやとう たい じりつせいかつしえんようぐなど 重度障がい者等に対し、自立生活支援用具等を 給付し、または貸与するサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(29) いどうしえんじぎょう 移動支援事業 おくがい いどう ごんなん しよう しやとう がいしゅつ 屋外での移動が困難な障がい者等に、外出のた めの支援を行うサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(30) しゃかいさんかそくしんじぎょう 社会参加促進事業 うんでんめんきよ しゅとく よう ひよう いちぶ みずか しよゆう 運転免許の取得に要する費用の一部や、自ら所有 し運転する自動車の改造に要する経費を助成する サービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(31) ほうもんにゆうよく じぎょう 訪問入浴サービス事業 からだ せいけつ ほ じ しんしんきのう い じどう ふくし 身体の清潔の保持、心身機能の維持等と福祉の ぞうしん はか しんたいしよう しゅ せいかつ しえん 増進を図り、身体障がい者の生活を支援するた め、訪問入浴車を派遣するサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	げんぎりよう 現在利用 している (1つのみ)		こんごりよう 今後利用 したい (1つのみ)	
	1. りよう して いる	2. りよう して いない	1. りよう したい	2. りよう しない
(32) にっちゅういちじしえんじぎょう 障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族に一時的な休息を与えるために、障がい者等の日中における活動の場を確保するサービスです。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(33) せいねんこうけんせいど 障がい等で判断能力の不十分な方々に代わって、財産の管理や契約を結んだり、保護・支援したりする制度です。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

そうだんあいて じょうほうにゆうしゆ き
相談相手と情報入手についてお聞きします。

とひ
問37 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに☑)

<input type="checkbox"/> 1. 家族や親せき	<input type="checkbox"/> 10. 民生委員・児童委員
<input type="checkbox"/> 2. 友人・知人	<input type="checkbox"/> 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
<input type="checkbox"/> 3. 近所の人	<input type="checkbox"/> 12. 相談支援事業所等の民間の相談窓口
<input type="checkbox"/> 4. 職場の上司や同僚	<input type="checkbox"/> 13. 行政機関の相談窓口
<input type="checkbox"/> 5. 施設の指導員等	<input type="checkbox"/> 14. 相談する相手がいない
<input type="checkbox"/> 6. ホームヘルパー等サービス事業所の人	<input type="checkbox"/> 15. その他 ()
<input type="checkbox"/> 7. 障がい者団体や家族会	
<input type="checkbox"/> 8. かかりつけの医師や看護師	
<input type="checkbox"/> 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	

問38 あなたは障がいのことや福祉サービス等に関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 家族や親せき
- 2. 友人・知人
- 3. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 4. インターネット・SNS
- 5. 行政機関の広報誌
- 6. サービス事業所の人や施設職員
- 7. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌等)
- 8. かかりつけの医師や看護師
- 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
- 10. 民生委員・児童委員
- 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
- 12. 相談支援事業所等の民間の相談窓口
- 13. 行政機関の相談窓口
- 14. その他()
- 15. どこで情報を入手したらよいかわからない
- 16. 情報は必要ない

問39 あなたが使っている通信機器はどれですか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 携帯電話
- 2. スマートフォン
- 3. タブレット
- 4. パソコン
- 5. その他()
- 6. 持っていない

【問40は、問39で「2」「3」を答えた方にお聞きします。】

問40 あなたは、スマートフォンやタブレットをどんなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 家族、友達等との連絡や会話のため
- 2. 会社等との仕事の連絡や相談のため
- 3. 写真やビデオの撮影ため
- 4. 音楽を聞くため
- 5. ビデオを見るため
- 6. 本や新聞を読むため
- 7. インターネットやSNS等で情報を収集するため
- 8. インターネットやSNS等で情報を発信するため
- 9. その他()

問41 スマートフォンやタブレットを利用するために、障がいのある方に対してどのような内容の教室があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 電源の入れ方、ボタン操作 (電源ボタン)
- 2. 電話のかけ方、カメラの使い方 (電話カメラ)
- 3. アプリのインストール方法 (アプリ)
- 4. インターネットの利用方法 (インターネット)
- 5. メールの利用方法 (メール)
- 6. 地函アプリの利用方法 (地函)
- 7. SNS・コミュニケーションアプリの利用方法 (SNS)
- 8. スマートフォンを安全に使うための方法 (安心安全)
- 9. オンライン会議システムの利用方法 (オンライン)
- 10. その他 ()

けんりようご
権利擁護についてお聞きします。

問42 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（☑は1つ）

<input type="checkbox"/> 1. ある	<input type="checkbox"/> 2. 少しある	<input type="checkbox"/> 3. ない
--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------



【問42で、「1～2」のいずれかを答えた方にお聞きします。】

問43 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに☑）

<input type="checkbox"/> 1. 学校・仕事場	<input type="checkbox"/> 5. 病院等の医療機関
<input type="checkbox"/> 2. 仕事を探すとき	<input type="checkbox"/> 6. 住んでいる地域
<input type="checkbox"/> 3. 外出先	<input type="checkbox"/> 7. その他（ ）
<input type="checkbox"/> 4. 余暇を楽しむとき	

問44 成年後見制度についてご存じですか。（☑は1つ）

<input type="checkbox"/> 1. 名前も内容も知っている
<input type="checkbox"/> 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
<input type="checkbox"/> 3. 名前も内容も知らない

問45 ヘルプマークやヘルプカードについてご存知ですか。（☑は1つ）

※ヘルプマークとは、外見からはわからなくても、配慮や支援を必要としている方々が、周囲の方に知らせるためにつくられたマークで、ヘルプカードは必要な支援を事前書き込んでおく用紙です。常時携帯することで支援につなげる手段です。



<input type="checkbox"/> 1. 名前も内容も知っている
<input type="checkbox"/> 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
<input type="checkbox"/> 3. 名前も内容も知らない

さいがいじ ひなんとう き
災害時の避難等についてお聞きします。

とい 問46 あなたは、さいがいじ ひなんじょ ひなんばしょ し
あなたは、災害時の避難所・避難場所を知っていますか。(☑は1つ)

1. し 知っている 2. し 知らない

とい 問47 かぞく ふざい ばあい ひとりぐ ばあい きんじょ たす ひと
家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(☑は1つ)

1. いる 2. いない 3. わからない

とい 問48 あなたは、かじ じしんとう さいがいじ ひとり ひなん
あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(☑は1つ)

1. しじ 指示がなくてもできる
 2. ひなんばしょ へ もじ おんせいとう ゆうどう 誘導があればできる
 3. こうつうきせいとう みち とお むすか 交通規制等でいつもの道を通れないと難しい
 4. できない
 5. そのば 場になってみないとわからない

→【問48で「2～5」のいずれかを答えた方にお聞きします。】

とい 問49 あなたは、さいがいじ だれ てだす ひつよう おち
あなたは、災害時に誰の手助けが必要であると思いますか。(☑は2つまで)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. かぞく 家族 | <input type="checkbox"/> 8. ふくししせつしよくいん 福祉施設職員 |
| <input type="checkbox"/> 2. きんじょ ひと 近所の人 | <input type="checkbox"/> 9. みんせいいいいん じどういいいん 民生委員・児童委員 |
| <input type="checkbox"/> 3. じちかい 自治会 | <input type="checkbox"/> 10. しょうぼう けいさつ 消防や警察 |
| <input type="checkbox"/> 4. ゆうじん ちじん 友人・知人 | <input type="checkbox"/> 11. きょうせい まち けん 行政(町や県) |
| <input type="checkbox"/> 5. しんせき 親戚 | <input type="checkbox"/> 12. その他() |
| <input type="checkbox"/> 6. じぶん しょぞく だんたい そしき 自分の所属する団体や組織 | <input type="checkbox"/> 13. わからない |
| <input type="checkbox"/> 7. しょくば ひと 職場の人 | |

問50 避難所で生活する必要がある場合に、あなたにとって心配なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに☑)

- 1. 避難所に介護をする人などがいるか
- 2. いつも服用している薬が手配できるか
- 3. 医療的なケアが受けられるか
- 4. 障がいのある人が使えるトイレがあるか
- 5. 人に見られないように生活できるか
- 6. 障がいに対して理解してくれる人がいる
- 7. その他 ()
- 8. 特にない

問51 あなたは、災害に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(☑は3つまで)

- 1. 災害時の心得や地震に関する知識の普及
- 2. 緊急情報の提供体制の確立
- 3. 障がい者が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立
- 4. 災害が発生したときの迅速な避難誘導体制の確立
- 5. 避難訓練の実施
- 6. その他 ()
- 7. 特にない
- 8. わからない

問52 あなたは災害時に自力で避難することが困難な方(避難行動要支援者)ごとに作成する個別避難計画(災害時の地域での助け合いや安否確認避難誘導等に活用)を知っていますか。(☑は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問53 個別避難計画の作成を希望しますか。(☑は1つ)

- 1. 希望する
- 2. 希望しない
- 3. すでに作成している

ちいき せいかつ うえ なや き
地域で生活する上での悩みについてお聞きします。

げんざい あてな ほんにん にゅういんちゆう にゅうしょちゆう ばあい しょうらい ちいき せいかつ
※現在、あなた（宛名のご本人）が入院中・入所中の場合は、将来、地域で生活する際を想定しお答えください。

とひ せいかつ つぎ こま しんぱい
問54 生活するうえで、次のような困りごとや心配ごとはありますか。（あてはまるものすべてに☑）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 身の回りの介助や支援をしてくれる人がいない | <input type="checkbox"/> 8. 家族など介助者の健康状態が不安 |
| <input type="checkbox"/> 2. 一緒に暮らす人がいない | <input type="checkbox"/> 9. 隣人等との関係が不安 |
| <input type="checkbox"/> 3. 適当な働き場所がない | <input type="checkbox"/> 10. 必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない |
| <input type="checkbox"/> 4. 十分な収入が得られない | <input type="checkbox"/> 11. 将来にわたる生活の場があるかどうか |
| <input type="checkbox"/> 5. 趣味や生きがいを持ってない | <input type="checkbox"/> 12. その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 6. 生活をするうえで必要な情報を得られない | <input type="checkbox"/> 13. 特にない |
| <input type="checkbox"/> 7. 自分の健康や体力に自信がない | |

とひ かぞく こま となりきんじょ ひと てだす おも
問55 あなたやご家族が困っていることで、隣近所の人に「手助けしてほしい」と思うことは、どのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに☑）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 安否確認の声かけ | <input type="checkbox"/> 10. 日常生活の介護・介助 |
| <input type="checkbox"/> 2. 日常の話し相手 | <input type="checkbox"/> 11. 周囲からの見守り |
| <input type="checkbox"/> 3. 買い物の手伝い | <input type="checkbox"/> 12. 保育園の送迎 |
| <input type="checkbox"/> 4. ゴミ出し | <input type="checkbox"/> 13. 短時間の子どもの預かり |
| <input type="checkbox"/> 5. 食事の手助け（差し入れなど） | <input type="checkbox"/> 14. 子どもを持つ親の不安や悩みの相談 |
| <input type="checkbox"/> 6. 庭の草刈りや水やり | <input type="checkbox"/> 15. 子育て中の親同士の仲間づくり |
| <input type="checkbox"/> 7. 冬期間の除雪（通路の雪はき、屋根の雪下ろし） | <input type="checkbox"/> 16. 災害時の手助け |
| <input type="checkbox"/> 8. 通院などの外出の手伝い | <input type="checkbox"/> 17. その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 9. 冠婚葬祭の手伝い | <input type="checkbox"/> 18. 特にない |
| | <input type="checkbox"/> 19. わからない |

これからの障がい福祉に望むことについてお聞きします。

問56 「あなた」が住みなれたまちで、よりよく暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(☑は3つまで)

- 1. 何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくつくる
- 2. サービス利用の手続きを簡単にする
- 3. 役場からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする
- 4. 保健や福祉の専門的な人を増やす
- 5. 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす
- 6. いろいろなボランティア活動を増やす
- 7. 在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす
- 8. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通える施設を増やす
- 9. 障がいがあってもなくても、ともに学べるような保育・教育内容にする
- 10. 仕事につくための訓練や働く場を増やす
- 11. 障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす
- 12. 利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する
- 13. グループホームなどの住む場所を増やす
- 14. 災害のときに避難しやすいようにする
- 15. 差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす
- 16. その他 ()

質問は以上です。最後に、障がい福祉サービスや行政の取り組みについて、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

川俣町の障がい者福祉に関するアンケート 調査結果報告書

発行年月：令和6年3月 発行：福島県川俣町

編集：川俣町 保健福祉課

〒960-1492 福島県伊達郡川俣町字五百田30番地

電話 024-566-2111

FAX 024-566-2438

URL <http://www.town.kawamata.lg.jp>